



報告事項

報告事項 1

協議会議長

福永 栄一

①オリンピック・パラリンピック支援金残金の返金について

※336 複合地区口座へ入金済み (2021/12/22)

4 地区分合計額 29,913,235 円

決算報告 P4～5

返金額報告書 P6～7

②2022 年第 8 回 SON 広島大会協賛金のご協力について

協賛金のご依頼 P8

③2020-2021 年度 LCIF 理事長メダル受賞者報告

2020-2021 年度 LCIF 理事長メダル受賞者一覧 P9

④「一般財団法人日本ライオンズ」について

「一般財団法人日本ライオンズ」Q&A P10～13

⑤チャーター費と入会費の免除期間延長について

国際理事会からの通知 P14

⑥令和 2 年度献血推進状況報告

中四国ブロック血液センターからの報告 P15～16

【一社日本 L】2020-2021 年度一般社団法人日本ライオンズ会計報告書 P17～31

【一社日本 L】第 2 回全国ガバナー会（社員総会）議事録（2021/12/16 開催） P32～42

報告事項 2

GMT コーディネーター

真鍋 隆

スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター

有本 みどり

【MD336】次期 GMA 打ち合わせ会次第（2021/12/17 開催） P43

GMT 報告書（2021 年 12 月末現在） P44

国際本部集計 クラブ数・会員数 P45

【8MD】第 2 回 FWT 会議議事録（2021/10/13 開催） P46～51

報告事項 3

GLT コーディネーター

池原 堅

【MD336 組織図について】

MD336 の役員組織表について、現在ガバナー経験者主体で構成されていますが、今後準地区から優秀な会員を複合地区構成員として登用できる仕組みを作っていく必要があります。コロナ禍、近年ライオンズクラブの運営や活動が停滞し、クラブ、準地区、複合地区ともに奉仕活動での貢献度が停滞しているように思えます。

活発な 336 複合地区を目指し、積極的に追加構成員や現在の構成員以外からの役員登用を検討していただきたくご提案させていただきました。

★参考まで：他複合地区組織図では、各委員会に委員として準地区委員長、GAT と LCIF については準地区コーディネーターを明記している。

2022～2023 年度 MD336 役員一覧組織表（案）については別紙を参照ください。新たに追加委員会も組織表に入れております。

- ・ ALLI（上級ライオンズリーダーシップ研究会）5月または6月へ延期
- ・ 第2回 MD336GLT コーディネーター会議 2/17（木）10：30～12：00 WEB 開催

2022-2023 年度 336 複合地区役員一覧組織表(案).....	P52
【8MD】第3回会議議事録（2021/12/2 開催）.....	P53～56

報告事項 4

GST コーディネーター	澤 辰水
--------------	------

【8MD】第2回会議議事録（2021/9/29 開催）.....	P57～63
【8MD】第3回会議議事録（2021/10/6 開催）.....	P64～74

報告事項 5

国際理事候補者推薦委員会委員	川辺 信郎
----------------	-------

2022-24 国際理事立候補者選出に関する緊急のお知らせ.....	P75～76
国際会則付則の改正（2022 年 7 月以降）について.....	P77～80
エンドースメントフォーム.....	P81

報告事項 6

会則および付則・運営マニュアル編集委員会委員長	安田 克樹
-------------------------	-------

【ライオンズ必携 複合地区会則の一部改定について】

準地区大会、複合地区大会ともに議案として提出が必要と考えます。

複合地区会則第1章

複合地区第5条 複合地区ガバナー協議会8項(P.142)

「…会議は構成員の3分の2をもって定足数とし、決議は出席構成員の**3分の2**以上をもって決する。」
⇒「…決議は出席構成員の**過半数**をもって決する。」に改定する。

【MD336】第1回委員会議事録と答申書（2021/11/15 開催）.....	P82～87
--	--------

報告事項 7

大会参加・迎接・プロトコール委員会委員長	福代 明正
----------------------	-------

【早期登録延長について ※12/14 OSEAL 調整事務局からの通達】

モントリオール国際大会の早期登録は2022年1月7日を期限としておりましたが、国際理事会大会委員会の決議により **2022年3月31日まで延長することになりました**。
国際協会からの公式な発表はこれからとなりますが、取り急ぎお知らせさせていただきます。
また、早期登録の延長に伴い、2022年1月8日～3月31日の期間の登録料225ドルは廃止となります。2022年4月1日以降および開催地登録の場合は当初の予定通り250ドルです。

- ・ 2022年1月7日までの登録料は175ドル → **2022年3月31日まで延長**
- ・ 2022年1月8日～3月31日までの登録料は225ドル → **廃止**
- ・ 2022年4月1日以降および開催地登録の場合は250ドル → **継続**

第1回会議議事録（2021/11/15 開催）.....	P88～92
------------------------------	--------

報告事項 8

ライオン誌日本語版委員会委員	玉浦 巖
----------------	------

「ライオン誌日本語版ウェブマガジン普及キャンペーン」について.....	P93～97
第4回会議報告書（2021/11/4 開催）.....	P98～101
第5回会議報告書（2021/12/13 開催）.....	P102～105
第6回会議報告書（2022/1/13 開催）.....	P106～109

報告事項 9	
YCE・国際関係委員会委員長	高橋 淳

①2022 年夏の派遣・受入れは中止

②ヨーロッパ交渉窓口の振り分けについて

日本ライオンズ第 2 回 YCE 委員会 (11/9・対面/ウェブ)

MD334 がヨーロッパ交渉窓口 29 地域を数か国に減らして欲しいと申し入れ。

理由は、YCE を担当している複合事務局員の 2023 年 3 月末の定年退職。

336 複合地区第 2 回 YCE 委員会 (12/2・岡山市・対面)

MD334 の交渉担当窓口を減らすことは了承。MD336 は台湾が 5 つの MD に分かれるため、できるだけヨーロッパを担当したくないが、担当するならイスラエル・セルビア・モルドバを希望する。各準地区の活動状況報告。

日本ライオンズ第 3 回 YCE 委員会 (12/6・対面)

MD334 の交渉担当窓口を減らすことは了承。各 MD の交渉担当窓口希望を提出、振り分けの原案作りを MD334 に依頼。

12 月 27 日原案がメールされ MD336 はイスラエル・セルビア・モルドバに仮決定。

次回日本ライオンズ第 4 回 YCE 委員会は 2022 年 3 月 4 日 WEB にて開催。

【一社日本 L】第 2 回会議議事録 (2021/11/9 開催) P110～118

【MD336】第 2 回会議議事録 (2021/12/2 開催) P119～122

【一社日本 L】第 3 回会議議事録 (2021/12/6 開催) P123～127

ヨーロッパ通信窓口相手国振り分け (案) P128

報告事項 10	
青少年・ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

・第 2 回 MD336 委員会を 3 月に開催

2021-2022 年度 MD336 平和ポスターコンテスト最終審査会について

審査会議事要録 (2021/12/9 開催) P129～130

審査結果 P131

外部審査員プロフィール P132～133

報告事項 11	
アラート委員会委員長	高岡 英治

【一社日本 L】第 2 回アラート全体会議議事録 (2021/10/27 開催) P134～147

【一社日本 L】第 3 回アラート全体会議議事録 (2021/11/30 開催) P148～151

【一社日本 L】第 4 回アラート全体会議議事録 (2021/12/20 開催) P152～159

【MD336】第 2 回アラート委員会議事録 (2022/1/13 開催) P160～161

全日本アラート体制組織図 P162

336 複合地区アラート委員会組織図 P163

報告事項 12	
IT・MC・情報特別委員会委員長	大木 寿之

【MD336】第 1 回委員会議事録 (2021/11/12 開催) P164～168

報告事項 13	
その他	

日本ライオンズ オリンピック・パラリンピック支援協力金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2021年11月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	217,582,467	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023 - 0604392 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	217,582,467	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残 高	217,582,467
合 計	217,582,467	合 計	217,582,467

(2) 収支計算書

自 2015年7月1日
至 2021年11月30日

(単位：円)

支出の部	金 額	収入の部	金 額
<支出計>	280,540,926	<収入計>	498,123,393
パラサポート選手育成支援金 2018年5月交付（148人） 91,350,000 2018年返戻金（1人） (580,000) 2019年5月交付（186人） 101,560,000	192,330,000	会員協力金拠出 MD330内拠出金 93,979,506 MD331内拠出金 28,494,000 MD332内拠出金 45,598,636 MD333内拠出金 53,996,000 MD334内拠出金 78,964,000 MD335内拠出金 60,781,500 MD336内拠出金 67,800,250 MD337内拠出金 63,467,000 会員協力拠出金合計 493,080,892	493,080,892
次世代Tシャツ・タオル支援 (株東亜パッチ・トロフィー) (2019年1月)	3,000,000		
1000年オリーブ植樹 オリーブの木、搬入費用 12,808,800 (2019年8月) オリーブメンテナンス等 2,403,500 (有薔薇園植物場) (2021年2月)	15,212,300		
モニュメント モニュメント制作費用 39,490,000 (2019年8月) モニュメント式典費用 268,400 (株丹青社) (2020年4月)	39,758,400		
パラ競技招待事業 初回申込金(2020年4月) 30,000,000 (株近畿日本ツーリスト首都圏)	30,000,000	パラ競技招待事業残高返金 (2021年9月) 5,033,000 (株近畿日本ツーリスト首都圏)	5,033,000
支払手数料 振込手数料 240,226	240,226	受取利息	9,501
残 高	217,582,467		
合 計	498,123,393	合 計	498,123,393

日本ライオンズ東京オリンピック・パラリンピック支援金一覧

(単位:円)

MD	地区名	2015-2016年度	2016-2017年度	2017-2018年度	2018-2019年度	2019-2020年度	2020-2021年度	地区累計額
330	330-A地区	17,002,000	8,084,000	7,906,000	8,054,000			41,046,000
	330-B地区	10,000,000	10,000,000	7,926,454	6,523,569			34,450,023
	330-C地区	7,640,125	3,592,358	3,714,000	3,537,000			18,483,483
	MD330計	34,642,125	21,676,358	19,546,454	18,114,569	0		93,979,506
331	331-A地区	1,060,000	2,350,125	2,290,500	2,264,625	2,236,500		10,201,750
	331-B地区	0	2,261,000	2,179,000	2,148,000	4,118,000		10,706,000
	331-C地区	0	1,945,000	1,910,000	1,890,000	1,841,250		7,586,250
	MD331計	1,060,000	6,556,125	6,379,500	6,302,625	8,195,750		28,494,000
332	332-A地区	1,704,000	1,685,000	1,735,000	1,687,000	1,617,000		8,428,000
	332-B地区	1,539,000	1,523,000	1,485,000	1,476,000	1,421,000		7,444,000
	332-C地区	1,359,000	1,371,500	1,307,500	1,317,500	1,274,000		6,629,500
	332-D地区	1,937,136	1,963,000	1,954,000	1,974,000	1,887,000		9,715,136
	332-E地区	1,675,000	1,658,000	1,654,000	1,620,000	1,545,000		8,152,000
	332-F地区	1,086,000	1,073,000	1,027,000	1,045,000	999,000		5,230,000
	MD332計	9,300,136	9,273,500	9,162,500	9,119,500	8,743,000		45,598,636
333	333複合地区 (333-A、B、 C、D、E地区) 一括	10,966,000	10,969,000	10,871,000	10,718,000	10,472,000		53,996,000
334	334-A地区	0	9,046,000	4,358,000	4,244,000	4,062,000		21,710,000
	334-B地区	3,104,000	3,019,000	3,019,000	2,995,000	2,948,500		15,085,500
	334-C地区	2,993,000	2,909,000	2,915,000	2,820,000	2,798,000		14,435,000
	334-D地区	3,815,000	3,773,500	3,766,500	3,741,500	3,636,000		18,732,500
	334-E地区	1,828,000	1,850,000	1,841,000	1,782,000	1,700,000		9,001,000
	MD334計	11,740,000	20,597,500	15,899,500	15,582,500	15,144,500		78,964,000
335	335-A地区	1,971,000	1,919,000	1,841,000	1,824,000	1,766,000		9,321,000
	335-B地区	5,188,000	5,094,000	4,925,000	4,984,000	4,883,000		25,074,000
	335-C地区	3,729,000	3,637,000	3,563,000	3,570,000	3,513,000		18,012,000
	335-D地区	1,742,000	1,708,500	1,655,500	1,630,500	1,638,000		8,374,500
	MD335計	12,630,000	12,358,500	11,984,500	12,008,500	11,800,000		60,781,500
336	336-A地区	0	7,506,000	7,561,500	9,808,000			24,875,500
	336-B地区	2,803,000	2,813,000	2,695,000	2,584,000	2,511,000		13,406,000
	336-C地区	3,130,000	3,106,000	2,992,000	2,943,000	2,824,000		14,995,000
	336-D地区	3,762,500	3,708,750	3,580,000	3,472,500	(4年間で徴収済)		14,523,750
	MD336計	9,695,500	17,133,750	16,828,500	18,807,500	5,335,000		67,800,250
337	337-A地区	4,349,000	4,268,000	4,213,500	4,153,000	4,102,500		21,086,000
	337-B地区	2,150,000	2,131,000	2,124,000	2,101,000	2,097,000		10,603,000
	337-C地区	0	5,502,000	2,676,500	2,584,000	2,445,500		13,208,000
	337-D地区	2,267,000	2,210,500	2,169,500	2,112,000	2,011,500		10,770,500
	337-E地区	1,554,000	1,554,500	1,565,500	1,563,500	1,562,000		7,799,500
	MD337計	10,320,000	15,666,000	12,749,000	12,513,500	12,218,500		63,467,000
	MD合計/A	100,353,761	114,230,733	103,420,954	103,166,694	71,908,750		493,080,892
その他	受取利息/B	13	1,246	1,475	2,105	1,928	1,837	8,604
	合計(A+B)	¥100,353,774	¥114,231,979	¥103,422,429	¥103,168,799	¥71,910,678	¥1,837	¥493,089,496

令和3年12月16日

一般社団法人日本ライオンズ
仁科理事長 殿

副理事長 L 松岡 勲

報告書

清算金算出には 各準地区より 拠出頂いた 当初の準地区単位の総額に対して 毎年会計監査を経て 現在の残金の割合を乗じた金額にて 算出致しております。

東京オリンピック パラリンピック支援金総額
金 493,088,558円

一般社団法人 日本ライオンズ 三菱UFJ店番023 口座番号0604392
令和3年 9月17日現在 口座残金 金 217,582,467円

MD返金額

330-A地区	41,046,000円	8.324%	18,111,564円	} 41,466,865円
330-B地区	34,450,023円	6.986%	15,200,311円	
330-C地区	18,483,483円	3.748%	8,154,990円	

331-A地区	10,201,750円	2.068%	4,499,605円	} 12,569,738円
331-B地区	10,706,000円	2.171%	4,723,715円	
331-C地区	7,586,250円	1.538%	3,346,418円	

332-A地区	8,428,000円	1.709%	3,718,484円	} 20,115,497円
332-B地区	7,444,000円	1.509%	3,283,319円	
332-C地区	6,629,500円	1.344%	2,924,308円	
332-D地区	9,715,136円	1.970%	4,286,374円	
332-E地区	8,152,000円	1.653%	3,596,638円	
332-F地区	5,230,000円	1.060%	2,306,374円	

333複合地区	53,996,000円	10.950%	23,825,280円	23,825,280円
---------	-------------	---------	-------------	-------------

にて拠出

334-A地区	21,710,000円	4.402%	9,577,980円	} 34,839,302円
334-B地区	15,085,500円	3.059%	6,655,847円	
334-C地区	14,435,000円	2.927%	6,368,638円	
334-D地区	18,732,500円	3.799%	8,265,957円	
334-E地区	9,001,000円	1.825%	3,970,880円	

335-A地区	9,321,000円	1.890%	4,112,308円	} 26,817,037円
335-B地区	25,074,000円	5.085%	11,064,068円	
335-C地区	18,012,000円	3.652%	7,946,111円	
335-D地区	8,374,500円	1.698%	3,694,550円	

336-A地区	24,875,500円	5.044%	10,974,859円	} 29,913,235円
336-B地区	13,406,000円	2.718%	5,913,891円	
336-C地区	14,995,000円	3.041%	6,616,682円	
336-D地区	14,523,750円	2.945%	6,407,803円	

337-A地区	21,086,000円	4.276%	9,303,826円	} 28,000,686円
337-B地区	10,603,000円	2.150%	4,678,023円	
337-C地区	13,208,000円	2.678%	5,826,858円	
337-D地区	10,770,500円	2.184%	4,752,001円	
337-E地区	7,799,500円	1.581%	3,439,978円	

99.984% 217,547,640円
(34,827円)

① 返金はMD単位で返金いたします。MD宛送金手数料は法人が負担
します。

② 返金は年内(2021年12月末)に返金します。

以 上



2021 年 12 月 20 日

各地区ガバナー様

一般社団法人日本ライオンズ 理事長 仁科 良三
336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一

2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本 (SON)
夏季ナショナルゲーム・広島大会開催協賛金のお願い

謹 啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はライオニズムの高揚にご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、既に高承の通り、2022 年 11 月 4 日 (金) ～ 6 日 (日) の日程でスペシャルオリンピックス日本夏季大会が広島で開催される運びとなりました。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、同大会を成功に導くために皆さま方には趣旨にご賛同いただき、格別のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

使途の一部といたしまして、ユニファイドリレー・トーチラン (聖火リレー) ランナーのユニフォームやライオンズクラブロゴ入り T シャツ、幟旗等の製作費として充てられる予定となっております。

12 月 16 日に開催されました第 2 回全国ガバナー会 (社員総会) においてご承認を頂きました通りライオンズクラブとして、各クラブ一口 5,000 円以上のご支援を賜りますよう伏して懇願申し上げます。

なお、各地区において御取り纏め頂き、2022 年 3 月末日までに下記口座宛にお振込みをお願い申し上げます。

末筆ながら、コロナ禍での年の瀬、皆さまのご健康とご発展をこころよりお祈り申し上げます。

謹 白

記

中国銀行大供 (だいく) 支店 普通預金

口座番号 : 2541830

口座名 : ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一

※振込み手数料につきましては大変恐縮ですがご負担願います。

お願い お手数ですが、お振込み後に 336 複合地区ガバナー協議会事務局まで内訳一覧をお送りくださいますようお願い申し上げます。

MAIL : admin@lions-md336.org

以 上

2020-2021年度LCIF理事長メダル受賞者一覧

MDは協議会議長とMDコーディネーターにメダルを贈呈

地区はガバナーとLCIF地区コーディネーターにメダルを贈呈。兼務の場合はメダルは1つ

	SILVER	GOLD	PLATINUM	DIAMOND	兼務	受賞者 20-21年度役職者	受賞者 20-21年度役職者
MD330 CC		1				森川議長	
MD330 MDC		1				阿久津コーディネーター	
330A		1			兼務	進藤ガバナー	
330B		1			兼務	吉本ガバナー	
330C		1			兼務	森川ガバナー	
MD331 CC		1				中谷議長	
MD331 MDC		1				鶴嶋コーディネーター	
331A			1		兼務	諏訪ガバナー	
331B		1			兼務	石川ガバナー	
331C	1				兼務	中村ガバナー	
MD332 CC	1					伊藤議長	
MD332 MDC	1					谷岡コーディネーター	
332A	2					山本ガバナー	外崎コーディネーター
332B	1				兼務	菊池ガバナー	
332C	1				兼務	永富ガバナー	
332D	1				兼務	真田ガバナー	
332E	2					小関ガバナー	野川コーディネーター
332F							
MD333 CC	1					石橋議長	
MD333 MDC	1					中嶋コーディネーター	
333A	1				兼務	佐藤ガバナー	
333B	1				兼務	大阿久ガバナー	
333C	1				兼務	岩沼ガバナー	
333D	1				兼務	田中ガバナー	
333E		1			兼務	山川ガバナー	
MD334 CC		1				仁科議長	
MD334 MDC		1				藤弥コーディネーター	
334A				1	兼務	藤井ガバナー	
334B		1			兼務	山本ガバナー	
334C		1			兼務	久保田ガバナー	
334D		1			兼務	岸ガバナー	
334E		1			兼務	中村ガバナー	
MD335 CC			1			松岡議長	
MD335 MDC			1			夏コーディネーター	
335A		2				下副田ガバナー	多田コーディネーター
335B				2		中谷ガバナー	西木コーディネーター
335C			2			松岡ガバナー	佐々木コーディネーター
335D		2				松井ガバナー	高井コーディネーター
MD336 CC		1				岡村議長	
MD336 MDC		1				橋本コーディネーター	
336A			1		兼務	酒井ガバナー	
336B	1				兼務	金礪ガバナー	
336C		1			兼務	池原ガバナー	
336D	1				兼務	澤ガバナー	
MD337 CC		1				森口議長	
MD337 MDC		1				山本コーディネーター	
337A			2			柴田ガバナー	古川コーディネーター
337B	1				兼務	富永ガバナー	
337C		1			兼務	高野ガバナー	
337D	1				兼務	寿浦ガバナー	
337E	1				兼務	高野ガバナー	

一般財団法人日本ライオンズに関する Q&A (Ver.1)

●一般財団法人日本ライオンズは、どのような事業を行っていますか？

A：当財団は、日本国内における青少年の健全育成事業として、特別支援学校の生徒が参加するフットサル全国大会の開催に加えて、児童養護施設の小学生に学習指導をするための学習支援員を派遣する寺子屋事業を行っています。また、国内で発生した豪雨災害等への支援も行っています。

●ライオンズクラブ国際協会との関係を教えてください。

A：当財団は、日本国内で公益事業を行うために設立され、正式にライオンズクラブ国際協会の承認を受けて活動する法人です。

●一般財団法人日本ライオンズの構成員を教えてください。

A：当財団は、評議員、理事、監事で組織されています。現／元国際理事、元地区ガバナー経験者よりしかるべき人材を登用しており、当財団の事業活動に賛同し、かつ寄付にも積極的にご協力いただける人材で構成しています。

●運営費はどのように支出していますか？

A：当財団は収益事業を行っていないので、収入は全て寄付金で賄われており、その中から、運営・管理費として事業遂行に必要な事務局賃料、通信費、会議費（外部会議室の借用）等を支出しています。

また、皆さまからの寄付金を少しでも多く事業に有効活用するため、評議員、理事、監事の交通費等の経費は各自が自己負担しており、また、当然のことながら、無報酬で活動しています。

●LCIF と一般財団法人日本ライオンズのどちらに寄付をすれば良いのでしょうか？

A：LCIF へは世界の人道・災害支援や視力保護活動、発展途上国の子供達への支援として寄付していただき、当財団へは日本国内の青少年の健全育成、災害支援のための寄付とお考えください。

例えば、寄付金の使い道に応じて、LCIF へは 100 ドル、当財団へは 5,000 円、という風に分けて寄付をしていただくのも一つの方法です。

●一般財団法人日本ライオンズの長所、メリットは何ですか？

A：当財団は、寄付金を日本国内の公益事業に支出しますので、より身近に支援の成果を実感していただくことができます。当財団の事業（フットサル事業、寺子屋事業、災害支援等）の中から、寄付金の使い道をご指定いただくことも可能です。

日本国内における公益事業のために寄付金を支出することで、当財団の活動が日本のメディアにも取り上げられるよう、対外的にも広くアピールしていく予定です。これにより、ライオンズクラブの社会的認知度の向上も期待できます。

また、寄付をいただいた場合、当財団より領収書を発行しますので、会社によっては、経費として処理していただくことも可能です。

その他、当財団への相続財産の譲渡や遺贈による寄付（遺産）もお受けいたします。

●一般財団法人に寄付した場合、公表されますか？

A：どなたから寄付をいただいたか、現時点では公表していませんが、今後、公表する仕組みも検討したいと思います。なお、寄付をいただいた方には、当財団から感謝状を差し上げており、今後はさらに、ピンバッジも贈呈する予定です。

また、ホームページを通じて寄付をいただけるような仕組みも検討し、皆さまが、いつでも簡単に寄付をいただけるよう、工夫をしてまいります。

●一般財団法人は、いつ頃公益財団法人になる予定ですか？

A：当財団は、2023 年には内閣府の公益認定を受け、公益財団法人として活動することを目標としています。

●公益財団法人になるメリットは何ですか？

A：最大のメリットは、公益法人に寄付した個人や会社が、税制上の優遇措置を受けられるということです。個人が寄付する場合、所得控除または税額控除を受けることができ、会社が寄付する場合は、一般法人への寄付に比べて損金算入できる限度額が増えますので、いずれの場合も減税効果があり、寄付をご検討いただきやすくなります。

●一般財団法人の事業報告、財務報告の公表はどのように行われていますか？

A：当財団は、毎年、官報に決算公告を掲載しております。今後、当財団はホームページを開設することを検討しており、活動内容や事業報告等の情報を公開することで、皆さまに当財団の活動を知っていただけるよう、さらに工夫してまいります。

●一般社団法人日本ライオンズとは連携していますか？

A：一般社団法人日本ライオンズと当財団は別法人ですが、ライオンズクラブの一組織として互いに協力し、両輪として連携しながら、日本国内での活動を推進してまいりたいと考えています。

●クラブから一般財団法人への寄付は、どのように行うことが考えられますか？

A：金銭アクティビティをクラブで行う場合、クラブから当財団に寄付をいただき、アクティビティ先に当財団から寄付額と同額の寄付を行います。これにより、当財団への寄付とクラブ事業（アクティビティ）を同時に行うことが可能です。

●公益財団法人になった場合、地区クラブシェアリング交付金制度は創設されますか？

A：クラブシェアリング交付金制度はございません。

★公益財団法人に対する監査や、寄付金の不正利用、不正会計の防止は、どのように行いますか？

A：当財団は、公益法人を数多く扱う弁護士と税理士に法律面及び税務・会計面の顧問を依頼していますので、これらの手続きは適正に行われています。

また、公益法人になると、内閣府が監督官庁となりますので、内閣府に対して事業計画や決算報告等を行います。また、3年に1回は内閣府による立ち入り検査が実施され、適切に運営されているか厳しいチェックを受けることとなりますので、ガバナンスと情報公開の透明性・適正性がより確保できます。

●他の国でも一般財団法人の様なものはあるのでしょうか？

A：アメリカ合衆国をはじめ、世界ではたくさんの国で独自の財団を創設しています。

例えば、フランスでは約 50 億円の寄付金を財団で運用しています。

以上

オンラインで見る



ライオンズリーダー各位

新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックは、世界中のライオンズと地域社会の活動に影響を及ぼし続けており、私たちのクラブや大切な人々に課題をもたらしています。この世界的危機の中でも、ライオンズは安全に奉仕を続けてきました。奉仕のニーズもまた大きかったからです。

地域社会の高まる声にクラブが応答できるよう、国際理事会は、新会員を奉仕の仲間に加えやすくする新たな決議を行いました。

理事会によって可決された新たな決議の内容は以下のとおりです。

- **チャーター費と入会費の免除** – 2022年1月1日～6月30日の期間、すべてのチャーター費と入会費を免除する。なお、現在チャーター費と入会費は2021年12月31日まで免除されています。

滞納金があるクラブが即座に支払いをしない場合、グッドスタンディングではなくなり、11月15日に活動停止処分となる可能性がありますので、ご注意ください。

私たちは、クラブにとっても、地域社会にとっても、そしてライオンズの奉仕を受ける人々にとっても、メンバー一人ひとりが大切な存在であることを知っています。1世紀以上にわたり、ライオンズは人類が直面する多くの難題に取り組んできました。この難局もまた、一丸となって乗り越えてまいりましょう。

ライオンズの喜びを分かち合い、地域社会と世界に素晴らしい奉仕を届けてくださっている皆様に、感謝申し上げます。

血 中 献 第 228 号

令 和 3 年 12 月 1 日

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区

ガバナー協議会議長 福永 栄一 様

日本赤十字社

中四国ブロック血液センター

所 長 小林 正夫



令和2年度における献血推進状況について

謹啓 寒冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、血液事業並びに献血の推進につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度におきましては新型コロナウイルス感染拡大のなか、ライオンズクラブ 336 複合地区の皆様には献血推進にご協力を賜り、中四国地方においては輸血用血液製剤の適正な在庫確保が維持できましたこと、重ねてお礼申し上げます。

そのような状況におけるライオンズクラブ様の推進状況を取りまとめましたことから、別紙のとおり報告いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

謹白

令和２年度におけるライオンズクラブ様との献血推進実績

【令和２年７月～令和３年６月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
ライオンズクラブ献血者数（合計）	523	5,502	5,140	7,504	5,848	4,371	8,959	10,664	5,586	54,097
協力日数	12.7	115.5	77.9	115.0	92.3	95.1	131.0	172.9	158.5	970.9
１日当たりの献血者数	41.8	47.9	66.2	64.8	63.4	46.0	68.5	61.7	35.2	55.1
中四国内_総献血者数	23,198	22,814	79,964	123,668	52,358	28,756	37,479	53,896	29,174	451,307
中四国内_総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	2.3%	24.1%	6.4%	6.1%	11.2%	15.2%	23.9%	19.8%	19.1%	12.0%

2020－2021年度
一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2021年7月15日 会計監査

一般社団法人日本ライオンズ会計報告書

2020年7月1日～2021年6月30日の財政状況を下記のとおりご報告します。

2021年7月15日

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

識名 安信



下記の会計報告は、監査の結果適正に表示されているものと認めます。

2021年7月15日

2020－2021年度日本ライオンズ会計監査委員

330複合地区監査委員

中野 了



印

331複合地区監査委員

小玉 誠



印

332複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

竹下 直義



印

333複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

高橋 克文



印

334複合地区監査委員

丸山 正芳



印

335複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

福田 恵太



印

336複合地区監査委員

今井 誠則



印

337複合地区監査委員
一般社団法人日本ライオンズ監事

吉見 章一



印

I 貸借対照表
一般社団法人日本ライオンズ
2021年6月30日現在

(2020.6.30)

(単位：円)

科 目	当年度末A	前年度末B	差異 (A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	28,828	4,560	24,268
銀行預金	516,495,876	510,783,319	5,712,557
郵便貯金	1,461,925	1,461,913	12
郵便振替	7,329,884	6,018,163	1,311,721
未収入金 (注1)	8,875,876	9,330,568	△ 454,692
前払費用	0	73,300	
頒布品	103,297	797,031	△ 693,734
流動資産合計	534,295,686	528,468,854	5,826,832
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
敷金	11,976,840	11,976,840	0
什器備品	217,273	325,907	△ 108,634
その他固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
資産合計	546,489,799	540,771,601	5,718,198
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	262,000	157,400	104,600
オリンピック支援預り金	212,548,570	209,007,253	3,541,317
アラート委員会預り金	8,525,057	11,093,055	△ 2,567,998
未払消費税	534,400	297,300	237,100
未払金 (注2)	4,133,288	3,939,269	194,019
流動負債合計	226,003,315	224,494,277	1,509,038
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	226,003,315	224,494,277	1,509,038
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	320,486,484	316,277,324	4,209,160
正味財産合計	320,486,484	316,277,324	4,209,160
負債及び正味財産合計	546,489,799	540,771,601	5,718,198

注： 1. 未収入金の内容は次の通りです。

国際協会PR補助金	8,860,065	下半期 (12月～6月分) 82,700人 (暫定)・1ドル (107.135001円)
頒布品売上代金	15,811	ライオンズ文庫
合計	8,875,876	

2. 未払金の内容は次の通りです。

社会保険料	359,901	6月事業主負担分
各種会議旅費	269,000	下半期振込未精算分 (6月30日開催 第4回社員総会旅費他)
共同印刷(株)	1,934,900	ライオン誌7・8月号印刷費
(株)宛名商会本店	601,865	ライオン誌7・8月号発送作業費
障害者支援情報センター	234,500	ライオン誌7・8月号発送作業費
佐川急便(株)	537,944	ライオン誌7・8月号送料等
取材交通費	195,178	ライオン誌 6/24-25, 6/25-26取材分
合計	4,133,288	

Ⅱ 正味財産増減計算書

一般社団法人日本ライオンズ

2020年7月1日～2021年6月30日

(単位：円)

科 目	当年度A	前年度B	差異 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取賛助会費	81,245,280	84,466,080	△ 3,220,800
②寄付金	153,891	815,367	△ 661,476
③国際協会補助金 (注1)	17,721,862	37,994,154	△ 20,272,292
④国際協会翻訳料	132,871	128,700	4,171
⑤ライオン誌送料収益	25,227,057	26,102,340	△ 875,283
⑥広告料	283,140	172,656	110,484
⑦受取利息	22	22	0
⑧雑収益	360,528	476,680	△ 116,152
⑨各種会議旅費分担金収益	89,000	3,739,544	△ 3,650,544
⑩頒布品収益 (注2)	18,955,220	10,460,567	8,494,653
経常収益合計	144,168,871	164,356,110	△ 20,187,239
(2) 経常費用			
①ライオン誌直接出版費	-47,406,924	-47,565,829	△ 158,905
印刷費	11,497,200	13,050,600	△ 1,553,400
ライオン誌送料	25,808,158	26,499,619	△ 691,461
発送事務費	5,197,083	5,921,918	△ 724,835
旅費交通費	0	312,972	△ 312,972
編集関係諸費	75,420	221,864	△ 146,444
原稿料・編集費 (注3)	4,827,600	1,558,070	3,269,530
広告関係諸費	1,463	786	677
②デジタル版関連費 (ウェブマガジン)	-4,752,642	-6,775,206	△ 2,022,564
旅費交通費	2,045,322	2,292,278	△ 246,956
原稿料・編集費	1,669,800	3,072,960	△ 1,403,160
サーバー管理費	971,520	965,484	6,036
その他	66,000	444,484	△ 378,484
③各種委員会会議 (注4)	-395,792	-6,262,075	△ 5,866,283
旅費交通費	328,880	6,022,513	△ 5,693,633
会議費	46,365	217,266	△ 170,901
雑費	20,547	22,296	△ 1,749
④頒布品原価	11,579,784	6,407,183	5,172,601
⑤事務費	-75,796,237	-105,185,776	△ 29,389,539
理事会旅費	4,467,653	5,891,718	△ 1,424,065
会計監査旅費	206,468	530,396	△ 323,928
国際大会・アジアフォーラム関係費	5,600	137,480	△ 131,880
NLLI次世代セミナー会場費補助	0	370,000	△ 370,000
マスク34万枚支援補助	0	14,973,652	△ 14,973,652
人件費 (注5)	40,384,214	48,032,860	△ 7,648,646
福利厚生費 (注5)	5,958,004	7,671,923	△ 1,713,919
旅費交通費	1,799,996	2,220,166	△ 420,170
印刷費	369,926	374,294	△ 4,368
通信費	1,203,823	1,350,690	△ 146,867
備品・消耗品費	257,934	327,592	△ 69,658
事務用品費	548,946	1,836,332	△ 1,287,386
図書費	68,432	71,978	△ 3,546
リース・レンタル料	554,208	443,232	110,976
IT関連費	1,465,970	1,969,604	△ 503,634
支払手数料	271,706	269,411	2,295
顧問料	1,188,000	1,182,600	5,400
地代家賃	14,654,712	15,208,484	△ 553,772
水道光熱費	754,579	785,153	△ 30,574
雑費	910,632	996,828	△ 86,196
減価償却費	108,634	243,633	△ 134,999
租税公課	616,800	297,750	319,050
経常費用合計	139,931,379	172,196,069	△ 32,264,690
当期経常増減額	4,237,492	△ 7,839,959	12,077,451
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	28,332	0	28,332
経常外費用合計	28,332	0	28,332
当期経常外増減額	△ 28,332	0	△ 28,332
当期一般正味財産増減額	4,209,160	△ 7,839,959	12,049,119
一般正味財産期首残高	316,277,324	324,117,283	△ 7,839,959
一般正味財産期末残高	320,486,484	316,277,324	4,209,160
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	320,486,484	316,277,324	4,209,160

- 注： 1. 国際協会補助金減少の要因は、国際理事会方針変更により年4回発行4ドルから、年2回発行2ドル（半期1ドル）に改定されたためです。
2. 頒布品収益増加の要因は、ライオンズ必携第59版売上12,909,400円です。前年度ライオンズ必携は発行しておりません。
3. ライオン誌直接出版費_原稿料・編集日増加の要因は、職員1名の退職に伴い本誌レイアウトを外注に切り替えたためです（726,000円×6回）。
4. 各種委員会会議等減少の要因は、新型コロナの影響により集合会議及び集合参加が減りウェブ会議及びウェブ参加が増えたためです。
5. 人件費及び福利厚生費減少の要因は、職員2名の退職（2020年3月退職、2021年4月退職）によるものです。

Ⅲ 財産目録

一般社団法人日本ライオンズ

2021年6月30日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金			
現金	手許保管	運転資金として保管している	28,828
銀行預金	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0548024	運転資金として保管している	1,856,922
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0548320	運転資金として保管している	293,565,327
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0604392	オリンピック・パラリンピック支援金を預かっている	212,548,570
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0847891	アラート委員会緊急支援金を預かっている	8,525,057
郵便貯金	ゆうちょ銀行〇一八支店(普) 8930855	運転資金として保管している	1,461,925
郵便振替	ゆうちょ銀行〇一九支店(当座) 00170-8-514451	運転資金として保管している	7,329,884
		〈現金及び預金合計〉	525,316,513
未収入金	国際協会PR補助金	2021年1月～6月分82,700人(暫定)・\$1(¥107.135001)	8,860,065
	頒布品売上代金	ライオンズ文庫代	15,811
		〈未収入金合計〉	8,875,876
頒布品	事務所内/ライオンズ必携第59版 111冊@118円	2020年10月20日発行2020-21年度(会議資料・頒布単価200円)	13,098
	事務所内/ライオンズクラブ役員必携 51冊@293円	2020年11月20日発行2020-21年度(会議資料・頒布単価500円)	14,943
	事務所内及び(株)宛名商会本店倉庫		
	ライオンズ・スクール初級編818冊@92円	2019年10月1日発行第4版第2刷(ライオン誌頒布単価400円)	75,256
	(ライオンズクラブ入門 85冊/733冊)		
		〈頒布品合計〉	103,297
流動資産合計			534,295,686
(固定資産)			
敷金	三菱地所リアルエステートサービス(株)	JOTOビル9階901号室(52.53坪/173.67㎡)	11,976,840
		〈敷金合計〉	11,976,840
什器備品	事務所内設置の備品等	会議用テーブル・イス・書類ロッカー(連絡事務所)	1
		職員用事務机・椅子6セット(ライオン誌)	217,271
		富士ゼロックス・A3カラーレーザープリンター(ラ誌)	1
		〈什器備品合計〉	217,273
固定資産合計			12,194,113
資産合計			546,489,799
(流動負債)			
預り金	諸税	職員給与預かり住民税	262,000
オリンピック支援預り金	法人会計	オリンピック・パラリンピック支援金を法人口座で預かっている	212,548,570
アラート委員会預り金	法人会計	アラート委員会緊急支援金を法人口座で預かっている	8,525,057
		〈預り金合計〉	221,335,627
未払消費税	京橋税務署	2020-2021年度消費税(JLO490,600/ラ誌43,800)	534,400
		〈未払消費税合計〉	534,400
未払金	日本年金機構中央年金事務所	社会保険料6月分(JLO58,254/ラ誌301,647)	359,901
	各種会議旅費	2021年4月～6月分振込未精算分	269,000
	共同印刷株式会社	ライオン誌本誌7・8月号印刷代	1,934,900
	株式会社宛名商会本店	ライオン誌本誌7・8月号発送作業費、倉庫保管料	601,865
	特定非営利活動法人 障害者支援情報センター	ライオン誌本誌7・8月号発送事務費	234,500
	佐川急便株式会社	ライオン誌本誌7・8月号発送料等	537,944
	取材交通費	ライオン誌(井原6/24-25¥73,740、CUBE6/25-26¥121,438)	195,178
		〈未払金合計〉	4,133,288
流動負債合計			226,003,315
固定負債合計			0
負債合計			226,003,315
正味財産			320,486,484

日本ライオンズ オリンピック・パラリンピック支援協力金口座 特別会計

(1) 貸借対照表

2021年6月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	212,548,570	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023 - 0604392 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	212,548,570	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残 高	212,548,570
合 計	212,548,570	合 計	212,548,570

(2) 収支計算書

自 2015年7月 1日

至 2021年6月30日

(単位：円)

支出の部		金 額	収入の部		金 額
<支出計>		280,540,926	<収入計>		493,089,496
バラサポート選手育成支援金			会員協力金拠出		
2018年5月交付（148人）	91,350,000	192,330,000	MD330内拠出金	93,979,506	493,080,892
2018年返戻金（1人）	(580,000)		MD331内拠出金	28,494,000	
2019年5月交付（186人）	101,560,000		MD332内拠出金	45,598,636	
			MD333内拠出金	53,996,000	
次世代Tシャツ・タオル支援		3,000,000	MD334内拠出金	78,964,000	
（㈱東亜パッチ・トロフィー）			MD335内拠出金	60,781,500	
			MD336内拠出金	67,800,250	
1000年オリーブ植樹		15,212,300	MD337内拠出金	63,467,000	
オリーブ（(有)薔薇園植物場）	12,808,800		会員協力拠出金合計	493,080,892	
モニュメント		39,758,400			
モニュメント制作費用	39,490,000				
モニュメント式典費用	268,400				
（㈱丹青社）					
パラ競技招待事業		30,000,000			
初回申込金	30,000,000				
（㈱近畿日本ツーリスト首都圏）					
支払手数料		240,226	受取利息		8,604
振込手数料	240,226				
残 高		212,548,570			
合 計		493,089,496	合 計		493,089,496

日本ライオンズ東京オリンピック・パラリンピック支援金一覧

(単位:円)

MD	地区名	2015-2016年度	2016-2017年度	2017-2018年度	2018-2019年度	2019-2020年度	2020-2021年度	地区累計額
330	330-A地区	17,002,000	8,084,000	7,906,000	8,054,000			41,046,000
	330-B地区	10,000,000	10,000,000	7,926,454	6,523,569			34,450,023
	330-C地区	7,640,125	3,592,358	3,714,000	3,537,000			18,483,483
	MD330計	34,642,125	21,676,358	19,546,454	18,114,569	0		93,979,506
331	331-A地区	1,060,000	2,350,125	2,290,500	2,264,625	2,236,500		10,201,750
	331-B地区	0	2,261,000	2,179,000	2,148,000	4,118,000		10,706,000
	331-C地区	0	1,945,000	1,910,000	1,890,000	1,841,250		7,586,250
	MD331計	1,060,000	6,556,125	6,379,500	6,302,625	8,195,750		28,494,000
332	332-A地区	1,704,000	1,685,000	1,735,000	1,687,000	1,617,000		8,428,000
	332-B地区	1,539,000	1,523,000	1,485,000	1,476,000	1,421,000		7,444,000
	332-C地区	1,359,000	1,371,500	1,307,500	1,317,500	1,274,000		6,629,500
	332-D地区	1,937,136	1,963,000	1,954,000	1,974,000	1,887,000		9,715,136
	332-E地区	1,675,000	1,658,000	1,654,000	1,620,000	1,545,000		8,152,000
	332-F地区	1,086,000	1,073,000	1,027,000	1,045,000	999,000		5,230,000
	MD332計	9,300,136	9,273,500	9,162,500	9,119,500	8,743,000		45,598,636
333	333複合地区 (333-A、B、 C、D、E地区) 一括	10,966,000	10,969,000	10,871,000	10,718,000	10,472,000		53,996,000
334	334-A地区	0	9,046,000	4,358,000	4,244,000	4,062,000		21,710,000
	334-B地区	3,104,000	3,019,000	3,019,000	2,995,000	2,948,500		15,085,500
	334-C地区	2,993,000	2,909,000	2,915,000	2,820,000	2,798,000		14,435,000
	334-D地区	3,815,000	3,773,500	3,766,500	3,741,500	3,636,000		18,732,500
	334-E地区	1,828,000	1,850,000	1,841,000	1,782,000	1,700,000		9,001,000
	MD334計	11,740,000	20,597,500	15,899,500	15,582,500	15,144,500		78,964,000
335	335-A地区	1,971,000	1,919,000	1,841,000	1,824,000	1,766,000		9,321,000
	335-B地区	5,188,000	5,094,000	4,925,000	4,984,000	4,883,000		25,074,000
	335-C地区	3,729,000	3,637,000	3,563,000	3,570,000	3,513,000		18,012,000
	335-D地区	1,742,000	1,708,500	1,655,500	1,630,500	1,638,000		8,374,500
	MD335計	12,630,000	12,358,500	11,984,500	12,008,500	11,800,000		60,781,500
336	336-A地区	0	7,506,000	7,561,500	9,808,000			24,875,500
	336-B地区	2,803,000	2,813,000	2,695,000	2,584,000	2,511,000		13,406,000
	336-C地区	3,130,000	3,106,000	2,992,000	2,943,000	2,824,000		14,995,000
	336-D地区	3,762,500	3,708,750	3,580,000	3,472,500	(4年間で徴収済)		14,523,750
	MD336計	9,695,500	17,133,750	16,828,500	18,807,500	5,335,000		67,800,250
337	337-A地区	4,349,000	4,268,000	4,213,500	4,153,000	4,102,500		21,086,000
	337-B地区	2,150,000	2,131,000	2,124,000	2,101,000	2,097,000		10,603,000
	337-C地区	0	5,502,000	2,676,500	2,584,000	2,445,500		13,208,000
	337-D地区	2,267,000	2,210,500	2,169,500	2,112,000	2,011,500		10,770,500
	337-E地区	1,554,000	1,554,500	1,565,500	1,563,500	1,562,000		7,799,500
	MD337計	10,320,000	15,666,000	12,749,000	12,513,500	12,218,500		63,467,000
	MD合計/A	100,353,761	114,230,733	103,420,954	103,166,694	71,908,750		493,080,892
その他	受取利息/B	13	1,246	1,475	2,105	1,928	1,837	8,604
	合計(A+B)	¥100,353,774	¥114,231,979	¥103,422,429	¥103,168,799	¥71,910,678	¥1,837	¥493,089,496

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表

2021年6月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	8,525,057	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No.023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」	8,525,057	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,525,057
合 計	8,525,057	合 計	8,525,057

(2) 収支計算書

自 2020年7月1日

至 2021年6月30日

(单位: 円)

支出の部		金 額	収入の部	金 額
<支出計>		21,725,227	<収入計>	30,250,284
2020年7月豪雨災害支援 337-E地区（熊本県）			緊急支援金拠出（2020年7月水害支援）	19,157,096
7月支援分	8,802,390	11,014,039	MD330内拠出金	660,786
8月支援分	2,211,649		MD331内拠出金	
			MD332内拠出金	4,006,165
			MD333内拠出金	2,263,500
アラート活動費		369,190	MD334内拠出金	
7月熊本豪雨災害視察交通費2人	93,340		MD335内拠出金	11,559,145
11/27アラート全体会議会場費	104,020		MD336内拠出金	
11/27アラート役員旅費補助6人	166,000		MD337内拠出金	667,500
支払手数料	5,830		その他/振込人不明	0
			緊急支援金合計	19,157,096
2021年2月福島県沖地震災害支援 332-D地区（相馬LC、新地LC） ブルーシート、ロープ、土のう袋		407,220		
2020年12月～2021年1月 新型コロナウイルス感染対策支援			受取利息	133
旭川への支援物資	3,000,470			
グアムへの支援物資	6,934,308	9,934,778	前年度繰越金	11,093,055
次期繰越金		8,525,057		
合 計		30,250,284	合 計	30,250,284

【累計報告】 日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2021年6月30日現在

(単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
<流動資産計>	8,525,057	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」	8,525,057	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,525,057
合 計	8,525,057	合 計	8,525,057

(2) 収支計算書

自 2019年10月28日
至 2021年6月30日

(単位：円)

支出の部	金 額	収入の部	金 額
<支出計>	32,727,605	<収入計>	41,252,662
2019年台風19号水害支援		緊急支援金拠出(2019年台風19号水害支援)	
MD330	223,790	MD330内拠出金	730,974
指定寄付	722,030	MD331内拠出金	500,000
お見舞金	270,000	MD332内拠出金	510,500
返戻金	(768,240)	MD333内拠出金	1,143,000
MD332	6,223,971	MD334内拠出金	1,398,367
指定寄付	1,548,471	MD335内拠出金	7,581,599
お見舞金	1,440,000	MD336内拠出金	5,058,446
丸森町商工会(電子レンジ)	2,000,000	MD337内拠出金	5,172,526
本宮市立町地区(米/醤油/味噌)	1,235,500	緊急支援金合計	22,095,412
MD333	1,842,203	拠出内訳:	
指定寄付	1,002,203	支援先指定	4,955,968
お見舞金	840,000	無指定	17,139,444
MD334	2,712,414		
指定寄付	2,262,414	緊急支援金拠出(2020年7月水害支援)	19,157,096
お見舞金	450,000	MD330内拠出金	660,786
2020年7月豪雨災害支援		MD331内拠出金	
337-E地区(熊本県)		MD332内拠出金	4,006,165
7月支援分	8,802,390	MD333内拠出金	2,263,500
8月支援分	2,211,649	MD334内拠出金	
アラート活動費	369,190	MD335内拠出金	11,559,145
7月熊本豪雨災害視察交通費2人	93,340	MD336内拠出金	
2020/11/27アラート全体会議会場費	104,020	MD337内拠出金	667,500
2020/11/27全体会議旅費補助6人	166,000	その他/振込人不明	0
振込手数料	5,830	緊急支援金合計	19,157,096
2021年2月福島県沖地震災害支援	407,220	受取利息	154
332-D地区(相馬LC、新地LC)			
ブルーシート、ロープ、土のう袋			
2020年12月～2021年1月			
新型コロナウイルス感染対策支援			
旭川への支援物資	3,000,470		
グアムへの支援物資	6,934,308		
次期繰越金	8,525,057		
合 計	41,252,662	合 計	41,252,662

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準について（平成20年4月11日付け内閣府公益認定等委員会）に基づく会計処理を行っています。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当事項はありません。
- (3) 頒布品の評価基準及び評価方法について
頒布品の評価方法は、個別原価法を採用しています。
- (4) 固定資産の減価償却について
減価償却は定額法によっています。
- (5) 引当金の計上基準について
該当事項はありません。
- (6) 消費税の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 基本財産の増減額及びその残高

該当事項はありません。

3. 固定資産の取得額、減価償却累計額および当期末残高

（単位：円）

科 目	期首取得価額	増加資産	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	349,198	0	349,197	1
什器備品	760,441	0	543,170	217,271
什器備品	540,000	0	539,999	1
合 計	1,649,639	0	1,432,366	217,273

（会議テーブル・イス・ロッカー）

（ライオン誌職員事務机・イス）

（ライオン誌ゼロックス複合機）

残 高 証 明 書

令和 3年 7月 1日

104-0028

東京都中央区八重洲2丁目6-15 JOTOビル9階

一般社団法人 日本ライオンズ 様

ご請求のありました令和 3年 6月30日現在における残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

京橋通郵便局 局長 

記

【調査対象者】

名義人さま 一般社団法人 日本ライオンズ 様

【証明する貯金等の内容】

【貯金】	貯金の種類	記号番号	残高	備 考
	通常貯金	10130-89308551	1,461,925円	
	以上			

- ※ 金額が訂正されたものは無効です。
- ※ この証明書につきまして、ご不明な点がございましたら、次の書類等をお近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口までお持ちのうえ、お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。
 - ・ 本証明書
 - ・ ご本人さまであることを確認できる証明書類（お名前、ご住所、生年月日の入った運転免許証や健康保険証など、法人名義の場合は登記簿謄本など、団体名義の場合は規約の写しなどもあわせてお持ちください。）
- ※ 貯金の場合、残高欄には、証明日現在の残高または元金を記載しております。
- ※ 国債の場合、残高欄には、証明日現在の額面金額、備考欄には、市場価格＋経過利息（個人向け国債の場合は中途換金額）を記載しております。（非営業日の場合、前営業日の市場価格等を記載しております。）
- ※ 調査結果に別名使用の振替口座が含まれている場合、「名義人さま」欄には口座名称または別名を記載しております。
- ※ 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構が管理する郵便貯金につきましては、同機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しております。

三菱 UFJ 銀行 京橋支店 (023) 普通預金 No.0847891

口座名「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 委員長 小林 聡」



普通預金 **8**

摘要(お客様メモ)	お支払金額	お預り金額	差引残高	記号・店番号
02-10-16			*20,992,005*	023
02-10-19 振替 335-B 返金分	*420,363	8/7 送金から前同様に送金	*20,571,642*	R 023
02-10-23 振込1	335-C ライオンズ	*15,000	*20,586,642*	LT023
02-10-28 振込1	サンサンニビチフキヤヒ	*781,165	*21,367,807*	LT023
02-11-27 振込1	335-C ライオンズ	*30,000	*21,397,807*	LT023
02-11-27 振替 L 藤井信英	*50,170	7月人吉市視察交通費+雑費 49,400 + 770	*21,347,637*	R 023
02-11-27 振替 L 坂本寛市	*44,710	43,940 + 770	*21,302,927*	R 023
02-12-4 振替 (株) 東天紅	*104,790	11/27 フォート全体会議 会場費104,020 + 770	*21,198,137*	R 023
02-12-28 振替 旅費6人分+送料	*169,520	11/27 アラート全体会議 166,000 + 3,520	*21,028,617*	R 023
03-2-3 振替 337-E 地区	*221,164	1/29 振込済 令和2年7月本書	*18,816,968*	R 023
03-2-10 振込1	335-C ライオンズ	*50,000	*18,866,968*	LT023
03-2-22 利息		*87	*18,867,055*	LT023

03-3-29 振替 332-D 地区	*407,220	福島県沖地震被害支援金	*18,459,835*	R 023
03-6-30 振替	*9,934,778		*8,525,057*	R 023

● 小切手等の証券類によるご入金の場合はそのお払戻しのできる予定の日を次のとおり摘要欄に表示します。

表示	お支払予定日時
証券類(〇〇) 取立(〇〇)	(〇〇)で表示されている日の午後
振込(〇〇) 振替(〇〇)	お支払可能時刻は小切手等の種類によって異なります。詳細は窓口へお問い合わせください。
配当金(〇〇)	

● 自動支払い、お振込金などの内容は摘要欄または金額欄に、漢字またはカナ文字で表示します。
(お振込人名などをカナ表示する場合、一部省略または略記させていただくことがあります。ご不明な点は当店へご照会ください。)

● 記号のご説明
K, M...入金
L...振替入金
Q...支払い
R...振替支払い
T...後日記帳分

残高証明書 ACCOUNT BALANCE CERTIFICATE

東京都 中央区 八重洲 2丁目
6番15号JOTOビル9階



一般社団法人 日本ライオンズ 様

お取引店 京橋 支店

NH9A1A20210702 014137#

K1

同文のもの 1 通発行の内第 1 号
(023-1984160)

THIS IS TO CERTIFY THAT THE BALANCE OF YOUR ACCOUNT(S)
WITH MUFG Bank, Ltd. SHOWS THE AMOUNT(S) INDICATED BELOW.

[illegible]

- ☒

振替口座残高証明書

口座番号	00170-8- 514451
------	-----------------

加入者名	一般社団法人 日本ライオンズ
------	----------------

令和 3 年 6 月 3 0 日現在の口座残高

*****7, 329, 884 円

上記のとおり証明します。

令和 3 年 7 月 1 日
ゆ う ち ょ 銀 行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

預金残高証明書

 **MUFG** 株式会社 三菱UFJ銀行

作成日(和暦) 3年11月4日
お取引店 京橋支店
同文のもの 1通発行の内第1号



一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 委員長 小林 聡 様

令和 3年6月30日 現在の貴方ご名義下記勘定残高について相違ないことを証明いたします。

1 ページ

預金種類	口座番号	残高	備考
普通預金	0847891	¥8,525,057	
以下余白			

- この証明書の金額は訂正いたしません。
- 金額は証明日現在の元帳最終残高を表し、決済未確認の証券類を含んでいることがあります。
- 「当座貸越（総合）」には、普通預金貸越型のカードローンご利用額も含まれます。
- 口座番号欄は、口座指定のご依頼の場合のみ表示します。
- 備考欄に「休眠預金等代替金」と記載がある明細の残高は、「証明基準日の直前の利息入金日（または満期日）時点での元本利子相当額（税引後）」となります。

2021~2022 年度 一般社団法人日本ライオンズ

第 2 回全国ガバナー会(社員総会) 議事録

日 時 : 2021 年 12 月 16 日 13:30~15:00

会 場 : WEB 及び日本ライオンズ事務局

出席者 : 別紙参照

議事録作成人 : MD332 下間俊悦常務理事 MD334 山本基博常務理事

議事録署名人 : 333-E 地区 岡野良男ガバナー 337-E 地区 宮川貞雄ガバナー

村木秀之専務理事

社員総会開会に先立ちまして一般社団法人日本ライオンズの薬物乱用防止啓発活動に対して、厚生労働大臣田村憲久様、並びに公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター様から感謝状をいただきましたので、公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター理事長藤野彰様、専務理事原田進様、企画部長加藤康樹様から仁科良三理事長にお渡しいただきます。

公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター理事長藤野彰様からご挨拶をいただきます。

公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター理事長 藤野彰

国連職員として仕事に携わり、30 年ぶりに帰国しました。半世紀前に国際社会は条約を改正して薬物乱用防止が最も重要なことであると強く意思を表明しました。日本ライオンズ様は四半世紀にわたり、私共と提携して日本の子供たちを薬物から守るのに多大なるご尽力を賜りました。この活動は世界に冠たる活動であると考えます。私共は今後とも末永く皆様との協力体制を維持していきたいと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。

<開会>

村木秀之専務理事

一般社団法人 日本ライオンズ 2021~2022 年度第二回全国ガバナー会(社員総会)を開会します。理事長の指名により本社員総会の司会進行を務めさせていただきます。

出席正社員数 59 名中 59 名 内、議決権行使書による出席 2 名(336-A.337-D の各地区ガバナーからはすべての議案に賛成の意思表示をいただいています。定款 17 条 総正社員の過半数の出席により本社員総会は成立し、定款 18 条 決議は出席した総正社員の過半数をもって成立することを報告します。

仁科良三理事長からご開会宣言並びにご挨拶をいただきます。

<挨拶>

仁科良三理事長

本来であれば全国のガバナーの皆さんと対面での社員総会が望まれるところではありますが、コロナ感染症対策の観点から WEB での開催とさせていただきました。ご理解とご協力をお願いします。ただいま感謝状をいただきました。各準地区での長年にわたる「だめ絶

対」運動とう薬物乱用に対する様々な努力が認められ、本日の感謝状授与につながったものです。今後も世の中が住みよい社会となるよう努力してまいります。

全国のガバナーにお会いしたことにも後程触れさせていただきますが、本日の社員総会にご参加いただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

村木秀之専務理事

山田實廣 2021~2022LCIF 理事(元国際会長)からご挨拶をいただきます。

山田實廣 2021~2022LCIF 理事(元国際会長)

社員総会の開催おめでとうございます。

3点についてお話しします。

- ① キャンペーン 100 への協力を感謝します。現在の達成率は 80%です。モントリオール国際大会でのゴールを目指して日本の皆さんの協力が必要です。各地区ガバナーの皆さんには地区内全クラブがモデルクラブに入ってください。モデルクラブを作ることによって国際会長アワードがガバナーに贈呈されます。最近はガバナーでも国際会長アワードはなかなかいただけないのが実態です。キャンペーン 100 の期間中は地区内でモデルクラブを作ることによって、国際会長アワードが受けられます。残り 6 か月間ぜひ頑張ってくださいと思います。
 - ② 米国・竜巻被害に対する支援をお願いする。全米のクラブが寄付金を集め、被災者支援の活動をしています。日本は 10 年前に東日本大震災、熊本地震、広島豪雨災害等の際には、LCIF を通じて世界中から多額の支援をいただいた。その恩返しの意味も込めて日本からの緊急の支援をお願いしたい。
 - ③ モントリオール国際大会ではオセアニア地域からの国際理事候補者の枠が一つ空席になりました。OEC はオセアニア地域から出す国際理事の質を高めよう考えているが、フィリピン、香港から国際理事にふさわしい立候補者の調整がつかず、日本から国際理事にふさわしい人を出すそうということになりました。各地区ガバナーから、質の高い国際理事としての仕事ができる候補者を推薦願いたい。なりたい人よりならせたい人を出さなくてはいけない。既に執行役員に名は理事長から説明があったと思いますが、2 月 22 日までに出さなくてはいけないですが、詳細は後程質問がありましたら説明いたします。
- 以上でご挨拶いたします。

<議事録作成人・議事録署名人指名>

村木秀之専務理事

議事に入る前に以下の通り議事録作成人と議事録署名人の指名について参加者に諮り、執行部一任の発言あり、以下の通り指名した。

議事録作成人：MD332 下間俊悦常務理事 MD334 山本基博常務理事

議事録署名人：333-E 地区 岡野良男ガバナー 337-E 地区 宮川貞雄ガバナー

それでは、これより審議事項に入ります。仁科良三理事長は議長をお願いします。

<審議事項>

仁科良三理事長

第一号議案「今後の社員総会日程案」について、本来議案として取り上げる必要はないがコロナ感染症の状況によって先行き不透明の中、あえて日程を明確にさせていただいた。コロナ感染症の状況によっては変更も考えられるので、その際は執行理事会に一任いただくことも含めて承認願いたい。村木秀之専務理事に説明を求める。

村木秀之専務理事

第三回は2022年3月23日、第四回は6月15日いずれも時間は13:30~16:00で対面での開催とします。以上のように日程を決めさせていただきましたが、コロナ感染症の影響等を考え、日程、開催方法の変更は執行理事会にお任せいただくことも含めてご承認いただきたくお願いします。

仁科良三理事長

資料の説明後、質疑に入るも質疑の発言なく採決に入り、賛成多数にて可決しました。

第二号議案「東京オリンピックパラリンピック支援金残金の扱い」について

松岡勲副理事長(前オリパラ委員長)

これまで拠出いただいた支援金総額 ¥493,088,558.に対しては毎年会計監査をいただいております。現在までオリンピックパラリンピックの事業に予算を使わせていただき、本年9月17日現在の残金¥217,582,467.でこれを資料の通り各複合地区単位で送金する。振込手数料は送金後の残金¥34,827.から支出する。その後の残金は事業費雑収入として処理をする。この送金は年内に実施する。以上資料の説明があった。

仁科良三理事長

質疑に入るも質疑の発言なく採決に入り、賛成多数にて可決しました。

第三号議案「第8回SON夏季ナショナルゲーム広島大会協賛金(¥5,000)」について

福永栄一常務理事

議案の説明に入る前に参考として、一般社団法人日本ライオンズがスペシャルオリンピックスのヘルス分野への支援に対して贈られる最高位の賞「2020年度スペシャルオリンピックス日本ゴリサーノアワード」を受賞したことを報告します。仁科良三理事長が各MDを訪問された時にご紹介がありましたが、本日の議案資料に予算書の添付がないことについて執行理事会にてご指摘いただきましたので、来週月曜日に各準地区事務局あてに送付する。2022年11月2~6日に開催、開催地は広島県内各市、参加人数15,700名、実施競技は11種目の予定。支出項目としてはTシャツ、のぼり、ピンバッチ等の作成費、全国トーチラン運営費、パンフレットの作成費等14,460千円を予定している。協賛金は各クラブ¥5,000以上、振込手数料は各クラブ負担にて2022年3月末までには願います。各複合で集めて社団あて送金願う。以上説明があり、その補足説明をMD331 鶴島浩二常務理事、MD335 三宮秀介常務理事に求めることを議長に提案した。議長の許可を得てMD331 鶴島浩二常務理事、MD335 三宮秀介常務理事から補足説明をお願いする。

MD331 鶴島浩二常務理事

前回札幌大会はコロナ感染症のため中止となった。この大会は全国各地のアスリートが参加する大会であり、協賛金のすべてをアスリートのために使わせていただきます。従って広島での大会ではありますが、全国各クラブの協力をお願いする。以上の補足説明があった。

MD335 三宮秀介常務理事

スペシャルオリンピックスとは知的障害の方々には社会参加と自立の支援をするという活動です。スタートは米国ケネディ大統領の妹が推進した活動で、LCI と SON は以前から協力体制をとっている。皆さんの協力をお願いする。

以上の補足説明があった。

仁科良三理事長

質疑に入るも質疑の発言なく採決に入り、賛成多数にて可決しました。

<報告事項>

村木秀之専務理事

総会添付資料の組織図について説明

今年度は①第8回 SON 夏季ナショナルゲーム広島大会委員会に変更した。他組織図の変更点に関して説明した。

仁科良三理事長

各 MD 訪問について報告 全国 35 人全ガバナーに会うことができました。手配いただいた議長の皆さんに感謝します。多数の意見をいただいたので資料を確認願いたい。諮問事項として 1.SON 委員会に広島大会に対する日本全体での支援体制づくりをお願いする。2.総務委員会に日本ライオンズの強い組織と分かりやすい運営の検討、日本ライオンズ 70 周年記念事業の検討をお願いする。3.財務委員会に組織強化(事務局体制強化)と応分の負担の検討をお願いする。

村木秀之専務理事

各委員会から順次報告をお願いする。SON 夏季ナショナルゲーム広島大会委員会(福永栄一議長)は既に議案としてご説明がありましたので割愛します。

(1) 古川隆常務理事

PR マーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)から報告します。

11~12 月号は配布済、1~2 月号は近日配布予定。ライオン誌、WEB マガジンを是非見てほしい、各種情報提供をしているので興味を持ってほしい。地区内各種会議にて活用を PR し、諮問委員会、クラブ例会等での活用をお願いする。

(2) 下間俊悦常務理事

国際理事候補者推薦委員会から報告します。

当初予定が変更となり国際理事を推薦することとなった。12 月 21 日委員会を開催し今後のスケジュール等確認して報告する。

仁科良三理事長から補足 12 月 2 日緊急の執行理事会を開催し、山田元国際会長から状況の説明をいただいた。執行理事会としては日本から国際理事を出すこととした。委員会終了後に新たな説明ができると思う。

(3) 三宮秀介常務理事

会則委員会から報告します。

ライオンズ必携第 60 版の発行は事務局体制等の問題で発行を断念した。第 59 版からの修正部分を抽出して配信する予定。役員必携に関しても来期早々には発行できるよう準備を進める。

森川明次郎理事

第 60 版の作成は印刷会社へ修正部分を伝えれば可能ではないか、事務局員の問題ではないと思う。

三宮秀介常務理事

理事のご指摘の通り印刷会社に修正データを送れば可能であるが、国際協会の役員名簿、全国のガバナーの名簿等の取りまとめができず、10 月の時点で発注して完成が 3 月とこのことで、今回は断念した。次年度以降はすべてを事務局に依存することなく会員が作業を一部担当することが必要になると考える。

(4) 鶴嶋浩二常務理事

国際大会委員会から報告します。

川島正行国際理事からモントリオール国際大会の早期登録が 3 月 31 日に国際協会にて正式に変更されたと報告あり。委員会としては各準地区 30 名以上の登録を 1 月中にお願いしたい。現在、大会は対面での開催、観光での入国ができない等いわれているが、今後詳細が判明次第報告する。

(5) 山本基博常務理事

YCE 委員会から報告します。

11 月 9 日、12 月 6 日に第二回、第三回の委員会を開催した。現在、核 MD が担当している交渉相手国について、見直しをすることで決定している。具体的な担当国は今後の委員会にて決定する。来年の春・夏の交換事業は世界のコロナ感染症の状況を鑑み中止を決定した。3 月に第四回委員会を開催する。受け入れ時の条件、交換実施要領の統一の議論を進める。

(6) 村木秀之専務理事

ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会から報告します。

厚生労働書、麻薬・覚せい剤乱用防止センターからの感謝状をいただきました。委員会は未開催ですが来年開催し、事業の推進を図るので協力をお願いする。

(7) 山川洋常務理事

アラート委員会から報告します。

組織図並びに緊急連絡網が完成した。金銭的な課題として被災地への支援物資は有償なのか無償なのかを確認し記録を残し明文化する。

仁科良三理事長

米国・竜巻災害の件。被災の一報を受けて正副理事長・専務理事が支援を決定した。

鈴木誓夫 LCIF 理事

日本は過去に様々な災害に際して世界各国から多額の支援をいただいた。今回の竜巻で被災された方たちに日本から緊急支援をしたい。¥1,000/人をクラブ単位で LCIF(災害指定)へ送金願いたい。年末で各クラブが対応困難であれば、準地区または複合地区で対

応願したい。

永田賢司国際理事

早い支援が必要であり日本の心を見せていきたい。早い対応をお願いする。
山川洋委員長から。被災状況はまだ増えると予想する。一日も早い支援を実施できるよう各ガバナーの皆さんの協力をお願いする。

下間俊悦常務理事

米国への支援に関して、発信する内容等を具体的に詰めたかどうかとの提案があった。

仁科良三理事長

アラート委員長である山川洋副理事長に全国へ向けての発信等を一任することで了承願いたいと発言し、了承を得た。

331-B 地区 高井信夫ガバナー

アラート委員会の対応をさらにスピーディにするために、災害に対する対応マニュアルを作成してはどうか。

山川洋委員長

対応を検討するとの回答。

森川明次郎理事

緊急を要する災害支援であり、すでに具体的な内容が決まっているのであれば速やかに協力依頼の文章を発信するべきと考える。

山川洋委員長

竜巻災害に関する詳細の資料はオセアル事務局から入手済である。LCIF(災害指定)を活用した支援のお願いを早急に発信する。

村木秀之専務理事

その他特に報告事項がないようですので、ここで仁科良三理事長から閉会宣言をお願いします。

仁科良三理事長

閉会宣言をもって本日の第二回全国ガバナー会(社員総会)を閉会した。

議事録作成

下間俊悦 常務理事(MD332 議長)

山本基博 常務理事(MD334 議長)

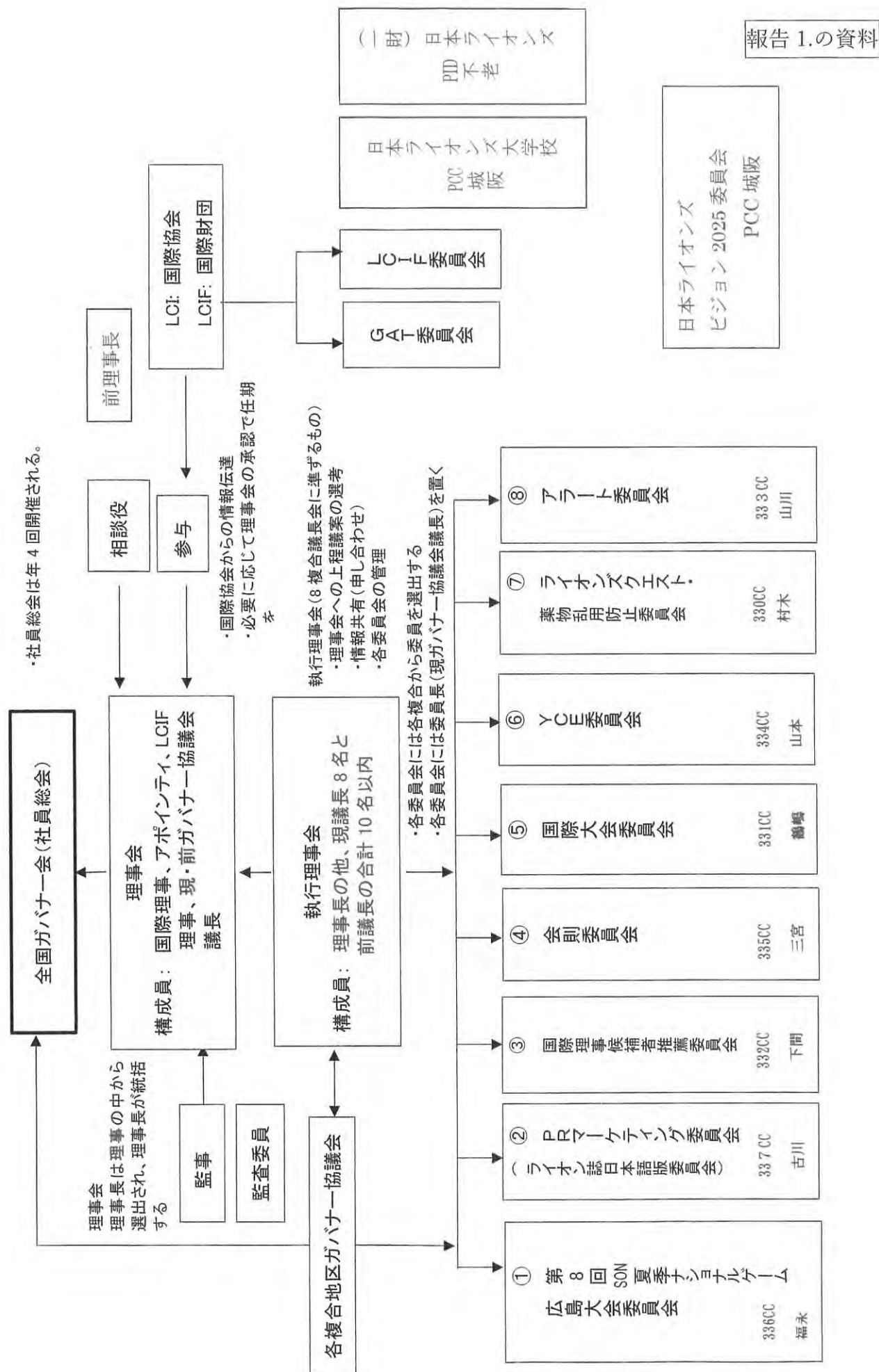
2021 年 12 月 16 日

議事録署名人

議長・代表理事 仁科良三【押印省略】

333-E 地区ガバナー 岡野良男【押印省略】

337-E 地区ガバナー 宮川貞雄【押印省略】



2021-22 年度一般社団法人日本ライオンズ

仁科理事長各 MD（地区ガバナー）訪問日程

2021.10.21

14:00 現在

<u>日 時</u>	<u>訪問 MD</u>	<u>会場</u>
10 月 12 日（火曜日）14 時	MD331	札幌
10 月 21 日（木曜日）15 時～17 時	MD336	岡山 ホテルグランヴィア岡山
10 月 28 日（木曜日）16 時	MD334	名古屋 ウイंकあいち
11 月 1 日（月曜日） 13 時 30 分～16 時 30	MD332	仙台 ホテルモントレ仙台
11 月 4 日（木曜日）15 時	MD335	神戸 ANA クラウンプラザ
11 月 11 日（木曜日） 14 時～16 時	MD330	東京 帝国ホテル
11 月 16 日（火曜日） 13 時 30 分～16 時	MD333	東京 MD333 事務局
11 月 17 日（水曜日） 14 時 30 分-16 時 30 分	MD337	博多 MD337 事務局

2021-22年度 一般社団法人日本ライオンズ 理事会内担当理事(案)

第1回執行理事会(8.23)

(案) 委員会名称、担当内容及び担当理事の選任

委員会名称	担当内容	担当理事(敬称略)
1 総務・人事・管理	運営全般・総会準備・採用・査定等	(仁科*)(村木*)(山川)
2 財務・会計・資産管理	収支予算書など会計全般	(鶴嶋)(山本*)(下間)
3 渉外・PRマーケティング スペシャルオリンピックス	契約交渉・外部との折衝、法人HP	(福永)(古川)
4 地区クラブサービス	会員数減少に対応するための運営計画	(松岡)(三宮)

現議長 前議長

* 決裁担当k: 理事長、専務理事
財務担当理事1名、計3名

理事のうち、現議長、前議長の、
16名で分野別に担当する。

(理事会理事16+α名)

2021-22	MD330議長	村木 秀之 (専務理事)	1
2021-22	MD331議長	鶴嶋 浩二 (常務理事)	2
2021-22	MD332議長	下間 俊悦 (常務理事)	3
2021-22	MD333議長	山川 洋 (副理事長)	4
2021-22	MD334議長	山本 基博 (常務理事)	5
2021-22	MD335議長	三宮 秀介 (常務理事)	6
2021-22	MD336議長	福永 栄一 (常務理事)	7
2021-22	MD337議長	古川 隆 (副理事長)	8
2020-21	MD330議長	森川 明治郎	9
2020-21	MD331議長	中谷 宣巨	10
2020-21	MD332議長	伊藤 明彦	11
2020-21	MD333議長	石橋 貞	12
2020-21	MD334議長	仁科 良三 (理事長)	13
2020-21	MD335議長	松岡 勲 (副理事長)	14
2020-21	MD336議長	岡村 聖衛	15
2020-21	MD337議長	森口 孝行	16
2019-22	国際理事	川島 正行	17
2019-22	国際理事	渡部 雅文	18
2021-23	国際理事	藏 大介	19
2021-23	国際理事	永田 賢司	20
2021-22	LCIF理事	山田 寛紘	21
2021-22	LCIF理事	鈴木 誓男	22

現議長

前議長

諮問事項

1 SON委員会

広島大会実行組織と支援体制

2 総務会

一社日本ライオンズの分かりやすい強い組織と了解しやすい運営の検討

日本にライオンズが出来て 70 周年記念事業を検討

3 財務会

組織強化への応分負担

事業計画が無い

副理事長選り翌年度理事長に就任する

骨太の方針を打ち出して欲しい

副、理事長、代理と三年間の任期とする

事務局の体制を強化して欲しい

現在 80 円から 180 円 100 円 up して運営する

一社にした理由はなんですか

その他任意団体から、法人格持ち社会的地位の向上

屋上奥を作る必要性

LCI 日本の支援組織である

国際協会と一社の立ち位置は

指示命令を出す所では無い

MD 束ねる所で 最大効果求める

一般財団法人なぜ必要性は

ファンドパートナーを求めており、受け皿の構築をする

事ある都度寄付を集めない

ライオンズ大学校の必要性は

メンバースキル up 本科取入

家族会員のルールを統一する

正会員で多様性の必要会員



336 複合地区次期 GMA 打合せ会 次第

開催日時：2021 年 12 月 17 日（金）13:30～15:30

開催場所：岡山シティホテル桑田町別館 3F「302 会議室」

岡山市北区桑田町 3-30 TEL:086-221-0001

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠
336 複合地区 GMA 世話人		
336 複合地区 GMT コーディネーター	真鍋 隆	○
336-A 地区 GMT コーディネーター		
336 複合地区 GLT コーディネーター	池原 堅	○
336 複合地区 GST コーディネーター	澤 辰水	○
336 複合地区ス ^パ シャルティクラブ・FWT コーディネーター	有本みどり	○
336 複合地区ス ^パ シャルティクラブ・FWT 副コーディネーター	鵜飼 恵美	○
336-A 地区第一副地区ガバナー	市村 通夫	○
336-B 地区第一副地区ガバナー	西尾 慎一	○
336-C 地区第一副地区ガバナー	弓場 秀俊	○
336-D 地区第一副地区ガバナー	中島 繁	○
336-A 地区次期 GMA メンバー予定者	長尾 和彦	○
336-B 地区次期 GMA メンバー予定者	藤井 信英	○
	難波 進	○
	岡嶋 正和	○
336-C 地区次期 GMA メンバー予定者	高田 信吾	○
	九十九 誠	○
	宮本 浩二	○
	片山 敏子	○

司会進行：336 複合地区 GMA 世話人 真鍋 隆

1. 開会挨拶 336 複合地区 GMA 世話人 真鍋 隆

2. 出席者自己紹介

3. 議 題 「地区の組織と講師について」

4. 閉会挨拶 336 複合地区 GLT コーディネーター 池原 堅

336複合地区 GMT報告書 (2021年12月末現在)

336複合地区GMTコーディネーター 眞鍋 隆
(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度					0
前年度期首比	-104	-145	-66	-67	-382

四半期会員増強計画 期間：2021年7月1日～2022年6月30日 (単位：人)

	A地区 蔵本 守雄		B地区 平山 智雄		C地区 三島 英揮		D地区 大野 美雄		336複合地区 合計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	100	110	50	59	50	74	50	56	250	299
退会見込み者数	80	134	45	49	30	53	40	48	195	284
10月～12月	150	95	50	37	50	37	50	39	300	208
退会見込み者数	80	122	10	53	30	49	40	42	160	266
1月～3月	100		50		50		40		240	
退会見込み者数	80		5		30		30		145	
4月～6月	50		50		50		40		190	
退会見込み者数	90		30		80		69		269	
会員増強計画 計	400		200		200		180		980	
退会見込み者数 計	330		90		170		179		769	
会員純増目標 合計	70		110		30		1		211	

※チャーター20を含む ※チャーター60含む

会員増強計画に対する方法

A地区ガバナー 蔵本 守雄	純増70人を目標にし、会員の健康維持を第一に考えて現会員には長生きをしてライオンズ活動をと願っています。若い方に入会して頂くためにJC、IT関係の会合に出席して声掛けをします。女性会員を増やしたいのでデニス同好会等の会員にもお逢いして、そのような団体を支部結成できるよう努力す
B地区ガバナー 平山 智雄	例会が楽しくなければ退会者が増えるので、各クラブとも「楽しい例会」をして頂きたい。またASK1の運動、そしてクラブ内でも会員セミナーを実施していただきたいと思っています。
C地区ガバナー 三島 英揮	ガバナー諮問委員会やセミナー等でスライドを用いてディスカッション等を行い会員増強について周知徹底を行っている。 ※7月～9月のMYLCI上では退会者53名だが、実際には年度末（6月）16名の退会者の報告を行っていないが、今期になって退会処理されたため、実数は37名である。
D地区ガバナー 大野 美雄	あらゆる機会をとらえて増強を奨励する。期間後半での退会防止を呼び掛ける。楽しいライオンズライフが送れるよう、親子クラブ、近隣クラブとの交流を奨励する。
336複合地区 GMTコーディネーター 眞鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2021年12月末現在 国際本部集計

* 増減及び入退会等は期首からの累計																
	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	192	0	1	-1	5,650	243	160	83	4,066	1,584	28.0%	1,463	25.9%	497	966	4,187
330-B	151	0	0	0	3,736	138	108	30	3,125	611	16.4%	358	9.6%	104	254	3,378
330-C	73	0	1	-1	1,804	44	71	-27	1,499	305	16.9%	221	12.3%	77	144	1,583
330MD	416	0	2	-2	11,190	425	339	86	8,690	2,500	22.3%	2,042	18.2%	678	1,364	9,148
331-A	71	0	1	-1	2,419	70	74	-4	1,983	436	18.0%	329	13.6%	73	256	2,090
331-B	74	0	0	0	2,178	42	63	-21	1,795	383	17.6%	304	14.0%	47	257	1,874
331-C	44	0	0	0	1,563	47	59	-12	1,280	283	18.1%	245	15.7%	66	179	1,318
331MD	189	0	1	-1	6,160	159	196	-37	5,058	1,102	17.9%	878	14.3%	186	692	5,282
332-A	57	1	0	1	1,872	74	35	39	1,420	452	24.1%	354	18.9%	74	280	1,518
332-B	50	0	0	0	1,977	40	45	-5	1,313	664	33.6%	688	34.8%	131	557	1,289
332-C	54	0	0	0	1,518	32	46	-14	1,087	431	28.4%	391	25.8%	86	305	1,127
332-D	68	0	1	-1	2,285	68	64	4	1,720	565	24.7%	508	22.2%	115	393	1,777
332-E	52	0	0	0	1,695	52	33	19	1,360	335	19.8%	270	15.9%	48	222	1,425
332-F	45	0	0	0	1,269	30	31	-1	922	347	27.3%	288	22.7%	54	234	981
332MD	326	1	1	0	10,616	296	254	42	7,822	2,794	26.3%	2,499	23.5%	508	1,991	8,117
333-A	70	0	1	-1	2,681	98	77	21	2,272	409	15.3%	221	8.2%	69	152	2,460
333-B	46	0	0	0	1,429	37	41	-4	942	487	34.1%	426	29.8%	109	317	1,003
333-C	112	0	2	-2	2,821	89	109	-20	2,221	600	21.3%	352	12.5%	123	229	2,469
333-D	49	0	0	0	1,910	56	62	-6	1,416	494	25.9%	457	23.9%	105	352	1,453
333-E	80	0	0	0	4,182	127	126	1	2,959	1,223	29.2%	1,299	31.1%	402	897	2,883
333MD	357	0	3	-3	13,023	407	415	-8	9,810	3,213	24.7%	2,755	21.2%	808	1,947	10,268
334-A	110	0	0	0	5,328	186	133	53	3,678	1,650	31.0%	1,584	29.7%	318	1,266	3,744
334-B	76	0	1	-1	3,827	79	122	-43	2,818	1,009	26.4%	1,096	28.6%	260	836	2,731
334-C	75	0	1	-1	2,984	94	131	-37	2,568	416	13.9%	290	9.7%	39	251	2,694
334-D	93	0	0	0	4,779	128	140	-12	3,381	1,398	29.3%	1,346	28.2%	231	1,115	3,433
334-E	49	0	0	0	2,364	58	34	24	1,651	713	30.2%	680	28.8%	163	517	1,684
334MD	403	0	2	-2	19,282	545	560	-15	14,096	5,186	26.9%	4,996	25.9%	1,011	3,985	14,286
335-A	69	0	0	0	1,788	65	62	3	1,412	376	21.0%	141	7.9%	28	113	1,647
335-B	151	0	2	-2	6,344	254	194	60	4,513	1,831	28.9%	1,575	24.8%	348	1,227	4,769
335-C	102	0	0	0	3,679	125	88	37	3,050	629	17.1%	342	9.3%	84	258	3,337
335-D	57	0	1	-1	1,745	52	47	5	1,390	355	20.3%	235	13.5%	52	183	1,510
335MD	379	0	3	-3	13,556	496	391	105	10,365	3,191	23.5%	2,293	16.9%	512	1,781	11,263
336-A	140	0	0	0	5,363	205	256	-51	4,129	1,234	23.0%	831	15.5%	163	668	4,532
336-B	87	0	0	0	2,624	96	102	-6	2,185	439	16.7%	237	9.0%	45	192	2,387
336-C	81	0	1	-1	3,012	111	102	9	2,477	535	17.8%	381	12.6%	74	307	2,631
336-D	88	0	0	0	2,758	95	90	5	2,422	336	12.2%	127	4.6%	18	109	2,631
336MD	396	0	1	-1	13,757	507	550	-43	11,213	2,544	18.5%	1,576	11.5%	300	1,276	12,181
337-A	114	1	0	1	4,594	223	152	71	3,409	1,185	25.8%	791	17.2%	156	635	3,803
337-B	63	0	1	-1	2,293	95	75	20	1,861	432	18.8%	307	13.4%	56	251	1,986
337-C	73	0	0	0	3,211	64	84	-20	2,235	976	30.4%	960	29.9%	272	688	2,251
337-D	67	0	0	0	2,113	98	71	27	1,753	360	17.0%	199	9.4%	43	156	1,914
337-E	55	0	0	0	1,744	56	39	17	1,413	331	19.0%	254	14.6%	77	177	1,490
337MD	372	1	1	0	13,955	536	421	115	10,671	3,284	23.5%	2,511	18.0%	604	1,907	11,444
総計	2,838	2	14	-12	101,539	3,371	3,126	245	77,725	23,814	23.5%	19,550	19.3%	4,607	14,943	81,989

報告日 2021年10月31日

議 事 録

会 議 名	ライオンズクラブ国際協会 2021-2022 年度 第2回全日本スペシャルティクラブ・FWT 会議			
開催日時	2021年10月13日(水) 13:30~16:00			
場 所	Zoom による			
出席者	GAT 日本全域リーダー／元国際理事 L 中村 泰久 GAT エリアリーダー (スペシャルティクラブ・FWT 担当) L 長澤 千鶴子 スペシャルティクラブ・FWT 顧問 L 高橋かず子 (欠席) GAT エリアリーダー (GMT 担当) L 鈴木誓男 8 複合地区 GMT コーディネーター会議世話人 L 真鍋 隆 (OSEAL 調整事務局 GAT 担当 畠山 直子)			
	複合地区 SC・FWT コーディネーター		複合地区 SC・FWT 副コーディネーター	
	330	L 小川 晶子	330	L 鳥居 真弓
	331	L 設楽 幸子	331	L 小野内 雅子
	332	L 吉方 裕子	332	L 渡辺 エリ
	333	L 伊藤 和子【世話人】	333	L 若柳 綾子
	334	L 村木 峰子(欠席)	334	L 弓矢 直美
	335	L 鯖江 敏子	335	L 秋本 久美子
	336	L 有本 みどり【世話人】	336	L 鵜飼 恵美
	337	L 古賀 京子	337	L 窪田 光子
作成者	333 複合地区 SC・FWT 副コーディネーター L 若柳 綾子			
司会進行	L 伊藤 和子【東日本世話人】			
会議概要	1. 開会 2. 挨拶 3. 2021-2022 年度スペシャルティクラブ・FWT の活動方針の確認 4. 複合地区現況報告 5. GMT との連携について 6. グローバル・メンバーシップ・アプローチ(GMA)の研修について 7. 質疑応答、意見交換 8. まとめ 9. 閉会宣言 【添付】各複合地区報告書			

議事録署名人：GAT エリアリーダー

長澤千鶴子

会議内容
(1)開会
・司会進行は L 伊藤和子、WEB 担当は L 若柳綾子、議事録署名人は L 有本みどり、作成人は L 若柳綾子。※注:議事録配信の都合上長澤エリアリーダーの署名に変更。 ◆333 複合地区 SC・FWT コーディネーター L 伊藤和子 ・FWT は今期スペシャルティクラブ・FWT と改称され、今まで以上にクラブエクステンションに力を入れ、地区ガバナーをサポートしていくことが求められている。 ・コロナも少し落ち着いたので、スピードをあげて会員増強のため情報共有をしたい。
(2)ご挨拶
◆GAT 日本全域リーダー／元国際理事 L 中村 泰久 ・今期の 35 地区のガバナーの純増目標はトータルで 3,037 名のところ、今日現在純増数が 655 名で、達成率は 21%である。うち入会 1,912 名、退会 1,400 名程度、入会者数も少ない。これから少しずつ数字が伸びていくことを期待する。 ・FWT には今期、今までの活動＋スペシャルティクラブの担当もお願いする。スペシャルティクラブは入会者獲得のチャンスを増やす。まずは FWT メンバーが最初の成功例となり、自分の所属クラブで必ず純増をして欲しい。 ◆GAT エリアリーダー(SC・FWT 担当) L 長澤 千鶴子 ・緊急事態宣言が解除されたが、油断なく気を付けて活動して欲しい。 ・7 月 9 日の第 1 回全日本会議で、今年度の目標として、クラブ支部活用した健全なクラブ運営、地区に一つのクラブエクステンションを掲げた。これをどうやって達成していくのか、その詰めをお願いしつつ、しっかりと会員増強に結び付けたい。 ◆GAT エリアリーダー(GMT 担当) L 鈴木 誓男 ・日本で 10 万人、世界で 100 万人を切ると組織運営が厳しくなる。日本はインド、アメリカに次いで 3 番目の会員数であり、これが世界に我々の想い、気持ちを反映させる力になっている。 ・今期予測では全国で 15,000 人が退会し、50～60 のクラブが解散しそう。これを純増にしようとするれば、極端に言えば 20,000 人入れる覚悟を持たないといけない。今期は何としても 10 万人を維持したい。 ◆8 複合地区 GMT コーディネーター会議世話人 L 真鍋 隆 ・所属は 336-A 地区で 336 複合地区のコーディネーターを務める。四国地区は伝統重視型が多い。9 月末で会員増強が 8 複合で最下位というのは経験上初めてで、頑張らなければならない。クラブに真剣に考えてもらい、我々はクラブに寄り添って会員増強に努める。
(3)2021-22 スペシャルティクラブ FWT の活動方針の確認 GAT エリアリーダー(スペシャルティクラブ・FWT 担当) L 長澤 千鶴子 ～今、総力を挙げて会員増強へ～
・6 月末時点で 101,292 名。 ・4,290、4,400、4,490、この数字は日本ライオンズ直近 3 年間の会員純減数。3 年間で 1 割を超える仲間を失った。特に昨年度は会員数の減少に連動してクラブの減少も著しく、結成クラブ 8、解散クラブ 66 で、差し引き 58 クラブの純減。活動最小限度であるクラブが弱体化・解散しては会員の居場所がない。クラブの強化が喫緊の課題。 ・クラブ支部制度を活用した健全なクラブ運営、及び地区に一つのクラブエクステンション、この目標は変わらないが、これをどう進めるか具体的に話をしたい。

- ・入会数 20,000 人も大きな目標だが、各地区に 1 つのクラブエクステンション、各地区で 20～25 人純増でもっていききたい。
- ・そのためには ZC の役割が重大である。ZC が自分のゾーンのクラブをしっかりと把握している必要がある。GMT、FWT のコーディネーター、そして ZC が、各クラブの数字を把握していること、ここが一番大事な所だと思う。
- ・退会動向を把握できれば、どれぐらいの入会数で純増になるかがおのずとわかってくる。100 人辞めるとして、20 人純増のためには、120 人を入れなければならない。ではその 120 人をどのように入れればいいのか。ZC、GMT、FWT がクラブの会長としてしっかり話をしながら、入会者の計画を積み上げていく。大変な作業だが、少なくとも現状維持をお願いできる根拠になる。
- ・各地区で 1 つのクラブエクステンション、これを必ず守りながら、一方でクラブ活性化として、一つ一つのクラブを強化する。支部作り、家族会員が非常に大事。これからのライオンズ活動のために、女性と若者をいかに取り込んでいくか。クラブの奉仕活動に参加することから始め、支部制度で育み、親会員になる好循環を作っていく。そのために家族会員の増強が大きなポイントとなる。
- ・最低、地区は 20～25 名純増目標、全国で 700 名の会員純増、前期末 101,292 人→102,000 人維持ができれば上々。
- ・活動例として、MD333 は 11 月のセミナーで、地区ごとの分科会にて会員増強目標を話し合い、最後に地区ガバナーから目標を報告してもらう。確実にクラブ、支部作りの約束、確約をもらう。
- ・私たちが活動する場所はクラブ。地区に密着したクラブで奉仕活動をしていくので、クラブが弱体化すると大変。やはり健全なクラブ活動には 30 名ぐらい必要。大変だが 1 段 1 段上がって会員増強をしていく。700 人＋α 増員を目指して、連携を密にして、地区を挙げてしっかりと会員増強を目指していただきたい。今年 1 年が非常に大事です。

(4)現況報告

◆330 L 小川 L 鳥居

- ・小さなセミナーを開き、コーディネーターが現状把握。既存の全支部に担当をつけて、支部の現況を 1 か月かけて調査し、その中でクラブに発展できる支部がいくつあるか、閉鎖しなければならない状況にあるか、を調査。
- ・新しい支部の形が見えてきているものが 5 つ。
- ・資金の手当てもついているし、地区に 1 つのクラブエクステンションを完成させたい。

◆331 L 設楽 L 小野内

- ・北海道も緊急事態宣言で B、C は公式訪問が終わっていない。
- ・1 地区でクラブエクステンションに動いているところ。

◆332 L 吉方 L 渡辺

- ・6 地区にてガバナーと連携をとるように頑張っているところ。
- ・クラブ全体に元気がなくて苦戦している。キャビネット会議に参加しても反応が薄い。

◆333 L 伊藤 L 若柳

- ・各地区とも今期目標は 1 つのエクステンション。クラブ支部目標は A-3 つ、B-2 つ、C-5 つ、D-2 つ、E-2 つの計 14 支部、すでに 4 支部結成済み。
- ・クラブエクステンションは E 地区で 1 つ結成予定。
- ・11 月 9 日開催の研修会において、ガバナーを囲んだ各地区の分科会を 2 時間かけて行う。今期目標の再確認とその実現策を話し合い、その後ガバナーから決意表明をお願いしている。これにより地区の競争意識の芽生え、自律的活動を期待する。

◆334 L 弓矢

- ・今期まだクラブ支部・スペシャルティクラブの結成はなし。5 地区あるうちの 3 地区は男性がコーディネーターを務め、増員について懸命に働きかけているところ。FWT の委員会のないところに立ち上げる声があがっている。

◆335 L 鯖江 L 秋元

- ・GMA のチームはできているので、それに対して 4 つの委員会を設けて活動している。その委員長が動いて、新クラブの結成チーム、新会員獲得チーム、会員満足改善チーム、リーダー支援チームにわけて頑張っている。
- ・新クラブ結成には ZC 含めて活動を行っている。新会員獲得チームは、第 1 回 ask 1 セミナーが終わっている状態。
- ・11 月に 1 支部結成とあるが、第一四半期に報告は済んでいるので第二四半期は報告に上がらない。

◆336 L 鷺飼

- ・B 地区でエクステンションが始まっているので期待しているところ。
- ・古本募金も学校で集めている。
- ・新しいコーディネーターの足並みがそろわず、初動が遅れている。これから巻き返すべく調整していく。

◆337 L 古賀 L 窪田

- ・今期目標として、地区に 1 クラブ支部、1 つのエクステンションを掲げている。
- ・クラブ支部について、A 地区において 2 クラブ結成されている。他の地区でも 2 つのクラブが結成予定。
- ・8 月に MD の FWT 会議を行った際に、スペシャルティクラブ・プログラム・コーディネーターを全地区に配置したいということで、その発信を行っており、半分程度プログラム・コーディネーターの申請をし、その際に、新クラブ結成オリエンテーションコース等のライオンズ学習センターの学習等の促進も促している。
- ・地区コーディネーターの会員ポータブル活用の推進も行っており、以前よりコーディネーターのモチベーションが上がってきていることを肌で感じている。

(5)GMT との連携について GAT エリアリーダー(GMT 担当) L 鈴木 誓男

- ・会員の増強は永遠のテーマ。大体 4、5 月あたり、来年の会費の請求がくるときに辞めようかなと思う人がほとんど。
- ・一方でクラブ運営の経費は大体決まっていって抑えることはできない。だから会員を極端に減らすことはできない。
- ・各クラブにアンケートを取り現状把握をする。FWT と GMT がしっかりと連携して、まずは ZC に現状を理解してもらう。会員の増強のため、奉仕のため、ライオンズのため、という使命感が伝わればいいが、ZC 全てが理解しているかといえそうではない。ZC の理解度が足りないゾーンではいかにクラブに伝えていくか。R 委員含めて各クラブに訪問を。これがないとなかなか伝わらない。

(6)グローバル・メンバーシップ・アプローチ(GMA)の研修について

GAT 日本全域リーダー／元国際理事 L 中村 泰久

- ・来年度 7 月からは全ての地区で、グローバル・メンバーシップ・アプローチがスタートする。この目的は、新クラブを結成して地区の若返りを図る、新入会員を加えてクラブの活性化を図る、インパクトの高い奉仕をやって会員のやる気を一新させる、そしてすべての地域で会員を増やすというのが目標。

- ・35 準地区でステップ1～4の研修が行われ、第1副地区ガバナー、MDのGATコーディネーターが講師をする。講師は年内に研修を受けてから、準地区の研修を担当する。
- ・講師のための研修は、10月28日のステップ1の研修からスタートし合計で6回、最終日は12月16日。第1副地区ガバナーとMDの各GATのコーディネーターが講師のスキルを身につけられるような内容となっている。
- ・来年の1月から各準地区で研修を開催する。各MDでその世話人を決めた。330は伊賀コーディネーター、331が諏訪コーディネーター、332が竹下コーディネーター、333が小高コーディネーター、334が加藤コーディネーター、335が吉村コーディネーター、336が真鍋コーディネーター、337が乗田コーディネーター、これら世話人が中心となって各地区の研修日程を決めて、GATに報告し、研修を進めてもらう。
- ・FWTのコーディネーターにも世話人と調整しながら、年内の講習を受けてもらう。
- ・GATのリーダーからもGMAの研修の担当を決めた。330から332までは私が担当、333は長澤エリアリーダー、334が鈴木エリアリーダー、335が城阪エリアリーダー、336・337が識名エリアリーダー、それぞれ責任者となって各地区の研修の監督指導をすることになる。

(7)質疑応答

○L 鯖江

中村 L へ。GMA のメンバーに GAT のメンバーを入れるべきか。

(応)L 中村

GMA では、会員純増のチーム、クラブを作るチーム、退会防止をするチーム、PR や奉仕等、いくつかのチームを作るので、その中に各コーディネーターを入れること、第1、第2も入れてほしいと、依頼している。最終的には地区ガバナーの判断になる。

(応)L 鯖江

パイロット地区が2地区あるが、FWTがGMAのメンバーに入っていない。だから、MDの会議の時に、FWTの会員増強もしくは支部作りの話が全く上がってこない。どうしたらいいか。

(応)L 中村

6地区のパイロット地区は、実際に研修を始めたのは今年の3月からで非常に短期間。協会の資料には『GMTのコーディネーターを入れてください』程度にしか書いていない。日本でこれから始まる研修について、日本向けの中身を書いている最中なので、これから研修が始まる中でGMAの編成も各地区で考えてもらう。FWTをわざと抜こうという意図はないと思う。

○L 小川

畠山さんへ。OSEALから問い合わせの一覧表が送られてくる。こちらから問い合わせのあった方に連絡を試みると、「国際協会に問い合わせたのに、なぜ違うところから連絡が来るのか」と言われる。OSEALから「この人にご連絡をしてください」と連絡してもらいたい。スポンサー問題について、議長会でもOSEALでもいいが、飛び込みで入ってきた人を会員にするときのルールを決めてほしい。

(応)畠山

現在、OSEAL調整事務局から複合単位で送付している会員候補者のリストは、本来、国際協会のHPに本人が情報を入力したものを、協会本部の担当者が取りまとめて、GATコーディネーターやしかるべきライオンにリストを送る流れになっている。ただし、日本の場合は、コーディネーターが1年任期ということもあり、いったん入力され

た日本在住者の情報を OSEAL 調整事務局に送ってもらって、複合ごとのリストを作成して転送する流れになっている。 (応)L 中村 確かに OSEAL 調整事務局でも把握ができないのが事実。情報自体あてにならないことや、問い合わせたらすでにメンバーだったという事例もある。ライオンズクラブに入りたいという思いでアクションを起こしてくださった方には、クラブで決めてもらうのがベターでは。日本全体でスポンサーはクラブ会長にしてくださいという推進はもちろんできると思う。 (応)L 小川 対応にクレームが入ったりする。手間がかかる割に会員になる人はほとんどない。トラブルになるので、本部経由で対応するなどルートを変えないといけないと思う。バーチャルライオンズクラブというものがあり、バーチャルで拾ってもらおうと思ったのだが、仕組みを理解できる資料が国際協会の資料に少なく、バーチャルでいかがですかと提案するために、ここをクリックしてくださいというような誘導があれば。もう少し丁寧な拾い方をした情報を回してもらいたい。手間ばかりかかって実にならないばかりか、印象が悪くなってしまう。何か違う形で拾ったほうがいいと思うので検討いただきたい。 ○L 鶴飼 今年もこどもの未来応援基金も応募が終わった。12 月に審査があると。エントリーの告知とか、どういう方法か教えてほしい。古本募金で集まったお金について、中国四国は全然恩恵を受けていない。 (応)L 小川 エントリーが 3,000 ほど届く。その中で審査委員会が内閣府で開かれて、800 ぐらいに絞られる。これから私たちの審査会で絞る。東京から 1,000 出たとして、その中から何件選ぶ、というわけではなく、同じ枠の中でその奉仕活動が子供の活動につながっているかで選んでいるので、地域で分けているわけではない。絶対数が違うということ。 (応)L 鶴飼 エントリーする側の認識が届いてないのではという質問でした。 (応)L 小川 エントリーシートにかなり詳しくかかかないと選ばれないので、書き方だと思う。内閣府の HP から一覧表（結果報告書）が出ているので、そこから確認してほしい。	(8)まとめ L 中村 GAT 日本全域リーダー - 今日の報告を聞いて少し明るい兆しを感じたが、やはり先はまだまだ長いと思う。複合地区コーディネーターが地区のコーディネーターにどう伝えていくか。地区のコーディネーターはセミナーをやるのが仕事ではなく、各クラブに赴いてクラブに寄り添った活動をしなければならない。 - GMA の研修は、かなり時間がかかるので忙しくなると思うが、みんながしっかり活動すれば純増につながると思う。 L 鈴木 GAT エリアリーダー - 会員増は数字で結果がでる。楽しみながら 10 万人のメンバーを保つためには、どんな方法があるかを考えていってほしい。 (9) 閉会
---	---

2022～2023 年度 336 複合地区役員一覧表（案）

ガバナー協議会 (緊急援助資金委員会兼務)	議長		A 地区 役員	B 地区 役員	C 地区 役員	D 地区 役員		
委員会 LCIF [Lions Clubs International Foundation] GMA(JMA) GMT [Global Membership Team] GLT [Global Leadership Team] GST [Global Service Team] スペシャルティクラブ・FWT [Family & Woman Team] 会則および付則・運営マニュアル 編集委員会 IT・M・ライオンズ情報 事務局サポート委員 アラート委員会 YCE・国際関係・レオ 青少年・ライオンズクエスト 環境保全・保健福祉委員会 (献血・献眼・増産費・薬物乱用等)	担当	委員長 MD コーディネーター	副委員長 MD 副コーディネーター	委員 (準地区委員長) (GAT・LCIF は準地区コーディネーター)			D 地区	
				A 地区	B 地区	C 地区		
	議長							
	長期計画委員会							
ガバナー協議会 事務局運営委員会	委員長	委員 (幹事)	委員 (幹事)	委員 (幹事)	第 69 回 MD 年次大会 (正)委員長 (副)委員長		委員長 〇〇 〇〇	
国際理事会	元国際理事 (ガバナー協議会顧問) 渡部 雅文 (B・倉敷西)	元国際理事 (ガバナー協議会顧問) 谷野 徹 (D・下関西)	元国際理事 (ガバナー協議会顧問) 藤井 基博 (C・福山東)	元国際理事 (ガバナー協議会顧問) 名越 勉 (B・倉吉)	全日本・国際レベル役員			
一般社団法人日本ライオンズ 理事会／委員会	〇〇理事 SON 委員長	理 事	監 事	ライオン誌 日本語版委員	会則委員	国際大会委員	国際理事候補者 推薦委員 YCE 委員	
	アラート委員	アラート委員会 西日本統括リーダー	アラート委員会 336 複合地区班長	アラート委員会 336 複合地区副班長	アラート委員会 336 複合地区副班長	アラート委員会 336 複合地区副班長	アラート委員会 336 複合地区副班長	
一般財団法人日本ライオンズ 理事会 理事								



2021~2022 年度 ライオンズクラブ国際協会
第3回8複合地区 GLT コーディネーター会議

議 事 録

日時：2021 年 12 月 2 日（木）14:00～16:00

場所：334-A 地区キャビネット事務局

進行：GLT330MD コーディネーター L. 濱野雅司

【出席者】 GLT-MD コーディネーター

MD330：L. 濱野雅司（世話人）

~~MD331：L. 若林輝彦~~

~~MD332：L. 竹下直義~~

MD333 L. 小高左起子

MD334 L. 加藤史典

MD335 L. 吉村弘吉

MD336 L. 池原 堅

MD337 L. 乗田 泰

1. 開会
2. ご挨拶
3. 議事

（1）各複合地区の現況、予定について

MD330：11/24 公認ガイディングライオン研修実施

2022/3/9-11 次世代リーダーシップセミナー(ELLI)予定

330-A,B では、新会員オリエンテーションを実施しており、330-A 地区ではキャビネット会議毎にゾーンチェアパーソン研修を実施、330-B では、下期に公認ガイディングライオン研修を予定。各地区とも研修内容を標準化するべく講師の育成に取り組む必要がある

MD332：別紙報告書参照

MD333：各地区とも前年度の引継ぎやコミュニケーションがうまくいっていないシカゴでの第一副地区ガバナーエレクトセミナーをはじめ、対面の研修が困難の為、複合地区内の各準地区の横のつながりや運営に影響している。

MD334：各地区のGATの各コーディネーターを元地区ガバナーが勤めていることが多いので地区ガバナーとしての対応が必要

次世代セミナー、公認ガイディングライオンセミナーを予定

2月に長野でELLIを40名で予定

地区ガバナーの選出に、オールローテーションの地区が多く、高年齢化で問題が多いので、何らかの対策が必要

MD335 : 各地区のコーディネーターのコミュニケーションが良い

次世代リーダー育成、ゾーンチェアパーソン研修、Learn の活用、GMA
セミナーを予定、特に Learn の活用に力を入れている

335 複合地区内では、A、B 地区と C,D 地区の間に温度差がある

ゾーンチェアパーソンの再教育と次期ゾーンチェアパーソン研修を検討

MD336 : ライオンズリーダーをはじめメンバーの育成に力をいれていく

各準地区開催の公認ガイディングライオン研修や会員オリエンテーション等の研修会の出席率が悪いことで今回、複合地区で合同開催とした。

副地区ガバナーやゾーンチェアパーソン等のライオンズリーダーの資質の向上が求められる＝IT が使えない＝ローテーションの廃止を検討

336-C 地区では、長期ビジョン委員会を設置し地区の活性化を目指す今後は次世代リーダー育成、退会防止に力を入れる。

MD337 : 2 月にバーチャルで RLLI を開催予定

(2) 第一、第二副地区ガバナー研修の報告

終了済 : MD330、MD331、MD332、MD334、MD336、MD337

12 月 : MD333、MD335

(3) GMA について

目的の「会員増強」を見失わないようにする

会員増強をするのはクラブなので、最終的にはクラブをその気にさせなければ成功にならない。

(4) 会員の維持（会員の満足度）のための方策の確立

GMA（会員の満足度）＝新たに加わった仲間との親睦と興味深い奉仕によって、既存の会員たちのやる気を一新させる

3 年計画で考える＝クラブの活性化＝会員の満足度向上＝会員の維持

○クラブの活性化のため

1. クラブ例会の充実＝「あなたのクラブ、あなたのやり方で」等のプログラムを活用し、クラブを評価し、問題点を把握して改善を計画し実施する
2. 会員オリエンテーションの徹底

○上記のために

1. 各クラブの指導力育成のリーダーを決める（第一副会長等）
2. 指導力育成リーダーがクラブ活性化のためのプログラムを活用してアンケートを取り、活性化に取り組む

○上記のために

1. ブ指導力育成リーダーを GMA 会員満足度チームリーダーと地区 GLT コーディネーターが指導する
2. 地区 GMA 会員満足度チームリーダーと地区 GLT コーディネーターを複合地区 GLT コーディネーターが指導する

(5) GMA（グローバルメンバーシップアプローチ）への複合地区 GAT の協力について
複合地区 GLT コーディネーターとして、各地区の指導力育成のため、GMA 会員満足度チームリーダーを支援する

(6) 全日本次世代リーダーシップセミナーの内容について
2022 年 5 月 17 日～19 日を検討（未定） 各地区 2 名（男女）

(7) 上級ライオンズリーダーシップ研究会（ALLI）について
従来通りの内容で計画する

(8) その他

4. 次回開催日の確認

日時 2022 年 1 月 23 日（日）15:00 ～ 17:00 （ALLI の前日）
場所 名古屋

5. 閉会



2021～2022 年度 ライオンズクラブ国際協会 332 複合地区 GLT コーディネーター現況報告

332 複合地区 GLT コーディネーター
L 竹下 直義

準地区コーディネーター（GLT、GMT、GST、スペシャルティクラブ・FWT、LCIF）の皆さんはガバナー共に殆どが一年任期で変わります。現在のコロナ禍の中、またこれからの研修会等の開催を考え「効果的なウェブ会議・オンラインミーティング」をテーマとして各準地区、正副コーディネーター50名が参加、9月29日にウェブ研修会を開催しました。

講師濱野ライオンよりウェブ活用上の基本的なこと、オンラインミーティングでのブレイクアウトセッションを実際に体験し今後の取り組みに参考となりました。

GMA 研修支援については11月16日 GMA ステップ研修ミーティング（ガバナー、第一第二副地区ガバナー、GAT コーディネーター）を開催しました。講師濱野ライオンよりステップ1～4まで分かり易く説明を頂きました。その後332-A地区ガバナーよりパイロット地区としての現況、経過説明があり複合地区内の情報を共有いたしました。

12月2日、332 複合地区次世代リーダーオンライン研修会を各準地区より40代までのメンバー3名を推薦頂き開催をいたします。次世代リーダー研修として複合地区内で定期的に交流をすることにより、各地区の活性化を図ることを目的としております。今回は試験的な開催とし、参加者から意見を募り継続的な企画となるよう考えております。

第2回 8複合GSTコーディネーター会議議事録

日時:2021年9月29日 10時~12時 ZOOMによるウェブ会議

GAT 日本全域リーダー・元国際理事	L 中村 泰久
GAT エリアリーダー	L 識名 安信
330 複合地区 GST コーディネーター	L 井田 渉
331 複合地区 GST コーディネーター	L 松浦 淳一
332 複合地区 GST コーディネーター	L 岸 秀年
333 複合地区 GST コーディネーター	L 田中 勝司
334 複合地区 GST コーディネーター	L 浜島 清美
335 複合地区 GST コーディネーター	L 江草 長史
336 複合地区 GST コーディネーター	L 澤 辰水
337 複合地区 GST コーディネーター	L 高橋 抒見 (欠席)
オセアル調整事務局 事務局長	マーズ 佐子
オセアル調整事務局 GAT スペシャリスト	畠山 直子

議事録作成者 331 複合地区 GST コーディネーター L 松浦 淳一

1. 開会挨拶 浜島清美 GST コーディネーター会議世話人
2. GAT 日本全域リーダー挨拶と報告 L 中村泰久元国際理事
GAT の進捗状況を取りまとめて報告をしました。
各地区にも配信しましたので共有をしてほしい。
『思いやりは大切なこと』アワードに各複合で1つは提出することと、
その他については全域で取りまとめて、奉仕のインパクトを高めてほしい。
MyLion は日本では奉仕の報告のみであり、奉仕の共有はされていない状況であり、今後 MyLCI での報告を以前のように戻すことができるかはわからない状況にある。明日30日に複合地区 GAT コーディネーター会議を開催します。10月28日から始まる GMA のための研修会議を行うためのものです。35準地区で複合 GAT コーディネーターと第一副地区カバナーが講師になるべくステップ1から4まで6回の研修を行い、来年の1月から各準地区で講師として、7月からの GMA スタートの計画を進めてほしい。コロナ禍での活動をどの様にしていくかも考えて戴きたい。
3. GAT エリアリーダー挨拶 L 識名安信 GST 担当エリアリーダー
30日緊急事態宣言も解除になる予定であり、コロナ禍に対応しながら生活を取り戻し、今まで温めてきた事業を展開して必要なアクティビテ

ィを行っていくのが大切である。時代の流れをくみ取り、熱い想いと希望をもって取り組むことか必要である。GST.GLT.GMT の G 枠をとり心を一つにして実施していくことが会員数の現状維持につながり、しいては会員増強に繋がる。

4. 協議事項

① GST 全日本奉仕事業フォーカスディスカッション(タウンミーティング)実施について

井田コーディネーターから概要の説明(概要書に基づき)

GST としてクラブの奉仕事業の活性化するため、現状のニーズに即した考えるミーティングとし話し合ってもらう場の設定としたい。優秀な事例の紹介では、その事業がどのようなきっかけで実現し、クラブの満足度や受益者の喜びあるいは感謝など具体的に上げて説明して、各クラブに持ち帰り実現できるようにミーティングを目指す。

開催時期と開催方法のついでの話し合いの結果の整理

・開催の時期について

当初は11月中旬ぐらいを予定から、緊急事態宣言解除後1ヶ月おいてからの12月上旬に開催にてすることになりました。

・開催方法について

対面方式や ZOOM での開催の様々な議論の結果、ハイブリットでの開催で決定。

・開催場所について

MD330 にご協力戴き、会場は神奈川県にて決定。

・開催時間

参加クラブのことも考え日中午後からの開催とする。

・登録料について

中村日本全域リーダーから多少の補助があるとのことでしたが、基本的には登録料で賄う。

・その他

中村日本全域リーダーからレオ・支部クラブなど活発に活動しているクラブに参加してほしい。

識名エリアリーダーからタウンミーティングに関して特化した ZOOM での会議を至急セッティングするので今後の検討に入る。

② 「思いやりは大切なこと」アワードについて

331 複合地区 松浦

331-B 地区から2件の申請が上がってきている。釧路ゆうやけ

LC からは大学生の食糧支援、美幌 LC からは自事態と提携した献血事業。A 地区・C 地区からは締め切り前なのでこれからと思います。

「思いやりは大切なこと」アワードは来年以降もつつくのでしょうか。

マーズ事務局長

国際協会理事会の承認事項なので多少の変更はあるかもしれないが続きます。

334 複合地区 浜島 L

締め切り前なので、1 件 FWT の事業の申請があります。

330 複合地区 井田 L

10 件の推薦書が上がってきている。10 月 11 日のガバナー協議会で協議後 1 件の推薦を決めます。

332 複合地区 岸 L

第 2 回の GST web 会議を行いました。10 件の推薦書が上がってきています。マイライオンで報告していない申請もあり、多少減る可能性もあります。11 月 20 日に web 会議にて 1 件に絞り申請する予定です。他は複合に申請します。様式の違いは統一したほうが良いのでしょうか。

マーズ事務局長

様式は違っても差し支えない。GST で共有し紹介できれば大丈夫です。

333 複合地区 田中 L

正式には 1 件、他は 3 から 4 件程度申請がある予定です。

335 複合地区 江草 L

5 件の申請がありますが、2 つの地区からは締め切り前なのでこれから上がってきます。11 月 15 日以降、議長・ガバナー・私を含めて 6 名で選出していきたい。

336 複合地区 澤 L

申請をお願いしている状況です。

中村日本全域リーダー

国際協会に推薦した以外の奉仕事業に関して、GST で共有して素晴らしい事業に対しては GST で感謝状を足す方向性でもいいのではないか、検討してみる価値はあるのではないかと。

識名 GAT リーダー

素晴らしい事業であるがマイライオンで報告していないものは何とか取り上げる方法はないのか。

マーズ事務局長

確認します。

識名 GAT エリアリーダー

マイライオンで報告していない事業で素晴らしい事業を救済方法があるが、考慮していきたい。

マーズ事務局長

申請書はシンプルであります、写真・新聞記事・資料等を添付したほうが良い。

335 複合地区 江草 L

地区にはマイライオンの報告は必須と説明しましたが、どのように判断したほうがいいでしょうか。

識名 GAT エリアリーダー

規則は大切ですが、素晴らしい事業が表に出ないことが残念に思いますので、江草 L の配慮にお任せします。今後はマイライオンでの報告率を上げていくことも大切です。

③ 「奉仕コミュニティを称えよう」について

マーズ事務局長

国際会長メッセージが届いていたと思いますが、奉仕 4 団体でコロナ禍である今、一緒に協力して地域の健康と福祉、食糧支援、環境に取り組む事業等を行う、10月10日から16日までに計画し実施することをロータリークラブから声掛けされましたが、実際期間がないため、一緒にタイミングが合えば実施されるとよいのではないのでしょうか。

中村日本全域リーダー

日程的にはハードですが、クラブ単位でも地区単位でも期間にとらわれることなく今後とも奉仕団体なので、地域の高いインパクトを与えるためにも日本独自で考えることも必要である。

5. 各複合地区コーディネーターより報告

330 複合地区 井田 L

MD330 ではマイライオンの報告率は 35% クラブの多くが緊急事態宣下で活動が行われていない状況にあるため低くなっている。

B 地区で毎年 10 月に統一奉仕デーをしているのでその報告をお願いしている。

331 複合地区 松浦

マイライオンの報告率 A 地区 53% B 地区 34% C 地区 41%

331 複合地区 42%

331-A 地区食糧支援アクティビティノ報告「コロナに負けるな!子供笑顔応援プロジェクト」8月8日 59 家族 22 日 6 3 家族と 2 回実施

35 クラブの支援協力、食糧支援品換算概算額 1,653049 円

332 複合地区 岸 L

マイライオンの報告率は 11%から 86%とばらつきがあり平均 42%になり目標値 84%の半分になっています。331-C 地区ではキャビネットがマイライオンを個人の登録をするために事務局でセットできるようにして 100%目指して活動を始めています。ガバナーの指示で GST コーディネーターや IT 委員長がクラブに代わって報告できるように指示が出たが、クラブが報告することに意義があるので意味がないと指示をしました。

マーズ事務局長

GST コーディネーターが指導して行うならいいのではないかな。

332 複合地区 岸 L

クラブが報告するほうが良いので相応しくないことにしておきます。

333 複合地区 田中 L

緊急事態宣言のため報告できることはありません。思いやりは大切なことアワードは 10 月 15 日までに申請をカバナーからクラブに伝えてありますので、いまのところ申請が 3 から 4 件来ています。

334 複合地区 浜島 L

マイライオンの報告はアクティビティが行っていない状況なので低調である。思いやりは大切なことアワードはガバナーを通じて伝えてあるので締め切りまでには申請があると思う。ある地区ではロータリークラブとライオンズクラブが子ども食堂を一緒に始めたところがあります。枠を超えて協力していければいいと思います。

335 複合地区 江草 L

マイライオンの報告は 55% 地区によってはカバナーの考え方の違いがあつて力が入っている地域、入っていない地域が存在おり今後の課題である。アドボカシーでは 11 月 11 に京都で市民向けの活動があります。奉仕事業では甲南大学とコラボして古メガネのリサイクル活動が本格的に始まり、洗浄、梱包と学生がやりたいとのことで今後どうサポートしていけるかを、11 月 13 日に学生たちと先生とともに web 会議を開き今後の方針を決めていきたい。また大学に問い合わせると大学間の繋がり、マレーシア国立大学を通じてマレーシアの NGO と配布ができるように進んでいます、正式な話ではありません。先日甲南大学の先生・大学生と 3 人で協議でレオクラブ設立の動きがあ

り、今年度中の設立で、継続性があるならレオクラブのほうがスポンサークラブとしてサポートしやすいのではないかと。

中村日本全域リーダー

レオクラブを進めて戴くことは大変にありがたく思います。キャンパスクラブの可能性は如何でしょうか。

335 複合地区 江草 L

この事業を進めていくうえでベストは何か。主力のメンバーは3回生が多く、事業が終えると就職活動になるためレオクラブから始めた。今後キャンパスクラブへの発展していけばよいと考えます。

マーズ事務局長

マレーシア国立大学と繋がったことはとても良いことと思います。マレーシアにはレオクラブに大変熱い方が多くおりますので、情報だけはお伝えしたい。繋がる可能性もあります。

335 複合地区 江草 L

13 日会議をしますので形が見えてきたら、整理して報告します。

336 複合地区 澤 L

10 月 28 日に複合カバナー協議会がありますので、思いやりは大切なことアワードの説明とマイライオンの報告について伝えたいと思います。

6. その他

オセアル調整事務局 畠山

インサイツの改正点と使い方の説明。

マーズ事務局長

LCIF ストーリーとキャンペーンサポートの説明

335 複合地区 江草 L

レオクラブの件で、関西には大阪大谷大学・関西外語大学・関西大学等レオクラブがありますが、どういう大学にレオクラブがあるかという資料等はあるのでしょうか。

マーズ事務局長

ありませんので、正確に調査するほうが早いと思いますので、この機会にキャンパスクラブも含めてオセアル調整事務局で調整します。

7. 識名エリアリーダー閉会の挨拶

実りのある議論大変有難うございます。これから活動が活発化する中でマイライオンの報告向上を信じている。日本の会員の状況は毎年 4,000 名近い純減が続いているのが現状であり、質の高い奉仕を行い、会員増

強に努めることがガバナー・複合地区コーディネーター・地区コーディネーターに求められ、本気で情熱をもって実践していく覚悟と決意が必要である。GST 全日本奉仕事業フォーカスディスカッションもハイブリット開催が決まりましたが、地区での説明は熱い想いを丁寧に説明してわかってもらうことが大切である。相互理解の精神で行っていくことを忘れないように宜しくお願いします。

第3回8複合GSTコーディネーター会議議事録

日 時：2021年10月6日（水） 10：00～12：00

会 場：web

出席者：GAT 日本全域リーダー 元国際理事	L. 中村 泰久
GAT エリアリーダー（GST 担当）	L. 識名 安信
330 複合地区 GST コーディネーター	L. 井田 渉
332 複合地区 GST コーディネーター	L. 岸 秀年
333 複合地区 GST コーディネーター	L. 田中 勝司
334 複合地区 GST コーディネーター	L. 浜島 清美
335 複合地区 GST コーディネーター	L. 江草 長史
336 複合地区 GST コーディネーター	L. 澤 辰水
337 複合地区 GST コーディネーター	L. 高橋 攄見
OSEAL 調整事務局事務局長	マーズ 佐子
OSEAL 調整事務局 GAT スペシャリスト	畠山 直子

1. 開会挨拶 GST コーディネーター会議世話人 浜島 清美

早朝からの出席に感謝。

331 複合 GST コーディネーターの松浦純一氏が欠席、337 複合コーディネーターの高橋攄見氏が遅れて出席と報告。

本日の会議は「フォーカス」に特化した旨を宣言。

2. 出席者紹介

出席者紹介は紙面をもつての紹介

3. 挨拶と報告

GAT 日本全域リーダー挨拶と報告 元国際理事 中村 泰久

先週に引き続き有難うございました。本日は「タウンミーティング」ということで、井田コーディネーターより色々と資料を頂きありがとうございました。識名エリアリーダーを中心に内容をほぼ決定していただきたい。開催に当たってはコーディネーターの皆様に運営に携わっていただく。MD330 及び 330-B 地区もお手伝いはするが主体はコーディネーターの皆様ですので識名エリアリーダー中心に本日検討の上決定してください。

GAT エリアリーダー挨拶 GST 担当エリアリーダー 識名 安信

日本の最南端石垣島より挨拶いたします。今日はこの件に絞って協議いただきます。浜島世話人、井田コーディネーター1週間足らずでこのような資料を作成いただきありがとうございます。コロナも全国的に収まりかけており、日常を取り戻しつつあり、希望が見えてきました。ライオンズも会員減少を確りと受け止め、この危機を乗り越えるために必要な活動を話し合い実践していく必要がある。本日確りと議論いただき決定し、皆様と共に「タウンミーティング」を成功させ、会員増強の足掛かりとしていきたい。よろしくお願いいたします。とご挨拶と強い意志を表明。

4. 協議事項

・全日本 GST フォーラム(案)について

330 複合地区 GST コーディネーター L. 井田 渉が同案の提案者として同案に沿って説明しながら、識名エリアリーダーの仕切りで各コーディネーターから意見を聴取した。

(1) 会場および日程

第 2 回コーディネーター会議で 12 月初旬 330-B 地区内での開催を決定し、井田コーディネーターに会場選定をお願いしていた。

本日は、初めに井田コーディネーターが、東京駅や羽田空港から近く、遠方からでも参加しやすい場所を選定してくれた 2 会場の特徴を説明

① 川崎市産業振興会館 1F ホール

神奈川県川崎市幸区堀河町 66-20

アクセス：JR 川崎駅より徒歩 8 分、京急川崎駅より徒歩 2 分

面積：336 m²（収容人数 440 名）

利用可能日：12 月 1 日(水)

利用料金：会場費 約 35,000 円 備品使用料：約 40,000 円/日

② 日本丸メモリアルパーク訓練センター 会議室

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-1-1

アクセス：JR 桜木町駅より徒歩 5 分

面積：230 m² ※感染対策のため、定員 75 名厳守（関係者含めて）

利用可能日：12 月 2 日(木)

利用料金：会場費 約 27,600 円 備品使用料：約 10,000 円

浜島世話人：

最初に、開催日を決めましょうとの発言あり。

井田コーディネーター：

コーディネーター方々の都合を聞いたところ、

1 日は全員 OK、

2 日は出席不可の方もあった。

識名エリアリーダー：

本日出席のコーディネーター全員が 1 日なら出席可能とのこと、これから協議しますが、対面参加者が 100 名程度となった場合は横浜会場は収容できないので川崎会場を選んだ方が良いと思うとの発言

井田コーディネーター：

これを皆に諮ったところ全員賛成となり、

2021 年 12 月 1 日(水) 川崎市産業振興会館

で開催することと決定した。

(2) タウンミーティングテーマ

井田コーディネーター：

G S Tコーディネーター会議で識名エリアリーダーをはじめとして声を上げられている「感動の奉仕」をコロナで奉仕活動が行き詰っている多くのクラブを後押しできるきっかけとなればとの気持ちを込めて、

『拡げよう感動の奉仕 ～いまライオンズクラブができること～』
をテーマに掲げたとの説明があり。

識名エリアリーダー：

多くのコーディネーターから意見を聴取したが全員から賛意を受け、テーマが原案通り決定。

井田コーディネーター：

続いて「開催趣旨」として

- ・ G A Tの各チーム連携を具体的にイメージし、クラブで展開できる契機とすること
- ・ 他クラブの活動事例から、自クラブで出来ることを考えだす機会とすること
- ・ 多クラブが連携し、より大きなインパクトのある合同アクティビティを実施する契機とすること

を掲げた。

中村日本全域リーダー：

この趣旨をまっとうするには「フォーラムを開催して終了」ではなく、その後の検証とフォローアップが必要との意見。

識名エリアリーダー：

そのようしたい旨宣言。

(3) 参加対象者

- ・ クラブ会長、クラブ奉仕委員長
- ・ 対面参加と Web 参加のハイブリッド方式

<参加人数は>

中村日本全域コーディネーター：

対面参加は100名がソーシャルディスタンス、社会常識からみても良いのではないか。Webは100名でも150名でも良いと考えるとの発言有り。

岸コーディネーター：

対面100名、Webは人数が多くなると対面と同じような参加では無理が生じるので100名が限度。また参加費に関して、対面参加者は別途交通費等もかかることから参加費は対面もWebも同額にすべきの意見。

畠山スペシャリスト：

ハイブリットはハードルが高い。グループワークの時グループをリードするスキルのある会員が必要。

井田コーディネーター：

グループワークの時100名だとグループが17組×6名が適正か？グループに1人ずつ仕切る人を考える必要有り。Web参加のマックスは150名か？

マーズ局長：

ハイブリットは色々難しい面がある。対面で100名もの方が参加するのであれば、Web参加者は国際大会がそうであったように、視聴とチャットでの発言に限定した方がうまくいくと思う。視聴であればWeb参加者の制限はなくなるとの意見。

中村日本全域リーダー：

確かに国際大会のWeb参加者は視聴とチャットでしたが、一方今回はWeb参加者が市長とチャットのみとなると会場とWeb参加者との間に温度差が出来てしまうのではないかと。皆さんの意見をきいて、Web参加者の数を制限することでリスクを軽減できるのではないかと。

識名エリアリーダー：

ハイブリッドでやるのが一番ベターということ？

中村全域リーダー：

ハイブリッドが一番良いのですが、技術的問題があるとすれば、Webは視聴のみにした方が安全だと思います。

江草コーディネーター：

視聴とチャットであれば参加人数は制限しなくてよいのですかととの質問。

マーズ局長：

専門の技術屋ではないのですが、概ねOKと考えます。

井田コーディネーター：

今回の全体の流れとしては視聴とチャットによる方法で進行し、グループディスカッションのみ会場は会場で、WebはWebでそれぞれグループ（6名程度）分けし、グループ内（Webではルームを分けて）で討論していただくことを考えているとの発言有り。

畠山GATスペシャリスト：

当初会場とWebでまったく同じように行う話と思っていましたが、井田コーディネーターの話で会場とWebを分ける（会場とWebの間で討論は無い）のであればスムーズな運営になるかと思う。

識名エリアリーダー：

Web150名でも上手くいきますか？

井田コーディネーター：

皆様の協力で何とかいけると思います。

識名エリアリーダー：

実施方法等詳しく説明して会員の皆様に納得して参加いただくことを前提として、参加者は対面100名・Web150名でよろしいでしょうか？賛成の方は挙手をお願いいたします。

中村日本全域リーダー：

参加者は皆様にお任せしますが、私は数にこだわる必要はないと思うので、対面100名、Web100名程度が予算を立てる面からも良いのかなと思う。

識名エリアリーダー：

本日参加の皆様のプロジェクトを成功させるぞとの決意が大切だと思う。是が非でも対面100名、Web150名の参加を目標に進めたいと思います。

※参加会費は

識名エリアリーダー：

「対面2,000円、Web1,000円」と全日本GSTフォーラム（案）に記載がありますが、先ほど岸コーディネーターよりWebの専門業者が関与するのであれ

ばWebも同質と考え、参加費は同額にすべきとの発言がありました。皆様のご意見をお願いいたします。対面参加費を2,000円とした根拠を井田コーディネーター説明願います。

井田コーディネーター：

対面2,000円×100人+Web1,000円×100人=30万円(会場費+機材費)として算出しました。プロに頼むと総額50万円足らずになるので厳しいかも

浜島世話人：

地区でのWeb会議の会費は2,000円なので2,000円は妥当だと考えます。また会場費+業者費は37万円のほか当日お手伝いいただく方々の弁当代、資料作成費用等があると思いますので。

中村日本全域リーダー

レオの方の参加も促したい。レオは参加費無料で。総数250名集まれば良いですが、集まらないことも考えて、参加費は3,000円ではいかがか？

江草コーディネーター：

私たちの方ではセミナー等は会費を取らず、地区などが負担しているので妥当かどうか分かりませんが、皆様妥当だということであれば、妥当なのでしょう。3,000円でもOKでしょう。

岸コーディネーター：

2,000円が妥当だと考えます。

田中コーディネーター：

2,000円でお願いしたい。

澤コーディネーター：

交通費がかさむので、2,000円が妥当。

中村日本全域リーダー：

250人集まれば良いですが、集まらなかったときに2,000円では予算不足となりかねないのでは？

井田コーディネーター：

総予算としては50万円あればなんとかなると思いますので、250人の参加があれば2,000円で何とかなると思います。参加者が少ない場合は我々は手弁当で、または不足分をコーディネーターでドネーションする覚悟は必要だと思います。

マーズ局長：

予算は余らない方が良い。余ると返さなければならなくなり厄介である。従って少ないかもという予算で集め、実際に足りなかったら使える協会予算を探すとか中村PIDや識名リーダーの予算から捻出した方が良い。

中村日本全域リーダー：

会場費等75,000円はGATのイベント予算から捻出。2,000円の会費で足りなかったら識名エリアリーダーと私の手持ち予算から手助けいたしましょう。

識名エリアリーダー：

それでは会費は2,000円に決定したいと考えますが賛成の方の挙手をお願いいたします。

賛成多数。有難うございました。

井田コーディネーター：

レオは250名の枠外と考えて参加費無料で良いですね。
識名エリアリーダー：
了承です。

(4) 概要

井田コーディネーター：

概ね時間は2時間半ちょっと

① オープニングセレモニー <10分>

・役員紹介および挨拶等

② 奉仕活動を切り口にした GAT とは？ <30分（各5分以内）>

・ GLT

奉仕活動を前進させるクラブメンバー育成

クラブ奉仕活動を後押しする DG や ZC の役割 など

・ GMT

スペシャルティクラブ・支部の事例 など

・ GST

MD・SD レベル奉仕事業の好事例

・ SPC・FWT

インパクトの大きな奉仕活動とは など

井田コーディネーター：

各 G A T から 5 分程度の時間で奉仕を切り口に発表いただきたいと思います。
別案として、日本 G S T として考えると、この時間を山田 P I P の講演に切り替えて
はどうかと考えます

識名エリアリーダー：

そのほうが良いと思います。山田 P I P の都合を聞いて OK となれば差し替えたいと
思います。

③ クラブアクティビティ事例報告 <35分>

・ クラブインタビュー 4 クラブ程度か？

※インタビューの中で、以下のような参加者アンケートを取り、参加者を飽きさ
せず、尚且つ自分事として聞いてもらえる工夫をしたいと思います。

(i) 積極的に協力するメンバーはいますか？

(ii) 抵抗勢力というべきメンバーはいますか？

(iii) アクティビティ資金はどうしますか？

(iv) パートナー団体・協力クラブの発掘は可能ですか？

井田コーディネーター：

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード候補の中から4点ほど皆様と選んで、当日
対面か W e b で参加いただき、私の質問に答える形式で実施。

あらかじめ写真や資料を作っておき参加者に配布したい。参加いただいた皆様が、
事前配布することで時間を節約し、「どうやって奉仕活動を計画するか」をクラブに
持ち帰っていただきたいからです。

対面で参加するクラブにはこの場で感謝状などの独自のアワードを配布する。

④ グループディスカッション <30 分>

テーマ「あなたのクラブで新たなアクティビティを実践しよう」

- (ア) 奉仕ニーズをどのように発掘する？
- (イ) クラブで承認を得るために必要なことは？
- (ウ) メンバーのやる気を促進するためには？
- (エ) ライオンズクラブ内外に当該事業の協力者を増やすためには？

- ・ 6 名／1 グループ（対面・web 各 17 グループ）
- ・ 参加者には会場 or 後日、「実行宣言」（別紙添付）を提出していただく
- ・ 提出された「実行宣言」は各地区ガバナーへ配信してはいかがでしょうか？
- ・ 各グループで作成した発表資料は回収後、全ての地区ガバナーへ配信
- ・ web 参加グループは文書でまとめて、メールにて送付を依頼するか？

井田コーディネーター：

「いい話聞いてよかったね」で終わってしまては意味がない。クラブに持ち帰ってもらわなければ失敗となる。そこで参加者全員に実行宣言を提出していただき、集めたものを地区ガバナーに配信する。

書くことに時間を割くと議論する時間が無くなるので選択方式にしました。裏の狙いとしては奉仕活動をテーマに書いてほしい。

これをするので地区ガバナーにこのような支援をしてほしいと要望する。地区ガバナーに会員の生の声を知ってもらうチャンスとしたい。

⑤ 発表 <20 分>

- ・ 会場および web より 4～5 グループ程度か？

⑥ 講評 <5 分>

井田コーディネーター：

発表の方法で対面と Web で温度差が出ない方法を考える。

識名エリアリーダー：

対面と Web で温度差が出ないことが一体感をもたらすと考えるので、その配慮が必要だと考えます。

概要にカンシテ意見があれば賜りたいと思いますが、皆様いかがでしょうか？

岸コーディネーター：

発表グループ以外の議論の内容も素晴らしいものがあると思われるので各チームのリーダーよりまとめを提出いただき、後ほど冊子にしてはいかがか？

いい提案だと思いますが。

井田コーディネーター：

良いと思います。

識名エリアリーダー：

それではそのようにしましょう。そのほかございますか？

江草コーディネーター

クラブアクティビティ事例報告がインタビュー方式とはどういったものか。パネ

ルディスカッションとどう違うのか

井田コーディネーター：

発表チームが対面ばかりだとパネルディスカッションでも良いのですが、Webと対面が混在するとハイブリッド方式となりうまくいかない恐れがあります。そこで1対1で行い、聞いている方がクラブに有益な情報を持って帰れるよう、私から質問し、それに答えていただく方式です。

中村日本全域リーダー：

「思いやりは大切なこと」奉仕アワードにはレオクラブやクラブ支部からは応募が無いことも考えられます。でもレオや支部の中には優秀な奉仕活動をしているところもあると思われます。そういったところを入れ込むのかどうか？

井田コーディネーター：

応募されていないくとも、優秀な奉仕をしているクラブはたくさんあると思います。レオや支部に関しては、皆さんのネットワークの中で情報を集めてください。そうする4つでは少ないかな？

識名エリアリーダー：

そうですね。進めながら内容を詰めていきましょう。浜島世話人何かありますか？

浜島世話人：

「奉仕活動を切り口にしたGATとは？」ですが、山田PIPの講演に変われば問題ありませんが、GATからの「スペシャルティクラブ・支部の事例」はSPC・FWTが力を入れており、GMTの発表としては配慮が必要と思う・・・。

識名エリアリーダー：

まだ、山田PIPに聞いておりませんので、何とも言えませんが、講演に切り替えたいと思います。ダメな場合はGATからの発表となりますが内容には配慮が必要だと思います。

中村日本全域リーダー：

ライオン誌にも連絡を取り、取材いただき、特集を組んでいただく手はずを取ってください。

(5) 用意する物品

(1) 映像・通信機器

会場で借りる備品は

- ・スクリーン
- ・プロジェクター

程度と思われる。ハイブリッドでの会議を確実に実行するためには、相応の技術を持ったメンバーに、報酬を支払った上で依頼する必要があると思われます。

(2) 会場物品

- | | |
|-------------|------------|
| ・お茶（会場に確認） | ・模造紙 |
| ・サインペン | ・受付名簿 |
| ・役員用席札（前垂れ） | ・座席札（出席者用） |
| ・「実行宣言」回収箱 | など |

印刷物などの準備は330-B地区の協力をいただくよう、お願いしてみます。

(6) 事前準備

i 参加案内の配信 <10 月中旬>
全クラブへ配信

ii 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード推薦事業の抽出 <10 月下旬>
8 複合地区から寄せられた推薦事業の中から、インタビューする案件を抽出したいと思います。

iii インタビュークラブへの事前確認 <11 月上旬>
既述の通り、ミーティング当日に伺う内容を事前に文書等で聞き取りをしておきたいと思います。

iv 参加者へ向けた事前資料の配信 <開催 3 日前まで>
・ 次第
・ 実行宣言
・ 各種発表の事前資料

井田コーディネーター：

今後の打ち合わせにあたり皆様と情報交換のために連絡を取り合わなければならぬのですが、手段は「Maile」または「グループ Line」の何れが良いでしょうか？

識名エリアリーダー：

まず、クラブへの開催通知の発信時期ですがコロナの情勢等を考えますと 10 月 18 日の週から月末と考えます。中村全域リーダーいかがでしょうか。

中村日本全域リーダー：

地区への配信、会費の徴収等考慮すると、11 月中旬締め切りとなりますので、18 日の週がぎりぎりだと考えます。

識名エリアリーダー：

有難うございます。それでは 18 日の州といたします。

今後の打ち合わせに関してですが、手段はいかがしますか？田中コーディネーター、Line はお使いですか？

田中コーディネーター：

あまり得意ではないので Maile のほうが良いです。

岸コーディネーター：

MD332 G S T ではグループ Line を使っています。添付資料があるときは Maile で。どちらでも OK です。

澤コーディネーター：

Line で結構です。

江草コーディネーター：

どちらでも OK です。

浜島コーディネーター：

どちらでも OK です。

識名エリアリーダー：

基本はMaileで。井田コーディネーターよろしく願いいたします。

グループLineも作ることはよいと思います。

大体これで予定していたものは終了です。今日の会議について皆様よりご意見を頂戴いたします。まずMd332の岸コーディネーターから。

岸コーディネーター：

他の奉仕団体との共同奉仕活動を模索していきたい。

中村日本全域リーダー：

国際協会でも他の奉仕団体と一緒に奉仕しようと言ってますし、今回の議題に合うかどうかは別としてそのような発信は必要だと思ってます。

田中コーディネーター：

2時間半が長すぎないか若干疑問です。

識名エリアリーダー：

その辺も今後検討していきます。

浜島世話人：

募集にあたり、参加の上限は記載してあるが、参加の最低数はお願いしなくてよいのか？

識名エリアリーダー：

その辺りの詳細も今後詰めさせていただきます。

江草コーディネーター：

対面で参加いただくクラブ、Webで参加いただくクラブをどのように選ぶか？・18日の週に複合で行う「思いやりは大切なこと」奉仕アワード選考会に相談するつもり。

澤コーディネーター：

28日にガバナー協議会が開催されますが、各ガバナーに早く趣旨をご理解賜り、4地区の全てから対面で3～4名の参加者を得たい。

識名エリアリーダー：

本日の総括を含めて井田コーディネーターよりお願いします。

井田コーディネーター：

これからやるべきことがたくさんあるので緊張感を持ってやっていきたいと思います。

今回参加いただく皆様に5・6月頃に「どこまで出来ましたか」というような検証報告会ができたと思います。今回のフォーラムが成功しないとつまらないと「二度と出るか」と言われてしまいますので、みなさまの力を結集して成功裏に開催できますよう私自身も努力いたしますので、ご協力お願いいたします。

4. 閉会挨拶

GST 担当エリアリーダー 識名 安信

識名エリアリーダー：

今季初めに中村全域リーダーより今すべての役職が全員で会員増強に取り組むん

だと支持されました。このセミナーを何が何でも成功させて数字につなげていかねばならない。そのために皆様の決意と覚悟が必要なので、心ひとつにして取り組んでまいりたい。何があってもこのフォーラムは成功させるという熱い思いが必要。

それでは中村日本全域リーダー、最後の言葉をお願いします。

中村日本全域リーダー：

有難うございました。

細かなことはこれから詰める必要がありますが、皆様のご理解がいただければ、識名エリアリーダー・浜島世話人・井田コーディネーターにお任せする方法もありますが、皆様で詰めてください。

今回のタウンミーティングは発表だけが盛り上がって、その後の実行が無ければ意味がないものになってしまいます。対面とWebの温度差が生じないようにし、ミーティングを成功させ、結果として各クラブがインパクトの高い奉仕活動を行うことで会員の増強を図って成功です。GSTコーディネーター皆様の活躍を期待しております。

識名エリアリーダー：

これから、進捗状況は井田コーディネーターからメールで配信してまいります。有難うございました。



2021 年 12 月 22 日

各複合地区ガバナー協議会議長様

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 仁科 良三
国際理事候補者推薦委員会
委員長 下間 俊悦

重要 2022-24 国際理事立候補者選出に関する緊急のお知らせ

急啓 一昨日第 1 回国際理事候補者推薦委員会が開催され、イレギュラーな日本への 1 名の空席についての経緯説明を受けた上で、2022 年 6 月モントリオール国際大会に向けた国際理事候補者の選出方法について、様々な角度から協議を重ねました。

その結果当委員会は全員一致で、下記の選出手順について合意致しましたことをお知らせいたします。貴複合地区内において立候補を検討されている会員に対して、もれなく周知いただくようお願い申し上げます。

なお、応募書類は書留またはレターパックプラスを利用の上、一般社団法人日本ライオンズ理事長宛にご提出いただきますようお願いいたします。 敬具

記

— スケジュール —

12/21(火) 第 1 回国際理事推薦委員会開催 (東京・フクラシア八重洲会議室)

12/22(水) 国際理事立候補者選出に関する緊急のご案内 (本文書)

12/25(土) 応募書類の受付開始 (一般社団法人日本ライオンズ理事長宛)

2022 年 (令和 4 年)

1/15 (土) 応募書類の締切 (消印有効)

応募者が複数の場合には、2022 年 2 月 21 日に開催の OEC 面接における日本の候補者の一本化を目指して、一般社団法人日本ライオンズ執行理事会において調整いたします。

1/18(火) 資格審査
審査番号の交付



1/22(土) 面接審査

1. 英語審査（話す、聞く、読む、書く）
2. ライオンズを語る

2/10(木) までに被推薦者 1 名を決定

2/21(月) オセアル執行委員会 (OEC) において面接（韓国・済州島）

☆提出物☆

国際理事候補者として推薦を希望する方は、次の書類をご準備ください。

— 必ずご提出いただく書類 —

A. 国際理事候補者として、次の各内容を含めた**所信表明**を 2000 字以内の文書にまとめる。（書式自由）

1. 何を目指し 何をするか
2. 目標の仮説を立てる
3. 目標達成迄のスケジュール
4. ビジョンを語り共鳴しフォロワーを増し We にして成果を出す施策

B. 履歴書（含むライオン歴）

C. 2021～2022 年度における各役職者の推薦書（書式自由）

1. クラブ会長 推薦
2. 地区ガバナー エンドース
3. MD 議長 エンドース

A, B, C 共に提出物のクオリティも国際理事候補者としての資質判断の一部であることを十分ご考慮の上作成してください。

以上ご不明な点がございましたなら、一般社団法人日本ライオンズ理事長宛お問い合わせください。日本ライオンズ気付 jlo@jade.plala.or.jp

以上

国際理事候補者推薦に関する2022年7月1日以降の改正について

2021年12月16日
ライオンズクラブ国際協会
OSEAL 調整事務局

2021年第103回国際大会で、以下の国際会則付則改正することが代議員投票による賛成多数により決定いたしました。

国際理事候補者推薦証明書が国際本部に届いていなければならない期限を、国際大会の開会日の60日前までに変更することを可決。これにより、
2022年7月1日を発効日として、国際付則第2条第4項(a)を、その2文目にある「30日」との語句を削除して「60日」との語句に差し替えることにより改正する。
2022年7月1日を発効日として、国際付則第2条第5項(a)を、「30日」との語句を削除して「60日」との語句に差し替えることにより改正する。

現在の2021年6月29日改正版のライオンズクラブ国際協会会則及び付則は、すでにこの改正が反映されたものになっております。この改正は今後の地区および複合地区における国際理事候補者の資格証明について影響を及ぼすものですので、改めまして改正に伴う変更内容をご確認いただくため、以下内容を整理いたしますのでご確認ください。

1. 現行、2022年モントリオール国際大会での選出のため立候補する国際理事候補者は、所属複合地区で推薦の決定を受け、その所属複合地区役員（協議会議長および幹事）がその推薦証明をモントリオール国際大会開催日の30日前までに国際本部法律部に提出しなければなりません。この提出は、まずはEメールまたはファックスで行っても良いが、その3日以内に原本を法律部に提出しなければなりません。
2. 1の複合地区での推薦を得る前に、まずは所属準地区での推薦を受けていなければなりません。この日程については具体的な期日の規定はありませんが、標準版複合地区付則では、複合地区の推薦を得ようと思う候補者は、その30日前までに指名委員会に立候補の届け出を行うこととしています。各複合地区の会則付則でこの手続きについて規定があればそれに従う必要があり、もし明確な手続きの規定がない場合には、標準版複合地区会則付則の手續に従う必要があります。
3. 従って、モントリオール国際大会で選出される国際理事候補者は、その開催日6月24日の30日前である5月25日までに整った推薦証明（必要な署名や記入がすべてそろっているもの）を国際本部に提出する必要がある、その前に複合地区年次大会、さらに所属準地区の年次大会で推薦を得ている必要があります。

4. 2022 年 7 月 1 日に改正が有効となることから、次の 2023 年ボストン国際大会で選出される国際理事候補者は、その開催日 7 月 7 日の 60 日前である 5 月 8 日までに整った推薦証明を国際本部に提出する必要があります。
5. 以後毎年、国際大会の開催日の 60 日前までに同様の手続が必要となります。
6. 推薦された国際理事候補者の資格は、有資格となってから 3 回の国際大会で有効です。従って、仮に同じ年に開催される国際大会には推薦証明が間に合わなかった場合には、その国際大会は「有資格の国際大会」とはみなされませんので、その翌年の国際大会から数えて 3 回（3 年）推薦は有効です。
7. 準地区、複合地区は、一度決議した推薦を有効期間内に撤回することはできません。また、有効な推薦は常に 1 名の国際役員（この場合、国際理事及び第 3 副会長を指す）のみで、他の推薦は無効になります。従って、一度ある候補者を推薦すると決定した場合、別の候補者を推薦するためには有効期限が過ぎた場合、または候補者自身が辞退その他立候補を無効とする事態になった場合のみです。
8. 国際大会は 6 月最終週または 7 月第一週に開催されるのが通常です。複合地区年次大会の開催が 60 日より前に行われない場合、国際理事候補者の推薦は 1 年前の年次大会で決議される必要があります。

以上、ご説明いたします。

現在の国際付則第 2 条「国際理事会選挙」の規定条文を文末に掲載いたしました。改正があった個所は第 4 項で、その個所は水色でハイライトしております。また、あわせてご確認ください個所を黄色でハイライトしております。また、あわせて今年度の国際会則及び付則と、標準版複合地区会則付則を添付いたしましたのでご参照ください。

本件についてさらにご質問がありましたらお知らせください。

ライオンズクラブ国際協会
OSEAL 調整事務局
事務局長 マーズ佐子

国際付則第 2 条「国際理事会選挙」

第 1 項。国際大会における選挙。協会の会長、第一副会長、第二副会長、第三副会長、並びに全理事は、年次国際大会において無記名投票で選出される。国際大会が開かれる地区（単一、準、複合）内のクラブ会員は、会長、第一副会長、及び第二副会長の役職を除き、役員職に選ばれることはできない。

第 2 項。第三副会長立候補の資格。

(a) 国際第三副会長候補者は、

(1) グッドスタンディングのクラブのグッドスタンディングの正会員であり、

(2) 選挙又は任命により国際理事としての任期を満了したか満了を控えている者で、

(3) 所属地区(単一、準、複合)の大会で推薦を得ていること。但し、単一地区又は準地区の大会が候補者を推薦することができるのは、かかる推薦を行う時に、単一地区又は準地区が国際付則第8条第2項の規定する地区の最低条件を満たしている場合に限る。

(4) 本付則又は会則の規定通りに、所属地区(単一、準、複合)の推薦証明を得た者でなければならない。この推薦証明は、同候補者が第三副会長に選出された場合には、本協会の更に上位の役職に就く場合の推薦証明ともみなされる。

(b) 本付則又は会則の規定に従って補充される役職に空席が生じた場合を除き、第三副会長を務めたクラブ会員のみを第二副会長に、第二副会長を務めたクラブ会員のみを第一副会長に、第二及び第一副会長を務めたクラブ会員のみを国際会長に選出することができる。本付則又は会則の規定に従って補充される会長又は副会長職に空席が生じた場合には、現在国際理事を務めているか又は務めたことのあるクラブ会員を、その空席補充のために任命することができる。

第3項。国際理事立候補の資格。国際理事の候補者は、

(a) グッドスタンディングのライオンズクラブのグッドスタンディングの正会員であり、

(b) (1) 本協会の正地区の地区ガバナーを全期又は過半の期間務めたか、務め終えようとしている者であるか、又は(2) 任期中又はその後にグッドスタンディングのクラブ数が20に達したか又は正地区に昇格した暫定地区、あるいは(2) 10年間以上暫定地区である暫定地区において、地区ガバナー又は暫定地区ガバナーを全期又は過半の期間務めた者で、

(c) 所属地区(単一、準、複合)大会で推薦を得ていること。但し、単一地区又は準地区の大会が候補者を推薦することができるのは、かかる推薦を行う時に、単一地区又は準地区が国際付則第8条第2項の規定する地区の最低条件を満たしている場合に限る。

(d) 本付則又は会則の規定通りに、所属地区(単一、準、複合)の推薦証明を得た者でなければならない。

第4項。候補者推薦及び推薦証明。

(a) 空席が生じて本付則又は会則の規定の下に役職が補充される場合(この場合の立候補には推薦も推薦証明も必要としない)を除き、それぞれ該当する単一地区キャビネットあるいは準地区キャビネット及び複合地区協議会の議長及び幹事は、国際本部から提供される用紙を使って、地区ガバナー以外のすべての国際役員候補者の推薦を証明しなければならない。この推薦証明書は、国際理事候補者の場合には、推薦された候補者に対して投票が行われる国際大会開催日の~~30~~ 60日*前までに、第三副会長候補者の場合には90日前までに、国際本部に到着していなければならない。ファックス又は電子メールで推薦証明を通知することができるが、ファックス又は電子メール送信後3日以内に推薦証明書を送付して、証明を確認しなければ

ばならない。そのような推薦証明書が提出され国際本部で受領されない限り、推薦は有効にならない。どの推薦も、本付則又は会則の下にその会員が他の条件でも選出される資格を持つ、その推薦に続く3回の国際大会のためだけに有効である。推薦が有効である期間、(i) 推薦撤回はできないし、(ii) 他の推薦は無効であり、(iii) 死亡、資格喪失、立候補取消しが起こった場合には推薦決議は無効になる。推薦の有効期間中には、これ以上の推薦証明は必要ではない。すべての推薦は、1回目か2回目を問わず、国際役員立候補の意志を公表する時期及び方法が単一地区又は複合地区の会則及び付則に定められていれば、それに従っていなければならない。複合地区大会で推薦を求める候補者はいかなる者も、まず候補者が所属する準地区の推薦を確保しなければならない。

*推薦証明書の提出期間を30日から60日に変更する規定は2022年7月1日に発効する。

(b) 推薦証明書には一つの役職を明記しなければならない。いかなる候補者も、その推薦証明書が指定する役職以外の役職に立候補することはできない。いかなる地区(単一、準、及び複合)においても、国際理事会の複数の役職に対する推薦が同時に存在することがあってはならない。

(c) 国際理事候補者の推薦は、候補者が他の条件において選出される資格を保持している限り、推薦に続く大会3回の間有効である。その最初の推薦有効期間中に選出されなかった候補者は、その後3年の期間を空けなければ再度推薦を求めることはできない。国際第三副会長候補者の推薦は、候補者が他の条件において選出される資格を保持している限り、推薦に続く大会3回の間有効であり、連続して2度の推薦が認められる。この有効期間中に選出されなかった候補者は、その後3年の期間を空けなければ再度推薦を求めることはできない。

法務部
ライオンズクラブ国際協会
300 West 22nd Street
Oak Brook, IL 60523-8842 USA

次の通り証明いたします。

候補者氏名（ふりがな） _____

候補者住所（ふりがな） _____

候補者署名 _____

電話/Eメールアドレス _____

候補者の会員番号: _____

準地区証明	複合地区証明
上記の者は、 _____ 年 _____ 月 _____ 日に _____ で開催された _____ 地区の準地区大会において、 ____ 国際理事 ____ 第三副会長 の候補者として代議員の推薦を受け、20____ 年の 国際大会での選挙に立候補します。 以前推薦を受けたことがある場合はその年度を記 入してください。 _____ 署名年月日 _____ 地区ガバナー署名 _____ 氏名（楷書） _____ キャビネット幹事署名 _____ 氏名（楷書） _____	上記の者は、 _____ 年 _____ 月 _____ 日に _____ で開催された _____ 複合地区の複合地区大会において、 ____ 国際理事 ____ 第三副会長 の候補者として代議員の推薦を受け、20____ 年の 国際大会での選挙に立候補します。 以前推薦を受けたことがある場合はその年度を記 入してください。 _____ 署名年月日 _____ 協議会議長署名 _____ 氏名（楷書） _____ 協議会幹事署名 _____ 氏名（楷書） _____

準地区証明は現職の地区ガバナーとキャビネット幹事の両者、複合地区証明は現職の協議会議長と協議会幹事の両者が署名をしなければなりません。また、署名時に必ず日付を書き入れる必要があります。



2021～2022 年度

第 1 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会 議事録

日 時：2021 年 11 月 15 日（月）14:00～16:00

場 所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL 086-234-0695

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠
336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー） 336 複合地区会則委員会担当ガバナー	蔵本 守雄	○
336 複合地区会則委員会委員長	安田 克樹	○
336 複合地区会則委員会副委員長（D 地区）	藤本 幸嗣	○
336 複合地区会則委員会委員（A 地区）	田中 貞男	○
336 複合地区会則委員会委員（B 地区）	金礪 毅	○
336 複合地区会則委員会委員（C 地区）	池原 堅	○

司会進行：336 複合地区会則委員会委員長 安田 克樹

開会挨拶

336 複合地区会則委員会委員長	安田 克樹
------------------	-------

一般社団法人日本ライオンズは設立から 5 年目であるが、経費削減や人材確保の上でもまだまだ組織として構築出来ていない部分がある。日本はメンバー数が多い為、複合地区が 8 つに分かれているが、世界的には 1 国あたり 1 複合地区が主流である。8 複合地区連絡会議は決定権のない組織であった為、国際協会に依頼をして一般社団法人日本ライオンズを設立した。これは国際協会で認められている組織である。

日本のライオンズは国民性も相まって独特に発展してきた。アメリカでは年会費が 70～80 ドル程でクラブや準地区、複合地区では全ての活動が能動的に運営されている。例えば、クラブ事務局は会長の自宅、業務は必要に応じて家族が手伝う、例会日と場所は決まっているので案内等は必要なし、国際的にみて LIONS はこのようなかたちである。

[ライオンズ必携第 60 版発行について]

第 59 版から修正が必要な部分のみが編集され、メールにて複合地区経由で準地区、クラブへ送られることになると思うが詳細は未定である。10/28 の第 2 回ガバナー協議会の際に、必携第 60 版と役員必携を改定して発行すると報告を行ったが、その後状況が一転した。発行については最終的に理事会を経て社員総会で決定される。

[必携第 59 版 P142 ガバナー協議会成立定足数について]

- ・議決の定足数が 3 分の 2 となっている。
 - ・議長の解任に関しては 3 分の 2 の賛成が必要となる。
 - ・一般的な承認決議については 3 分の 2 となっている⇒2 分の 1 が適切
- ※地区大会で承認をとる必要がある。

ボランティアの会であるので規則はシンプルであるべき、必携の乱用はやめるべきであるが、憲法にあたる国際理事方針書だけは守る必要がある。今期会則委員会はこのような考えを基本としてすすめたい。

担当ガバナー挨拶

336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）

蔵本 守雄

日本ライオンズは、日本ライオンズ大学校、寺子屋構想、アラート委員会等色々な事業をやり過ぎではないかと感じる。また、委員会に関しても 8 つも必要ないのではと思う。会員増強や奉仕活動については準地区で目標を立てて行っているが、押し付け的な上意下達が著しい。各活動は複合地区主体で行うべきである。

運営マニュアルに関しては、経費削減の為に毎回冊子を作るのではなく、ファイル方式にして更新された部分のみを差替える方式にしてはどうかと思う。また、クラブ会員の方々から改定が必要ではないかと指摘があった部分を我々が取り上げて検討していくような進め方がよいと思う。

安田委員長より下記補足説明があった。

委員会のあり方について

- ・一般社団法人日本ライオンズ⇒一般社団法人法に基づいた設立と運営（一般社団法人として権限と責任を有する）
- ・ライオンズクラブ⇒任意の奉仕団体

一般社団法人日本ライオンズの委員会とは？

⇒理事長からの諮問事項に答申をする会であり、それ以上はやるべきではない。

特に会則委員会においては、依頼されていない件について議論は行わない。

改定が必要なのではと思われる内容については？

⇒地区ガバナー（社員）が意見を社員総会の場や日本ライオンズへ直接提案出来る。

議長（理事）と共に提案することも出来る。

理事会がその内容を取り上げれば、会則委員会で諮られる。会則委員の議論を経て答申が提出される。

※ガバナー協議会での決定事項を理事長へ文書で伝えればよい

上記の流れを通常の委員会であると考えてるが、

ライオンズ必携第 59 版 P158 の内容も考慮することが必要。

6. 地区会則委員長は地区ガバナーの指揮のもとに、会員に対して諸会則、諸規則の周知を図り、また、会則に関する諮問事項に答えるとともに、必要な場合には意見の具申を行う。

※地区会則＝複合地区会則

田中委員より、下記話があった。

一般社団法人日本ライオンズの事業の目的に関して、本来ライオン誌日本語版発行業務だけを行えばよいのではと感じる。ライオンズ必携第 59 版 P146 第 9 条参照

⇒安田委員長より定款を読んでもいただきたいとの回答があった。

毎年必携冊子が発行されるが、経費削減や日本ライオンズの事務作業軽減の為に条文の変更箇所のみを編集し、単一クラブには差し替えファイリング形式で案内をするべきである。

⇒安田委員長より下記話があった。

必携冊子は販売されており、日本ライオンズに若干の売上が立つ。ホームページで閲覧いただくという方法もとれるが冊子を希望する方がいる。

藤本副委員長より、ペーパーレス化がなかなか受け入れられないとの話があった。

池原委員より、以前ライオンズ必携冊子の廃止やデジタル化について聞いたとの話があった。

⇒安田委員長より、単一クラブより冊子希望の声があり現在に至るとの話があった。

田中委員より、日本ライオンズの事務作業軽減の為に、デジタル化するべきであるとあらため

て話があった。

⇒安田委員長より、下記話があった。

一般のクラブ会員皆様との伝達パイプが詰まっている状況である。本来、ガバナーがクラブ会員の疑問点をくみ上げるべきであり、ガバナーや議長を通して日本ライオンズへ意見を伝えていただきたい。

出席者紹介

※割愛

議 題 1. 継続審議事項について

金礪委員より、各事項について下記話があった。

前期は結論がでないままとなり、かつ、今期もこれから実行するとなると時間的にタイトである。来年度次期議長にはぜひこの方向性であることを再度来年度委員会で諮問事項としていただきたい旨を藤本副委員長へ伝え今回の委員会に至った。

MD336 組織図とアラート委員会組織図、MD330 組織図に基づいて説明があった。

《継続審議事項》

1 各委員会の予算化を行い、委員会活動の活発化を図る。予算案は次期複合地区委員会委員長提案し次期ガバナー協議会議長が当該複合地区年次大会において承認を得るものとする。

安田委員長より、経費削減を努力することは当然の事であり、“運営費を予算化する”ことについては疑問を感じる、規定は作らず努力目標とするべきではないかとの話があった。

田中委員より、例えば今回の会議にかかる経費については会議費の中に内訳として入れるとよいのではないかとの話があった。

藤本副委員長より下記話があった。

毎年年間約 200 万円の赤字が出ていたところを、ガバナー協議会出席対象者を第 2 回、3 回で減らしたり、各委員会についても 4 回中 2 回をウェブ会議に切り替える等過去経費の削減には努めた。またコロナ禍活動自粛も相まって予算が余っている。

池原委員より、下記話があった。

準地区、複合地区ともに何も活動していない委員会があるので、委員会別に予算化をした方が年間の中でどの委員会をいつ何回どういう形式で行ったか分かりやすいのではないかと。

金礪委員より、年間の委員会の予定を立てるべき、担当ガバナーはガバナーになったばかりでキャビネットの事で手一杯であるので委員長を中心に計画をしていただきたいとの話があった。

安田委員長より下記話があった。

YCE は特殊であるが、そもそも委員会は、物事を実行していくものではなく何か問題が生じた折に開催し議論をする場であり、委員会が活発でないという状況はむしろスムーズに進んでいる証拠でないかと考える。

田中委員より下記話があった。

クラブの場合はまず委員会で内容をもんで、理事会で諮り、例会で通達する流れであるので委員会の内容は濃い。複合地区会則委員会で議論された内容をガバナー協議会へ具申すれば問題ないと思う。

安田委員長より、予算提示をし申請、承認されると使い切らない場合は活動していないようにみられるという弊害も生じるとの話があった。

現行通り、予算化する必要はなく「会議費」として処理を行う。

2 複合地区各委員会の委員選任規約

複合地区各委員会の活性化を目的とし、ガバナー経験者だけでなく委員会委員に広く門戸を開き各準地区から有能な人材を登用することができる。

現在、長く同じ顔ぶれで組織組を行っているのが現状であり、広く各準地区から有能な人材登用を可能にしたい。人材登用に際しては各準地区のガバナーが推薦するものとする。

安田委員長より、現行、登用に関して制限は何もないので自由にすればよい、したがって規約にあらたに加える必要はないとの話があった。

※コーディネーター(GAT：グローバルアクションチーム)については、今年度も GAT 日本全域コーディネーター中村泰久元国際理事から直接推薦指名され、議長宛で推薦者を任命するようにとの依頼状が届いている。

安田委員長より、ライオンズクラブは基本的にトップダウンであるがきちんとしたルートを通せばボトムアップも出来る組織になっている。変えようと思えば変えられるとの話があった。

池原委員より、同じ方ばかりが選任されると若い人材が育たないのではないかと話があった。

⇒安田委員長より下記回答があった。

日本ライオンズで考えると、前年度の事が把握出来ないと困る為、現議長と前年度議長（※前年度議長は4名残る）で理事会が構成されてる。一般社団法人の法律上、通常理事長は5年～10年は交代しない。毎年理事長が変わる法人などというのは法律自体がきちんと考えられていない。この部分はライオンズと齟齬が生じている部分である。継続し過ぎも短期で新しくなることも適切ではない。継続性と新しさのベストミックスを求めている。

複合地区役員任期について各位から下記内容を含め話があった。

藤本副委員長より、GST コーディネーターを経験した際、1年目は「何をすべきか」考えたのみ、2年目で活動、3年目で仕上げであった旨話があった。また、4年～6年の任期は長すぎる為廃止するべきとの話があった。

池原委員より、昨年の日本ライオンズ社員総会では任期は1年との話があった。

参考資料：[ガバナー協議会構成員以外の複合地区役員]

※2021年3月25日開催 2020～2021年度 336 複合地区次期組織検討会議事録より抜粋

・ガバナー任期終了後3年までとする複合地区役員の任期（原則）について ※2021年3月現在

役 職	任 期	任 命
LCIF コーディネーター	3 年（2018/7/1～2021/6/30）	国際会長と LCIF 理事長
GAT コーディネーター	再任可能な 1 年	エリアリーダー
GMT コーディネーター		ガバナー協議会
GLT コーディネーター		
GST コーディネーター		
FWT（正・副）コーディネーター		

任期継続は3年未満とする。

3 《経 費》

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員の場合】

現行通り複合地区協議会議長の要請により、地区ガバナーを通じて複合地区委員等に委員会等への参加出席要請をした場合の会議等の出席経費は、地区キャビネットが負担する。この場合は地区キャビネットから委員等に委員会等への参加出席を要請する。

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員以外の者】

複合地区協議会議長が複合地区委員等に会議等への参加要請をし、その経費は複合地区ガバナー協議会が負担する。ただし次期役員分は準地区で負担する。

経費については現行通り

※複合地区主催の会議に招聘される際の旅費について
準地区委員長、コーディネーター各位にはキャビネットの代表として出席いただいている。
経費の都合上、複合地区各委員会構成員（※組織図に氏名記載のある役員）に限って複合地区費より負担している。

※今回の会則委員会の旅費支給については、全員が複合地区役員にあたるので全員分が複合地区費より支給されている。

4《招 集》

各委員会は会議をWEB会議で行うことを可能とする。WEB会議の映像記録は保存し、複合事務局に5年間保存義務とする。議事録は委員会委員の中から議事録作成人、議事録署名人を選出し、事務局員の協力を得て作成する。

招集については現行通り

安田委員長答申

審議の結果、規約や運営マニュアルの変更までの要はないと結論した。
なお、各委員会におかれては、経費節減に努めながら活動を活発化されることを期待する。

議 題 2. 国際大会：国際理事会 会則改定部分について

安田委員長より「2021年6月国際理事会および第103回バーチャル国際大会報告」に基づいて話があり、委員各位へ地区内にお知らせいただくよう依頼がされた。

安田委員長答申

全会員に周知徹底出来るように、各委員に依頼をした。

その他

336 複合地区ガバナー協議会事務局給与規則

第4章 退職金・賞与 第15条（賞与の額）

賞与の額は、1回につき基本給の1.5ヶ月分とする。

⇒賞与の額は、1回につき基準内賃金の1.5ヶ月分とする。

10/28 第2回ガバナー協議会で承認されたので報告のみを行った。

安田委員長より、委員会の開催について今後諮問や具申がなければ開催しない旨を蔵本担当ガバナーからガバナー協議会へ伝えていただきたいとの話があった。

田中委員より、336 複合地区運営マニュアル制作費について質問があった。

2018～2019〔第19版〕制作時 印刷部数：1100部 制作費：¥626,400

1冊あたり¥569 ⇒ 準地区への販売価格¥1,000（税込み）

※運営マニュアル販売収入あり 収入：¥431,000

閉会挨拶

336 複合地区会則委員会委員長

安田 克樹

会議が必要であれば次回はWEB開催でもよい。

議事録署名人：336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会 委員長 安田 克樹
承認年月日：2021年11月18日

安田 克樹

2021-2022 年度

336 複合地区会則及び付則・運営マニュアル編集委員会答申書

(2021.11.15.(月) 14:00-16:00 於 MD336 G 協事務局)

MD336 ガバナー協議会議長 福永栄一様

1. 継続審議事項について

審議の結果、運営マニュアルの変更までの要は無いと結論した。なお、各委員会におかれては活動を経費節減に努めながら、活発化されんことを期待する。

2. 前国際大会における会則改定部分について

全委員へ報告し、当該準地区のクラブへの周知も合わせて依頼した。

以上、諮問に対し答申いたします。

2021 年 11 月 18 日

MD336 会則及び付則・運営マニュアル編集委員長 安田克樹

(2021-2022) 一般社団法人日本ライオンズ

第一回 国際大会委員会 議事録

委員会内部用

開催日時: 2021 年 11 月 15 日(月) 13:30~14:10

開催場所: 各 PC から接続(利用ウェブ会議システム Zoom)

参加者: 各複合地区国際大会委員長

330 複合地区委員	L 石原 英司
331 複合地区委員	L 鈴木 善一
332 複合地区委員	L 平野 喜嗣
333 複合地区委員	L 植原 宏
334 複合地区委員	L 佛井 正夫
335 複合地区委員	L 柿原 勝彦
336-D 地区ガバナー/336 複合地区副議長	L 大野 美雄(代理出席)
337 複合地区国際大会副委員長	L 釜 利広(代理出席)

ゲスト

国際理事 LCI 大会委員会 委員	L 川島 正行
国際理事 LCI 大会委員会 委員	L 永田 賢司

会議招集者

一般社団法人日本ライオンズ理事長 L 仁科 良三
一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二(MD331 議長)

オブザーバー

一般社団法人日本ライオンズ専務理事 L 村木 秀之(MD330 議長)
一般社団法人日本ライオンズ事務総長 L 菅原 雅雄

次第による司会進行を一般社団法人日本ライオンズ専務理事 L 村木 秀之が行い開催された。

挨拶

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

今回は車の中から参加させていただきますが 2 年前まではこのような Web による会議参加を想像していませんでした。コロナ感染症によるマイナスもあればプラスの要因もありコロナ感染症が悪い訳ではなくこれを一つの起爆剤としてライオンズ、暮らし、奉仕活動を前に進めていただければ幸いです。

国際理事 LCI 大会委員会 L 永田 賢司

国際協会では川島国際理事と同じコンベンションの委員会に所属しているので何か

あればそれぞれ対応しますので宜しくお願い致します。

一般社団法人日本ライオンズ理事長 L 仁科 良三

8月2日理事会・社員総会にて理事長に就任し10月より35地区のガバナー全て訪問する予定で現在9地区のガバナーのみとなりました。国際大会委員会を開催するにあたり急ぐことはありますが、色々と誓約があり確定要素からも難しいですがお願い致します。

ツアーコーディネーターに関してはMD議長の推薦のみで良いのでお願い致します。

報告・議題

会議進行を一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二が行った。

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

- ・議事録作成を MD331 L 鈴木善一に指名した。
- 1.(1)任務、(2)実務について資料をもとに説明がなされた。
- 2.(3)ツアーコーディネーター規定については別紙資料の通りで選定は各 MD にて決定し国際協会の申請は各 MD 議長対応とする。

国際理事会及び協会本部大会委員会について

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

10月28日～31日にサンディエゴで行われた国際理事会について関係委員会と併せ報告された。ダグラス国際会長のテーマ「**Rise Together**(共に立ち上がろう)」心の中の情熱を行動に移して行く内容の説明がなされた。

- ・日本のライオンズメンバーは減少しているが世界的に7%の会員増加となっている。地域のリーダーとしてステージを上げて行く。
- ・アメリカと日本のコロナ感染症の捉え方に相違がある。
- ・登録の推進をお願いしたい。来年の状況によるが協会本部・大会委員会では、苛立ちを感じながらも前へ進めている。今できることをやってほしい旨説明がなされた。
- ・第104回モントリオール大会では、対面とバーチャルによるハイブリッド開催の為、予算計上も2通り行わなければならない全てのコンテンツがバーチャル対応しないこともあり4月22日からの国際理事会にて確定することと思われる。
- ・大会参加目標は1万人とした。ミネアポリス大会を参考に10月末日847名とレオ併せ890名の登録がなされている。
- ・DGEセミナーに関してはQセンターが中止の為モントリオールで2日間設けております。

- ・ ツアーコーディネーターの登録は 3 月 8 日迄となっておりますが早い段階で決定していただき協会と打合せを行ってほしい。
- ・ 日本は eta(電子渡航認証)を 2 日で取得出来る。

質疑応答

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二より質問。

- ・ 日本からの対面参加者は何名を考えれば良いですか？
- ・ 10 名から 20 名未満と具体的な数字を示さず漠然とすると目標を持てなくなるのではと懸念している。

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

一人でも多くの登録をお願いしたい。人数に関してはこの委員会で検討していただきたい。

今回の大会は対面となりました。しかし、ウェブの投票を含め本部では規約変更について検討中です。

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

カナダ入国に関してはビジネスの往来は出来るが観光では現在難しいと思われ日々状況が変化している為、早期登録が 1 月 7 日迄ですが次回会議を 1 月の早い段階で行いたいと報告があった。

330 複合地区国際大会委員 L 石原 英司

- ・ 日本ライオンズのホテル割当に関して 1 月 7 日までブロックされ以降リリースされるが延長はあるのか 12 月後半迄各旅行会社が動けなく困惑していると聞いておりますが詳しく確認したい。

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

- ・ 早期登録の延長も考えられるので延長の可能性がります。
- ・ 確定していることが少なく、現状全ての確定の報告が難しい状況です。

330 複合地区国際大会委員 L 石原 英司

- ・ MD330 では 19 日全体会議が行われるので相談しながら登録推進して参ります。

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

その他の質問の確認を行ったが確定要素が少なく質疑応答が終了した。

- ・委員長所属の 331 複合地区では MD 大会委員長の顔を立てる事で、参加を促している状況が今までの 331 のパターンなので鈴木 331 複合地区委員長のもと数をまとめて行くしかないと思いますのでお願い致します。
- ・オセアル調整事務局からの資料等を確認していただくようお願い致します。

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

- ・登録に関してはコロナ感染症等の理由による参加出来ない場合は返金になる可能性があると思われるが確定ではない。

事務総長 L 菅原 雅雄

- ・現在、日本からの出国レベル 3 であり 3 日前の PCR 検査結果を提出。
- ・観光等個人の場合行動の届け出と保証人の登録が必要。ライオンズの場合地区ガバナーが保証人となるのか確認必要。来年に変更になる場合があるので情報を共有して行きたい。
- ・団体募集は現在出来ません。個人申請のみです。
- ・観光旅行での入国は難しい状況ですが宜しくお願い致します。

330 複合地区国際大会委員 L 石原 英司

- ・今回利用した資料は地区の会議資料として公開可能か確認した。
- ・開催中止の場合の登録料のキャンセルについて質問があった。

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

オセアル調整事務局より提出された資料なので利用下さいと返答された。

国際理事 LCI 大会委員会 L 川島 正行

- ・対面で行う決定以外未確定の状況なので登録料の返金など確定しておりません。
- ・昨年同様のバーチャル参加の登録料は通常登録より安くなると思うが、現在積算中です。

一般社団法人日本ライオンズ国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

内容的には決められる事が少なく場合によっては 12 月次回開催も視野に入れ変更の都度連携を取りながら柔軟に対応して行きましょうと報告・議題について終了し、専務理事 L 村木 秀之に進行を変った。

一般社団法人日本ライオンズ理事長 L 仁科 良三

川島国際理事、永田国際理事に感謝を述べ、委員長はじめ各 MD 委員長全員で大

会を行うことを念頭に協力し段取りをして行きましょう。ガバナー研修を現地にて行うこと、引継ぎに関するセレモニーなどを行うことを考慮し段取りをお願い致します。

専務理事 L 村木 秀之

各複合からの参加委員に感謝を述べ、状況から勘案して難しい状況ですが、スポーツウェアを着てスタートラインには着いたので行動して行きましょう。

国際理事 LCI 大会委員会 L 永田 賢司

- ・国によっては、入国審査に 6 ヶ月かかる場合もある為、色々な面からのサポートとしてカナダ大使館が考慮検討している状況を確認しております。

専務理事 L 村木 秀之

- ・当初会議を 13:30～16:00 までとしておりましたが国際協会の決定事項も少なく 14:10 で会議を閉会させいただきます。

閉会挨拶

国際大会委員長 L 鶴嶋 浩二

決定事項が少なくコロナ感染症による変更も考えられますが登録の促進をお願いしますとの事で閉会した。

次回開催 2022 年 1 月予定(2021 年 12 月)

議事録作成 MD331 国際大会委員 L 鈴木善一

2021年12月20日

地区ガバナー
地区マーケティング委員長
ゾーン・チェアパーソン
クラブ会長

各位

ライオン誌日本語版委員会
委員長 団 英男
編集長 星野勝美
委員一同

「ライオン誌日本語版ウェブマガジン普及キャンペーン」について

皆様には平素ライオン誌を愛読していただきありがとうございます。

ライオン誌日本語版委員会においては有益な情報を会員の皆様にお届けし奉仕活動のお役に立てるよう鋭意努力を重ねているところです。

さて、昨今のデジタル技術の進歩発展は目覚ましく、ライオンズクラブ国際協会においても公式版ライオン誌のデジタル化が推進されています。それによる効果として、印刷及び発送コストの削減、情報伝達の迅速化、紙面では実現できない動画の活用、森林資源の保護などが挙げられます。現時点では印刷版に対するニーズもあり発行を継続しますが、今後、機能拡張や内容充実などの注力はインターネット上で公開しているライオン誌日本語版ウェブマガジンに対して行なってまいります。

一方で、従来の印刷版でさえあまり親しんでいない方がおられ、ウェブマガジンに関しては各クラブ、会員の皆様に十分に認知されていないのが現状です。そこで委員会では「ライオン誌日本語版ウェブマガジン普及キャンペーン」と銘打ち、具体的な活用法をご提案してクラブ、会員の皆様への周知に努めてまいります。

つきましては、この普及キャンペーンに貴職のご協力をお願い申し上げます。具体的には、添付の資料をご活用の上、下記のことをお願いいたします。

■地区ガバナー、地区マーケティング委員長

地区内の研修やセミナー、新会員オリエンテーション、あるいは地区誌などでウェブマガジン普及に触れていただきたい

■ゾーン・チェアパーソン

第3回諮問委員会の諮問事項にウェブマガジン普及・活用に関する事項を含めていただきたい

■クラブ会長

会員の皆様に対してウェブマガジン閲覧を奨励。クラブ例会のあいさつやスピーチでウェブマガジン記事を話題にする、新会員研修で紹介するなど活用していただきたい

会員の皆様のお役に立てるよう縁の下で頑張っているライオン誌に、ぜひお力をお貸しください。

【添付資料】ライオン誌ウェブマガジン普及キャンペーン資料（A3両面印刷用・A4単ページ用）
（印刷版1・2月号18～20ページ、表紙裏にも関係記事を掲載）



ウェブマガジンは 新時代のライオン誌です

ライオンズクラブ国際協会の公式機関誌であるライオン誌日本語版は1958年に創刊され、以来、日本国内の会員に親しまれてきました。2018年からは印刷版に加えて、インターネット上のライオン誌を発行しています。

それが「ライオン誌日本語版ウェブマガジン」です。

全国各地のメンバーが生き生きと奉仕活動に励む姿を記事と動画で伝える他、過去60年余りの印刷版バックナンバーの記事閲覧とキーワード検索など、デジタルの特性を生かしてライオンズ活動に役立つ情報をお届けしています。

ぜひ親しみを持ってライオン誌ウェブマガジンをご覧ください。

- ウェブマガジンは年12回・毎月1日に発行します
- 「奉仕活動」は各地のアクティビティを文章と動画で伝える取材記事。印刷版には短くまとめた記事を掲載します
- 投稿記事「活動報告」はクラブから寄せられたリポートを掲載。印刷版にはその中から一部を掲載します
- パソコンやタブレット、スマートフォンなどで手軽にアクセス出来ます
- メールニュースやLINEメッセージ（登録者宛）で更新情報をお届けします
- フェイスブック、ツイッターなどのSNSで広くライオンズの活動を発信します



※このページや、印刷版「奉仕活動」「ライオンズ・インフォメーション」の記事に掲載されているQRコードからウェブマガジンに接続することが出来ます

ライオン誌ウェブマガジン→<https://www.thelion-mag.jp/>

ライオン誌日本語版委員会 2021年12月作成

奉仕活動の事例やヒントが満載

ウェブマガジンでは全国各地のライオンズクラブが取り組むアクティビティの数々を紹介しています。活動の現場を取材し記事と動画でレポートする「奉仕活動」、クラブからの投稿を掲載する「活動報告」、LCIF交付金事業を紹介する「国際財団」など各ページの記事から、ライオンズクラブが地域をより良くするための活動はもちろん、国際的な支援にも貢献していることがよく分かるはずです。

ライオン誌サポーター（各地区MC委員長などに委嘱）のアンケートでは次のようなコメントが寄せられています。「各地のクラブが創意工夫をして活動している姿が頼もしく非常に参考になる。これからの奉仕活動の大きなヒントになる」

「コロナ禍で活動を自粛しているクラブもあるが、感染対策をしながらの奉仕活動の記事を読んで自クラブも負けずにがんばろうという気持ちになった」



「奉仕活動」「活動報告」欄はこの印刷版にもありますが、ウェブマガジンにはより多くの写真とより詳しい記事を掲載。「奉仕活動」では、クラブが活動に取り組んだ経緯や実施する上での苦労などを詳しく取材して豊富な写真と共に報じ、動画にはメンバーへのインタビューも盛り込んでいます。また、活動分野ごとに記事を絞り込んだり、アクティビティマップで活動を実施した場所を示した地図から記事を選んだりすることも出来ます。

会員増強やクラブPRのツールに、クラブ例会での話題作り、そして地域のニーズに応える新たな奉仕のアイデア探しに、ウェブマガジンを活用してください。



ライオンズクラブの活動を新会員候補者や地域の人へどのように説明するか、悩んだことはありませんか？ 例会でのあいさつやスピーチの話題に困った経験は？ 新規アクティビティ立ち上げがアイデア不足で難航したことはないでしょうか？ そんな時にぜひ活用してほしいのが、ライオン誌ウェブマガジンです。ライオン誌日本語版委員会では、多くのクラブ、メンバーの皆さんにウェブマガジンを活用してもらえことを切に願い、ここに具体的な活用方法をご提案します。

バックナンバーの活用を

ウェブマガジンには、クラブ数・会員数のデータやライオン誌が実施したクラブ・アンケートの集計結果、過去60年余りのライオン誌のアーカイブなど豊富な資料も収蔵しています。「過去の記事」にある「ライオン誌電子版」では、1958年の創刊号から現在までのライオン誌の各号を年代別に掲載し、キーワード検索も出来ます。



一例として、「群馬県」と「太田」のキーワードで星野勝美編集長の所属する群馬県・太田ライオンズクラブの記事を検索してみましょう。62年12月号の新結成クラブ紹介欄にクラブ情報があり、その2年後の64年9月号にアクティビティの記事が載っています。太田ライオンズクラブの有志で編成されている飛行隊が、この年6月に発生した新潟地震の救援のためにセスナ機など2機に薬品100kgを積んで羽田空港から新潟空港へ空輸。新潟県庁民生部へ届けて大いに感謝されたというニュース記事です。当時のクラブ・メンバーには自家用機を所有するメンバーが複数人いて「空飛ぶライオン」の異名を取っていたとのこと。

このようにして、所属クラブの記事を検索してみたら、埋もれていた歴史や面白いエピソードを発掘出来るかもしれません。

もう一つ、「献血」のキーワードで検索してみたところ、61年12月号から2021年11・12月号までの記事1372件がヒット。「献血」や「青少年」など頻出するキーワードは、地名などを追加して複数のキーワードにしたり、期間を絞って検索すると求める情報にたどり着きやすくなります。

「ライオン誌例会」でIT化推進も

ライオン誌日本語版委員会では以前から、例会でライオン誌記事の感想を発表するスピーチを行ったり、記事を題材にしてディスカッションを行ったりする「ライオン誌例会」の開催を推奨してきました。

三重県・四日市みたきライオンズクラブでは2020年2月にライオン誌例会を開催。全員が前もって気になる記事や投稿、報告を読んで例会に臨んだそうです。当時PR委員長を務めていた森一生は、本誌への寄稿の中で次のように提言しています。

「ライオン誌を通じて各地のクラブの活動を知ることによって問題意識を持ったり、あいさつやスピーチのネタとしても活用出来るのではないかと考えます」「掲載されたクラブの活動をただまねるのではなく、記事を通してメンバーそれぞれが考えたことを出し合い、議論して行動に移すのが大切ではないでしょうか。それが、これからのライオンズに必要なことだと思います」(20年7・8月号「獅子吼」掲載)

同クラブのライオン誌例会は印刷版を活用して行われましたが、ウェブマガジンはスマートフォンにも対応しているので、手元に冊子がなくても、各メンバーのスマホを使って記事を共有出来ます。

また、次ページでご紹介するように、ウェブマガジンに簡単にアクセスするための情報はクラブへのEメールやLINE、SNSを通じて発信しています。コロナ禍の中、LINEやZoomなどの活用でクラブ・メンバーのつながりを維持出来たというクラブがあった一方で、対応出来ないメンバーがいるのでIT化を進めたくても出来なかったというクラブもありました。そんなクラブは、例会の出席者全員でスマホを使ってウェブマガジンを閲覧してみてもはどうでしょうか。QRコードを使えば、ウェブマガジンにアクセスするのも、LINEの友だち登録も簡単。使い方が分からないメンバーがいたら、その場で他のメンバーが手を貸してあげることも出来ます。

ライオン誌例会の開催が、クラブのIT化を進める第一歩になるかもしれません。



※このQRコードからウェブマガジンに接続することが出来ます

ライオン誌ウェブマガジン

→<https://www.thelion-mag.jp/>

LINE公式アカウントの登録を

■ライオン誌LINE公式アカウント
公式アカウントを友だち登録すると、毎月のウェブマガジンの更新情報や、活動報告投稿のご案内のお知らせなどライオン誌に関する情報が配信されます。下の手順を参考にぜひご登録ください。

登録用QRコード



ID: 433iwbj

QRコードで簡単に友だち登録

1 長押しする



3 QRコードに合わせる



2 「QRコードリーダー」を押す

4 「追加」を押す



★ライオン誌からの お知らせ



画像をタップすると
ウェブマガジンを表示

ウェブマガジンに活動報告を投稿

「活動報告」ではクラブからの投稿を募集しています。クラブが実施したアクティビティのレポート原稿と写真を投稿フォームから送信してください。詳しくは、ウェブマガジン「投稿」にある投稿規定を確認してください。



Eメール、SNSで情報発信

■ライオン誌メールニュース（Eメール）

毎月1日のウェブマガジン発行後、記事の内容をお知らせする「ライオン誌メールニュース」を各ライオンズクラブへ送信し、会員の皆さんへの転送をお願いしています。

■各種SNS

ライオン誌はYouTube、Twitter、Facebook、Instagramを通じて情報発信をしています。ご利用中のサービスで、ぜひライオン誌のフォロー、登録をお願いします。



2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議（ウェブ）報告書

日 時：2021年11月4日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	莊 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠 席：国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、川島、永田両国際理事からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021-22年度7～9月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～9月30日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。9月にはライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費の予算消化率は17.1%でほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版は3回発行完了時点の予算消化率が18.0%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

2. 印刷版関係

- 2021年11・12月号(10月20日発行／83,600部) 出来

発行済みの11・12月号の出来を確認した。この号から基本36ページ建てとなり、前号の40ページ建て(83,700部)より印刷費が289,300円減少した。

- 2022年1・2月号(12月20日発行) 台割

36ページ建ての台割を確認した。「国際理事だより：藏国際理事」、「編集室：大屋委員、吉田委員」。ウェブマガジン普及を図るキャンペーン記事として、昨年度委員会が作成したPRパンフレットをベースに3ページの記事を編集し掲載する。団委員長から、全日本GSTフォーラム(12月1日・神奈川県川崎市)の取材依頼がGATから来ているとの報告があった。取材記事をウェブマガジン「ニュース」に載せ、1・2月号「トピックス」に短縮版記事を掲載する。

3. ウェブマガジン関係

- 2021年11月号(11月1日更新) 出来

ウェブマガジン11月号の出来を確認した。

- 2021年12月号(12月1日更新) 更新予定(案)

12月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。

- 2022年1月号(1月1日更新) 更新予定(案)

1月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。取材対象が未定の「奉仕活動」1本については、調整がつき次第、内容と取材経費を確認する。

4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

印刷版及びウェブマガジンの年間の主要記事予定を確認した。

- 2021年9～10月取材経費

9～10月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2021年11～12月取材経費概算

11～12月に予定している取材の経費概算の一覧が提出され、承認した。取材対象が未定のウェブマガジン1月号「奉仕活動」1本については、候補が定まり次第、経費概算を確認し、委員長、編集長の承認により取材を進める。

5. 小委員会報告

●ウェブマガジン推進小委員会（10月21日）

ウェブマガジン推進小委員会の星野委員長から、10月21日に開催された第2回会議（ウェブ）の報告があり、LINE友だち登録推進（15,000人目標）、ウェブマガジンのPRパンフレット活用、印刷版のPRページを活用、サポーターの活用など、普及のための方策について目標が示された。クラブ例会や会長あいさつで取り上げてもらうための方策としては、印刷版1・2月号にウェブマガジン普及キャンペーンの3ページ記事を掲載。またウェブマガジンのレベルアップに関して、前回委員会で編集部から説明のあったHOME（トップページ）改修案の費用概算は約95万円（税込）との参考情報が示された。

報告の後、星野委員長が出席者に意見を求め、以下のような発言があった。

「現状ではまず見てもらうことが重要で、レベルアップを図る前にアクセス数を増やすべき」

「所属クラブでウェブマガジンを閲覧している人は1割程度。認知度を高めるにはクラブ例会で話題にすることが有効であり、クラブで取り入れるべく準備を進めている」

「普及を図るためには各方策の具体的なアクションプランの作成が必要」

「ウェブで見ることが出来ない会員が多いという現実があり、内容以前の問題がある」

「特に若い会員でライオン誌に対する興味が薄い傾向がある。新しい切り口で共通の話題を提供してはどうか」

「ウェブマガジンにライオンズ用語を解説するページを設けることで、アクセス増につながる」

「印刷版の発行回数を年4回にすれば、ウェブマガジンの必要性が高まり自ずとアクセスが増えるのではないか」

「現在のトップページは情報量が少なく魅力に欠けるため、見て楽しいページを作ることも必要」

意見交換の後、ウェブマガジン推進小委員会の星野委員長が総括し「ウェブマガジン普及には印刷版を含めたライオン誌そのものの普及から取り組まなければならない、それと同時に若いメンバーに向けてウェブマガジンの魅力を高める努力も必要である。小委員会では、ライオン誌そのものをどうやって身近なものにするか具体的なアクションプランを詰めること、閲覧する人にとって魅力あるウェブマガジンを作りことの2本立てで進めていきたい」と述べた。第3回小委員会を開催して更に検討を進め、次回委員会で報告する。

6. その他

●サバンナ (ServannA) 関係

330-C地区ではMyLCIとサバンナの切り離しに伴い、昨年度から地区版サバンナの使用を停止した。しかしライオン誌の発送にはサバンナに登録されている会員及びクラブ事務局住所を使用しており住所の随時更新が必要なため、ライオン誌委員会は地区版サバンナ未使用地区用の「ライオン誌発送用データ更新サイト」を作成。11月1日に330-C地区版サバンナは同サイトへ切り替えられたことが担当者から報告された。

●ライオン誌出版物

委員会が発行する『ライオンズ・スクール初級編 ライオンズクラブ入門』（第5版2刷／2019年10月・3000部発行）が残り270部（10月28日現在）となり、今後の対応を検討した。団委員長から、発行を継続するには増刷・改訂する他にPDFで無料配布する方法も考えられるとの説明があり、PDFでの配布について意見を求めた。「セミナーでの利用の場合は必要な部分だけプリント出来ることや、改訂が容易であることなどPDFは利便性が高い」という意見が出た。増刷した場合の見積を取った上、次回委員会で更に検討して結論を出す。

閉会あいさつ 団委員長

【次回以降開催予定】

12月13日（月）13:30～16:00（集合／ウェブ出席可）

＊会議前に昼食会開催予定

1月13日（木）14:00～16:00（ウェブ）

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議

日 時：2021年12月13日（月）13:30～16:00

場 所：東京都千代田区日比谷・松本楼

出席者：国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
*ウェブ出席 委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
欠 席：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、永田両国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021-22年度7～10月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～10月31日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。10月はライオン誌印刷版の発行があり、直接出版費の予算消化率は33.2%となった。年間発行予定6回のうち2回が完了した時点としては妥当である。毎月発行のウェブマガジンについては、12回中4回発行完了時点でデジタル版関連費の予算消化率は27.6%。コロナ禍で取材回数が減ったことから外注製作も減り、費用が抑えられている。

2. 印刷版関係

- 2022年1・2月号(12月20日発行／83,700部) 台割

「国際理事だより：藏国際理事」。「編集室：大屋委員、吉田委員」。ウェブマガジン普及を図るキャンペーン記事と、11月末に国際本部から配信された「国際理事会決議事項要約」を掲載するため、「日本ライオンズ物語」と「もう一度読みたいあの記事」は休載する。

1・2月号の記事に関連して、ライオン誌に掲載する原稿及び写真の採用基準を明確にするため、委員会としてガイドラインを設けてはどうかとの提案が、星野編集長からあった。ガイドラインの案を作成して、次回委員会で検討する。

- 2022年3・4月号(2月20日発行) 台割

「国際理事だより：渡部国際理事」。「編集室：吉原委員、玉浦委員」。国際協会から掲載依頼があった「LCIFキャンペーン100」の表紙及び記事を掲載するため、基本36ページ建てに8ページ増やした44ページ建ての印刷費見積を確認。印刷費は約40万円(税込)増となるが、国際協会から掲載の求めがあったもので、必要な費用と認めて増ページすることを決めた。英語版と各公式言語に翻訳された記事が既に配信されているが、日本語版についてはオセアル調整事務局による翻訳作業が終わり次第、入手の予定。

3. ウェブマガジン関係

- 2021年12月号(12月1日更新) 出来

ウェブマガジン12月号の出来を確認した。

- 2022年1月号(1月1日更新) 更新予定(案)

- 2022年2月号(2月1日更新) 更新予定(案)

1、2月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。主要コンテンツの一つ「歴史」は、12月号で2002年大阪国際大会を取り上げ、日本にライオンズクラブが誕生した1952年から50年間分の記事を掲載したところで一区切りとし、月次更新を休止する。

4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年11月取材経費

11月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2021年12、22年1月取材経費概算

12、1月の取材予定経費概算が提出され、承認した。

5. 小委員会報告

●ウェブマガジン推進小委員会（第3回／書面）

小委員会の星野委員長から、書面で行われた第3回ウェブマガジン推進小委員会の報告があった。ウェブマガジン普及に関するこれまでの議論を踏まえて、（A）～（C）の3点に絞って具体策を進めることが提案された。

（A）会員層を考慮した対応策

①普段ライオン誌にあまり親しんでいない会員

対応策：クラブ例会等でのPR

②印刷版には目を通すがウェブマガジンはあまり見ていない会員

対応策：印刷版でのPR、SMSによるメッセージ、クラブ例会でのPR

③印刷版はもちろんウェブマガジンも参照している

対応策：ウェブマガジンのレベルアップ、周りの会員へのサポート依頼

（B）クラブ例会でのPR

印刷版1・2月号に普及キャンペーン記事を掲載し、3・4月号発行後のライオン誌サポーター・アンケートでクラブでの取り組み状況を調査する。また、地区ガバナー及びMC委員長、ゾーン・チェアパーソン、クラブ会長に普及への協力を求める依頼文書を送付する。依頼文書では、地区ガバナー及びMC委員長に対して研修やセミナー、新会員オリエンテーション、地区誌などでのPRを、ゾーン・チェアパーソンには第3回諮問委員会の諮問事項にウェブマガジン普及・活用に関する事項を含めることを、クラブ会長にはクラブ例会でのPRを、それぞれ要請する。

（C）ウェブマガジンのレベルアップ

次回以降で検討。

報告を受けて、小委員会の提案に沿って具体的な対応策を進めていくことを了承。（B）の依頼文書の文書案と添付資料を確認し、添付資料にあるLINE公式アカウント登録方法の説明をより分かりやすく修正した上、委員会終了後出来るだけ早めに発信することにした。また、社団の古川副理事長に対し、社員総会などの機会にライオン誌委員会からの依頼文書送付について全地区ガバナーに伝達し、ウェブマガジン普及を後押ししてもらえるよう協力を依頼した。

6. その他

●ライオン誌サポーター・アンケート

印刷版11・12月号発行後に行ったライオン誌サポーター・アンケートの回答を確認した。

●ライオン誌出版物

残部200部を切ったライオン誌日本語版委員会発行『ライオンズ・スク

ール初級編 ライオンズクラブ入門』（第5版2刷／2019年10月・3,000部発行）を増刷した場合の印刷費見積を確認し、3,000部増刷することを決めた。巻末にライオン誌ウェブマガジンに関する記載を追加する他、加筆・修正が必要な箇所を各委員が確認し、次回委員会で検討した上で編集作業を進める。

閉会あいさつ 団委員長

【次回以降開催予定】

1月13日（木）14:00～16:00（ウェブ）

2月 3日（木）14:00～16:00（ウェブ）

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2022年1月13日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
欠 席：国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、川島、渡部、藏各国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021-22年度7～11月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～11月30日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。11月にはライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費の予算消化率は33.2%で先月からほぼ異動なし。毎月発行のデジタル版は5回発行完了時点の予算消化率が34.9%と、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

2. 印刷版関係

- 2022年1・2月号(12月20日発行／83,700部)出来

発行済みの1・2月号の出来を確認した。

- 2022年3・4月号(2月20日発行)台割

「国際理事だより：渡部国際理事」、「編集室：吉原委員、玉浦委員」。国際協会指定記事「LCIFキャンペーン100」として表紙と記事10ページ分が配信され、これを掲載するために基本36ページ建てに8ページ増やした44ページ建てとする。この指定記事について、前回委員会では8ページに再編集して掲載する予定としたが、国際協会から提供されたレイアウト・データや素材の再編集が困難なため10ページで掲載する。また、一般財団法人日本ライオンズ、335複合地区、330-A地区からの印刷版への掲載依頼について内容を検討し、連載ページを休むなどの調整により3・4月号に掲載することとした。

3. ウェブマガジン関係

- 2022年1月号(1月1日更新)出来

ウェブマガジン1月号の出来を確認した。

- 2022年2月号(2月1日更新)更新予定(案)

2月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で「奉仕活動」の取材が難しい状況にあり、通常の取材だけでなく、クラブからの情報提供と写真で記事を構成する方法を含めて対象となる活動を探して記事を作成する。

4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年12月取材経費

12月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

5. 小委員会報告

- ウェブマガジン推進小委員会

星野編集長（小委員会委員長）から今後委員会で検討が必要な事項の提案があり、各項目について意見を交換し取り扱いを協議した。

(A) ウェブマガジン普及キャンペーン(2021年12月20日送信)のフォロー

前回委員会後、全地区キャビネットに文書を発信して、地区ガバナーとMC委員長、ゾーン・チェアパーソン、クラブ会長への転送を依頼した。それによる効果を確認する方策として、次の項目を提案。

①サバンナを利用した全クラブ対象「ウェブマガジン活用状況アンケート

ト」を実施

②サポーター・アンケートで意識調査

各委員からはウェブマガジン普及策として次のような意見があった。

「委員会から地区ガバナーへ働きかけて協力を求めることが有効」

「地区のセミナーなどにライオン誌委員が出向いて説明するアナログな手法も効果的」

協議の結果、①②を2月末から3月にかけて実施することを決めた。

(B) ウェブマガジンのレベルアップ案

まだウェブマガジンに親しんでいない会員への普及に加えて、既に活用している会員にとって更に有益で魅力のあるページにする努力も必要。レベルアップの方策として、次の項目を提案。

①トップページのデザイン変更

②会員向け情報ページにパスワードを設定

③情報資料の充実でアクセスを促す

レベルアップ案について次のような意見が出た。

「記事そのものはよく出来ているので変更の必要は感じない」

「トップページは国際本部版の方が情報量が多く見た目もよい」

「用語解説はメンバーのニーズが高い。用語集掲載や、記事内の用語にポップアップで解説を表示する機能を追加してはどうか」

検討事項として次回委員会で取り上げる。

(C) 印刷版の発行

印刷版発行に関して必要な検討事項として次の項目を提案。

①次年度の印刷版発行回数（次年度予算の検討に必要）

②国際協会配信記事は横書きのままとし縦書きにこだわらない

発行回数を含めた次年度事業計画を次回委員会で検討する。

(D) LINEのお友達登録普及の行く末をどうするか

現在約3000人の登録者が今後大幅に増加した場合、ビジネスアカウントのライトプラン（月5,000円／15,000通まで）からスタンダードプラン（月15,000円／45,000通まで）に移行すれば、国内会員の半数近い45,000人に月1回メッセージを送信出来るとの説明が、星野編集長からあった。今年度は登録15,000人の目標を掲げているが、更に多くの登録を増やすことを目指して積極的に推進する。

LINE活用に関しては社団の古川副理事長から、各地区がビジネスアカウントを持って地区内メンバーの登録を進めれば、ライオン誌からのメッセージを地区が転送出来るようになるので、ライオン誌から各地区にLINE活用を働きかけてはどうかとの提案があった。検討事項として次回委員会で取り上げる。

6. その他

●ライオン誌担当職員減員への対応

団委員長から、取材・編集を担当する職員1名が2月末日で退職することを受けて、ライオン誌発行業務に支障をきたすことのないよう社団へ申し入れを行う提案があった。申し入れを、1月11日に星野編集長と共に発行業務に携わる職員と面談して検討した対応策として、次の説明があった。

次年度の印刷版発行回数など今後の計画がまとまっていない段階のため今年度中は人員の補充を求めず、退職する職員が担当している編集業務は残る職員に振り分け、取材については現在委託している会社を更に活用し対応する。これに伴い、現在短時間勤務の職員1名をフルタイムに移行することと、ライオン誌発行業務に当たる職員の負担が過重にならないような対処を社団に申し入れる。

団委員長から示された対応策を承認。社団への申し入れ文書をまとめて仁科理事長へ提出する。

●ライオン誌掲載ガイドライン(案)

前回委員会で作成することになった、原稿・写真掲載に関するガイドライン(案)を確認した。各委員が内容を検討して修正の必要があれば1月20日までに事務局へ連絡する。修正の連絡がなければ提出案を採用する。

●ライオン誌出版物

前回委員会で3,000部増刷を決めた『ライオンズ・スクール初級編 ライオンズクラブ入門』の修正箇所を確認。3月初旬の発行を目処に編集作業を進め、価格据え置きで1冊400円で発行する。

●印刷版個人発送手数料改定

発送業者(株)宛名商会から、資材の値上がりに伴うライオン誌個人発送手数料値上げの申し入れがあった。現行の1冊10円が、4月から12円となることを了承した。

閉会あいさつ 団委員長

【次回以降開催予定】

2月 3日 (木) 14:00～16:00 (ウェブ)

3月 4日 (金) 14:00～16:00 (ウェブ)

4月 7日 (木) 14:00～16:00 (ウェブ)

5月10日 (火) 14:00～16:00 (ウェブ)

一般社団法人 日本ライオンズ
2021-2022 年度 第 2 回 YCE 委員会【集合会議】要録

内部用

◎日時：2021 年 11 月 9 日（火）13:30－16:00

◎場所：一般社団法人 日本ライオンズ事務所（東京都 八重洲）

（※MD 副委員長の Zoom によるオブザーバー参加を含む）

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

委員長（MD334 議長）	山 本 基 博（334-B 地区 恵那 LC）
330 複合地区 YCE 委員	青 木 秀 茂（330-A 地区 東京吉祥寺 LC）
331 複合地区 YCE 委員	大 澤 勝 雄（331-B 地区 釧路ぬさまい LC）
332 複合地区 YCE 委員	高 堂 裕（332-F 地区 秋田中央 LC）
333 複合地区 YCE 委員	小 吹 勇（333-E 地区 石岡 LC）
334 複合地区 YCE 委員	加藤 万寿夫（334-B 地区 土岐織部 LC）
335 複合地区 YCE 委員	吉 川 二 郎（335-C 地区 奈良 LC）
336 複合地区 YCE 委員	高 橋 淳（336-C 地区 広島デルタ LC）【ウェブ出席】
337 複合地区 YCE 委員	北 由 美 子（337-D 地区 鹿児島第一 LC）

オブザーバー：

各複合地区 YCE 副委員長（Zoom にてウェブ出席）

330 複合地区 YCE 副委員長	河 合 悦 子（330-A 地区 東京みやこ LC）
333 複合地区 YCE 副委員長	藤 川 清 幸（333-D 地区 前橋中央 LC）
334 複合地区 YCE 副委員長	川 嶋 秀 典（334-C 地区 浜松葵 LC）

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	仁 科 良 三（334-E 地区 長野みすず LC）
専務理事	村 木 秀 之（330-A 地区 東京数寄屋橋 LC）
一般社団法人日本ライオンズ 事務総長	菅 原 雅 雄（330-A 地区 東京堀留 LC）

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 山本委員長は開会を宣言し、出席者は配布資料による確認とした。
- 山本委員長は各複合地区副委員長のウェブによるオブザーバー参加することを伝えた。
- 山本委員長は（一社）日本ライオンズ仁科理事長にあいさつを依頼した。

（仁科理事長）

☆ ライオンズクラブ国際協会 334-E 地区長野みすず LC 所属の仁科良三です。

私が理事長になって初めての集合での委員会会議となり、山本委員長の決断に感謝します。本来であればこのような集合での会議になりますが、コロナ禍の副産物として皆さんがウェブに慣れ、日本ライオンズ、複合地区、準地区などの会議がウェブで出来るよう進化したことであると思います。私が所属している長野みすず LC の理事会があり、出張先の東京からウェブで参加しました。そこで発言を求められ、

現在の状況において運営費が余っているようなので、LCIF ワンハンドレッド・キャンペーンのモデルクラブを再度申請して献金しませんかという提案をして承認されました。運営費を繰り越す場合は多額を繰り越してはならないという規定があり、年を跨ぐ1か月、2か月分くらいはよいが、それを超える余剰金を周年積立金や事業費に振り分けていると思います。その事業費を前倒ししてワンハンドレッド・キャンペーンのモデルクラブとして献金しようということを丁寧に説明し、コンセンサスを得るようにしています。自分の考えを「We」の考えにして一丸となって奉仕活動に進むというのがライオンズクラブですので、自分の考えに共鳴して賛同を得るための一番の方法が食事会で、その中でモデルクラブとしての献金について丁寧に説明し、承認を得られるものと思います。

昨年度、私は執行理事（日本ライオンズ YCE 委員長）でしたので、ガイドラインとして昨年度本委員会委員の方に留任していただくことを依頼し、半分以上の方に留任いただきました。昨年度は本来の交換事業が出来ず「花の咲かない時は根を伸ばそう」ということで、各 YCE 委員の皆さんと共にルールの整合、マニュアル、その他いろいろな場面を想定した場合の擦り合わせ等が出来、その意味では昨年度本委員会では有意義な時間を過ごせたと思います。

昨今のコロナウイルス感染者が激減している現象を素人なりに考えた時に以下の4つの要因があると思います。一、ワクチンの接種率が70%を超えた。二、若者を含めた行動変容が起きた。三、新型コロナウイルス自体が人間に感染しないウイルスに変化した。四、コロナウイルスが変異していく中で、コロナウイルス同士の戦いで自滅していった。コロナウイルスの話をした理由は、現在日本全国35地区のガバナーに会いに行っており、「コロナウイルス感染症拡大が収束したからといって計画をしていないことはすぐに出来ないので、今期の後半戦の来年1月からの計画はフルにしていかがですか？」と提案しています。

日本にライオンズクラブの灯が灯って、本年度は70周年になります。ハワイのホノルル LC が95周年を迎えるということで式典にウェブで出席して、日本ライオンズ理事長として挨拶をしました。1926年に「くろかわ なおや」という方がハワイにライオンズクラブを作りました。当時の入会資格は「白人成人男子に限る」であり黄色人種の日系人はそれに抵触していたものを1年かかってその部分をクリアにしてホノルル LC が結成され、初代会長になりました。そのお孫さんが式典に出席していたことに驚きました。

そのホノルル LC が1949年にマニラ LC を作り、その3年後の1952年にマニラ LC のエクステンションにより日本にライオンズクラブが結成され70年となります。私の個人的な希望としてはその式典に祖父・父・孫の三代ということでホノルル LC、マニラ LC を招待して70周年記念式典を開催し、現在、千葉県勝浦市で市議員をしている「くろかわ なおや」さんのお孫さんも招待したいという想いがあります。

YCE の OB 生を含む青少年の育成に関する事業計画が流れていますが、山本委員長を中心に前向きに検討していただいて良い会議にしていきたいと思います。本日、集合で出席していただいた北海道から九州までの皆さんとウェブで出席の皆さんには感謝申し上げてあいさつに代えます。

- 引き続き山本委員長はあいさつをした。

(山本委員長)

☆ 私は仁科理事長と同じ 334 複合地区の 334・B 地区（岐阜県・三重県）の長野県に近い岐阜県恵那市の恵那 LC に所属しています。入会年度は 2000 年です。今年度は YCE 委員長を仰せつかりましたので、一年間、一生懸命職務を遂行したいと思います。この YCE 委員会を運営するにあたり、昨年度の議事要録を拝読し、「花を咲かせられない時は根を伸ばそう」ということで一年間ご苦勞された年であったと思います。今年度も「花を咲かせられない」年になるかと思いますので、昨年度、伸ばしていただいた根をより太くして綺麗な花を咲かせるための一年にしないでほしいと思います。次年度は交換が出来ることを想定し、それに間に合うように今年度の議論を進めて備える一年にしたいのでご協力をお願いします。コロナの影響で集合して会議が出来ませんでした、この YCE 委員会は連絡・調整以外にも皆さんと膝を突き合わせて議論をすべき委員会と感じましたので、集合（対面）開催の決断時には無理をしたかもしれませんが、結果として良いタイミングでの開催になったかと思えます。しかしながらコロナウイルスに対しては引き続きしっかりと感染対策をして進めていきたいと思えます。昨年度、ガバナーをさせていただいた際に「『コロナのせいで...』という言い方は止めよう」と、コロナを理由にしてやらないことを認めてもらうのではなく、「コロナのお陰で何が出来たか」という方針でやってきました。今年度のこの委員会もその方向で進めていきたいと思えますのでご協力をお願いいたします。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 前回の要録の確認

- 山本委員長は前回の要録を確認した。

◎ 議案

1. 海外交渉通信窓口

- 山本委員長は海外交渉通信窓口について加藤委員（MD334）に説明を求めた。
- 加藤委員（MD334）は事前配布資料 A2 の 16 ページ「スロバキア」を削除し訂正するよう依頼した。
- 加藤委員（MD334）は MD334YCE 業務を担当する事務局員の定年・退職と退職の場合には MD334 の YCE 業務が止まる可能性を示唆し、この機会に日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口制度（以下、「窓口制度」という）について共通の認識を持つ必要があるとし、窓口制度の通信窓口としての各 MD の下記の役割及び青少年交換の種類について確認を依頼した。
 - 担当国と交渉・確認を行い、日本ライオンズ YCE 委員会へ情報を持ち寄り、各種調整・決定を行う
 - ☆ 各複合地区は担当する国（地域）を定め、その海外交渉通信窓口となり、次年度の交換およびユースキャンプ条件（交換数およびユースキャンプ情

報)を担当国と通信し、交換数について契約を結ぶ

- ✧ 担当国と契約した交換数およびユースキャンプ条件を日本ライオンズ YCE 委員会に提示し、日本国内の調整を行う
- ✧ 派遣・来日の調整
- ✧ トラブルが発生した場合は担当 MD が窓口となり対象国 YCE 委員会と折衝する

➤ 青少年交換の種類

- ✧ 日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムによる交換
- ✧ 単独交換 (クラブ・ゾーン・リジョン・準地区・複合地区)

- 加藤委員 (MD334) は 2019-2020 年度 YCE 海外交渉通信窓口一覧表の過去 3 年における「交換あり」「派遣のみ」「来日のみ」「交換が無い」国 (地域) を示し、「過去 3 年間交換が無い国 (地域) を整理する必要性に言及した。また、窓口対象国では無い国との交換は不可との見解を示した。
- 加藤委員 (MD334) は 2018-2019 年度の全日本レベルの交換幹旋数・交換数・ヨーロッパ交換数のグラフを示し、説明した。
- 加藤委員 (MD334) は 2023 年 3 月に MD334YCE 業務を担当する事務局員が退職した場合、対象国との交渉が出来なくなるので、YCE 委員会 (ライオンズ会員) だけで業務を担当する必要性があり、その場合は現在の 29 カ国との交渉は不可能であり、3 カ国程度であれば可能かも知れない方向で MD334YCE 委員会会議にて協議を進めていると述べた。
- 加藤委員 (MD334) は窓口対象国を 3 カ国にした場合のデメリットは日本全体の交換数の減少が想定され、それに対し下記の 4 つの対策 (プラン) を示し、各委員の意見を求めた。
 - ① 各 MD にヨーロッパ各国の交渉通信窓口になっていただく
 - ② 2019-2020 年度まで交換している国 (地域) との交換数を増やす
 - ③ 2019-2020 年度以前 3 年間に交換が無い国 (地域) との交渉を再開し、交換数を増やす
 - ④ MD334 が担当する窓口対象国以外の国については各 MD の連絡先をそれらの国に伝え (LCI の YCE ディレクトリに掲載等)、各 MD が各々交換の交渉通信をする
- 山本委員長は MD334 ガバナー協議会議長として MD334YCE 運営について下記のように説明した。
 - 毎年、YCE 委員は交代するが、事業詳細を把握している事務局員によって長年継続事業として成り立ってきている、結果として各 MD によってこの事業にバラツキが出たことにつながったと推測できる。
 - MD334YCE 業務担当事務局員は英語が堪能であったがために、窓口対象国が増えても対応できてしまったという事情がある。
 - MD334YCE 業務担当事務局員が 2023 年春に定年退職するにあたって、新しい事務局員を採用するが、「英語が堪能」という条件を付けて募集すると応募が無いと推測するので、MD334 全般の業務を担当する事務局員の採用であり、「YCE のための事務局員採用では無い」と MD334 加藤委員長に伝えており、

それを受けて MD334YCE 委員会では窓口対象国を 29 カ国から 3 カ国に絞ってライオンズ会員で業務を担当する方向で協議をしている。

- 山本委員長は MD334 の窓口対象国を 3 カ国に絞ることへの理解と承認を得た後に、窓口対象国から外れた国への対応及び日本全体の交換数が減ることへの対応の協議に入りたいとした。
- 小吹委員 (MD333) は MD334 が窓口対象国を 29 カ国から 3 カ国に絞る根拠について質問し、それに対して加藤委員 (MD334) は下記のように回答した。
 - 29 カ国を対象とした YCE 業務は膨大であり、YCE 業務担当事務局員の退職に伴い、事務局員に頼らずライオンズ会員だけで業務を担当し、この事業を継続していくには多くとも 3 カ国くらいが妥当である。
- 北委員 (MD337) は 3 カ国に絞る場合はどの国を想定しているかとの質問に対して、加藤委員 (MD334) は下記のように回答した。
 - MD334YCE 委員会ではイタリア、ドイツ、ベルギーを想定して協議しており、その理由は他 MD にヨーロッパの国を担当していただく場合に交換数が均等に、公平になることを想定したため。
- 北委員 (MD337) は MD337YCE 業務担当事務局員も 3 カ国語が堪能で、事務局員頼みであり、窓口対象国が増えると各 MD 同様に事務局員の負担が増えるが、青少年を中心に考えるとヨーロッパを各 MD が協力して均等に担当出来る体制を整える必要性に言及し、ライオンズからの視点と青少年中心の視点から考えての着地点を見つけるべきとの見解を示した。
- 青木委員 (MD330) は下記の 3 点について質問し、加藤委員 (MD334) はそれぞれについて下記のように回答した。
 - YCE 事業 60 年の歴史の中で、MD334YCE 業務担当事務局も替わっていると思うが、今になって事務局員の退職が問題になるのか？
 - ◇ 加藤委員 (MD334)
 - ✓ 現在の YCE 業務担当事務局員は約 40 年間 YCE 事業専門で勤務しており、この事務局員の退職後に同様の事務局員が採用される可能性は低い。
 - 前年度の日本ライオンズ YCE 委員会において MD334 は 10 カ国に絞りたいとしていたのに何故 3 カ国になったのか、その経緯を知りたい。
 - ◇ 加藤委員 (MD334)
 - ✓ 前年度はライオンズクラブ会員だけで業務を担当する場合、10 カ国くらいは可能だと考えていたが、実際の業務を想定し、試行錯誤する段階で 3 カ国でも困難ではないかとの結論に達した。
 - MD334 はライオンズ会員で業務を遂行するには 3 カ国と言われるが、MD334 が出来ないことが何故、他 MD が出来るのか？
 - ◇ 加藤委員 (MD334)
 - ✓ YCE 業務を担当する事務局員がいらっしゃる場合は可能と推測している。
- 青木委員 (MD330) は窓口制度の見直しの時期にきているのではとの見解を示し、それに対して加藤委員 (MD334) は下記のように見解を示した。

- YCE 事業は本来 MD 単位の交換事業であるが、海外の国（地域）から日本は一つの単位として認識されているので現在の窓口制度が出来たと推測する。
- 青木委員（MD330）は以前の複合地区 YCE 委員長連絡会が、現在の「日本ライオンズ YCE 委員会」と名前を付けて統一した必要性について質問をし、仁科理事長は下記のように回答した。
 - 一般社団法人日本ライオンズは日本の法律に基づいた組織であり、以前の 8 複合議長連絡協議会を日本ライオンズ執行理事会という立場で日本のライオンズを束ねて、グリップを強くして最大効果を狙っていく「裏打ち団体」であり、YCE 事業では日本全体の課題をサポートしていく組織であると理解して欲しい。例えば日本ライオンズで YCE 担当の事務局員を雇用することも可能になるかもしれない。
- 山本委員長は MD334 が窓口対象国を 29 カ国から減少させることについての理解と承認についてウェブ参加の高橋委員（MD336）に尋ね、高橋委員（MD336）は下記のように回答した。
 - MD334 の困難と減少させることは理解したが、窓口対象国を 3 カ国もしくは 4 カ国、5 カ国なのかという点についてはこれから議論が必要かと思う。
- 吉川委員（MD335）は MD334 YCE 業務担当事務局員が再雇用は無く定年・退職し、ライオンズ会員のみで業務と担当するという前提は確定かとの確認があり、加藤委員（MD334）は確定であると回答した。
- 青木委員（MD330）は MD334 が出来ないという事については仕方が無いことであるが、その後の対策の目途をつけてから決定をするべきであるとの見解を示し、それに対して、山本委員長は下記のように回答した。
 - 窓口対象国を減少させた後の方策が無ければ、MD334 に現状のまま続けてくださいということにはならないので、まずは MD334 の窓口対象国を減少させることにご理解をいただきたい。
- 青木委員（MD330）は MD334 が YCE 担当の事務局員を雇うことが困難であることに対して、努力をすれば可能ではないかとの見解を示した。
- 小吹委員（MD333）は MD334 が窓口対象国を 3 カ国に減少させた場合、その他の 26 カ国をどのようにするかを示唆すべきとの見解を示し、これに対して加藤委員（MD334）は他 MD が担当していただくことが最良の方法ではないかとの見解を示した。
- 北委員（MD337）は全員が MD334 の事情について承知をしており、このまま 29 カ国を担当することが不可能であれば、MD334 が示した 4 つのプランの中から全員で工夫をするしか方法が無いとし、次年度以降、YCE 活動が活発化した場合はこの件を十分に協議することが困難との理由で、今年度中に解決すべきとの見解を示した。
- 北委員（MD337）はプラン②「現在、交換がある国の交換数を増やす」、プラン③「交換の無い国との交渉を再開する」、プラン④「MD 単位での交換」について現状では難しく、プラン①の「ヨーロッパの交渉通信窓口対象国を他の MD で分配」が一番の妥協案ではないかとの見解を示した。
- 北委員（MD337）はヨーロッパとの交換は人気が高く、減少させるべきではない。

一旦は各 MD で担当して「交渉通信窓口制度」を継続し、将来的には日本ライオンズで YCE 業務に長けた人を雇用し、日本全体を一極集中管理できるような制度にしていく過程における、一つの段階としてこの切羽詰まった課題については各 MD にヨーロッパ各国を割り当てすることが一番の解決策ではないかとの見解を示した。

- 吉川委員 (MD335) は事務局員の定年退職の課題は MD334 だけの問題ではなく、根本的な解決策が必要との見解を示した。
- 吉川委員 (MD335) は加藤委員 (MD334) に 3 カ国をイタリア、ドイツ、ベルギーとした理由を尋ね、加藤委員 (MD334) は交換数が多い国の中から均等になるように選んだと回答した。
- 吉川委員 (MD335) は加藤委員 (MD334) に 3 カ国以外の 26 カ国の中で、優先的に担当すべき国について尋ね、加藤委員 (MD334) は MD334 が決めることはできず、交換数や男女比、キャンプ情報等のデータを提供し、本委員会で協議し、決定した方がよいのではと回答した。
- 北委員 (MD337) は各 MD も同様に事務局員の定年退職の課題があり、将来的に日本ライオンズとして YCE 業務を担当する事務局員を雇用し、日本全体を一極集中管理できる体制を整える過程での措置として、一旦は各 MD にヨーロッパの国を割り当てるというイメージであるとした。
- 高堂委員 (MD332) は窓口制度について、書類審査、交渉、交換の実務がよく分からず、事務局員にある程度の経験が無いとただ単にヨーロッパ各国を分配しても上手く機能しないので、派遣生・来日生と接する以前の業務を一括担当するシステムを決めていくことが必要であるとの見解を示した。
- 仁科理事長は (一社) 日本ライオンズで YCE 担当職員雇用の手続きについて下記のように示した。
 - 山本委員長 (執行理事) が日本ライオンズ執行理事会にて本委員会の決議の詳細を説明し、解決方法を提案する。
 - その提案を受けて、執行理事会で協議する。
 - 協議の結果を受け、日本ライオンズ理事長は本委員会決議内容の再度の協議を本委員会に依頼する。
 - 山本委員長は本委員会の決議を執行理事会に諮問する。
 - 執行理事会が答申を日本ライオンズ理事会に諮る。
 - 日本ライオンズ理事会で決議し決定する。
- 青木委員 (MD330) は仁科理事長に (一社) 日本ライオンズ理事会の決議は MD を拘束するかどうかを尋ね、仁科理事長は下記のように回答した。
 - 日本ライオンズは応援団体であり、本委員会からの答申を受けての支援であるので、主体はあくまでも本委員会である。
- 山本委員長は MD334 が窓口対象国を 29 カ国から減少させることの承認について各委員に尋ね、反対無く承認された。
- 山本委員長は加藤委員 (MD334) に窓口対象国を 3 カ国ではなく、4 カ国など変動の可能性を尋ね、加藤委員 (MD334) は変動可能と回答した。

- MD333 藤川副委員長は YCE 担当事務局員の外部への業務委託、外注の可能性について示唆した。

2. ユニフォーム・頒布品について

- 山本委員長はユニフォーム・頒布品についての説明を加藤委員（MD334）に求めた。
- 加藤委員（MD334）は今年度の交換事業が中止になり、ユニフォームおよび頒布品の注文は無いと想定するが、注文する場合を想定してその手順について説明した。
- 山本委員長は加藤委員（MD334）に数量取りまとめの必要性に尋ね、加藤委員は（株）チヂキ社製「YCE 交換ピン・スティック」についてのみ作成の有無を確認する必要があるとし、作成する場合は数量をとりまとめて（株）チヂキに発注することになると説明した。
- 山本委員長は（株）チヂキ社製「YCE 交換ピン・スティック」の作成の有無と作成する場合の数量を各 MD 委員会での協議を依頼し、次回本委員会会議にて協議するとした。
- 山本委員長は加藤委員（MD334）に（株）チヂキ社製「YCE 交換ピン・スティック」を作成する場合の取りまとめ及び（株）佐田製「YCE 派遣生ブレザー」、（株）グローリーシバタ社製「YCE エンブレム・ネクタイ・リボン・関係者用ラベルピン」の注文書を各 MD に送るよう指示した。

3. 派遣相手国との契約書について

- 山本委員長は派遣相手国との契約書についての説明を加藤委員（MD334）に求め、加藤委員（MD334）は下記の資料の説明をした。
 - 2019 夏各 MD 受入条件とキャンプ情報
 - 2020 年夏期交換要領
 - ヨーロッパ各国との契約書
 - ヨーロッパ各国の条件書
 - ヨーロッパ YCE 委員長会議要録
- 北委員（MD337）は MD337 契約書状況について説明し、各国の状況において臨機応変に変更できる日本レベルの契約書ひな形を作成することを要望した。
- 山本委員長は加藤委員（MD334）に契約書が無い場合の危険性について尋ね、加藤委員（MD334）は下記のように回答した。
 - 契約書が無い場合の危険性はないが、キャンプ情報や交換数、交換要領は重要であり、統一した契約書や交換要領のひな形は必要である。
- 青木委員（MD330）は MD 委員会で「来日生の質を上げるには」という議論が毎回あり、契約書に署名させることによって「来日生の質を上げる」ことに少しでも寄与する可能性があり、統一した契約書のひな形には賛成であるとした。
- 高堂委員（MD332）は契約書はあった方がいいが、来日生と出会った時からの対応が重要であるとした。
- 加藤委員（MD334）は MD334 が作成している「2020 年夏期交換要領」の確認お

よび意見を求め、賛同が得られればこれをひな型にしてはどうかと提案した。

- 山本委員長は日本ライオンズとしての統一した契約書のひな形作成について尋ね、反対が無く承認された。
- 山本委員長は参考になる書類として MD334 の「2020 年夏期交換要領」と MD337 の「YOUTH CAMP & EXCHANGE PROGRAM JAPAN EAST MALASIA and JAPAN AGREEMENT」を示し、各 MD 委員会で協議をして、次回会議にての意見を求めることとした。

4. その他

- 北委員 (MD337) は加藤委員 (MD334) にヨーロッパ各国の振り分けについて尋ね、加藤委員 (MD334) は下記のように回答した。
 - 本日、MD334 窓口対象国を減少させることについてご理解をいただいたので、今後の会議にてヨーロッパ各国の振り分け等の課題についての協議をお願いしたい。また、各 MD 委員会会議の早期開催と日本ライオンズ YCE 委員会の毎月会議開催をお願いしたい。
- 小吹委員 (MD333) は MD333 は委員会会議を年 6 回開催しており、次回は 11 月 15 日に開催予定であると述べた。
- 山本委員長は各委員に早期の MD 委員会会議開催及び MD 委員会会議での下記の二点についての協議を依頼した。
 - 1) MD334 が提案した「MD334 窓口対象国が減少した場合の日本全体の交換数減少」への対応策の検討
 - ① 各 MD にヨーロッパ各国の交渉通信窓口になっていただく
 - ② 2019-2020 年度まで交換している国 (地域) との交換数を増やす
 - ③ 2019-2020 年度以前 3 年間に交換が無い国 (地域) との交渉を再開し、交換数を増やす
 - ④ MD334 が担当する窓口対象国以外の国については各 MD の連絡先をそれらの国に伝え (LCI の YCE ディレクトリに掲載等)、各 MD が各々交換の交渉通信をする
 - 2) 交換相手国との契約書および交換要領について MD334 と MD337 より提出された「契約書」及び「交換要領」の参照と内容についての検討

次回委員会：

◇ 日時：2021 年 12 月 6 日 (月) 13 時 30 分～16 時

場所：一般社団法人 日本ライオンズ事務所 (集合)

2021 年 11 月 18 日

議事要録作成人：

YCE 委員 (MD334) 加藤 万寿夫

YCE 委員 (MD335) 吉川 二郎

2021～2022 年度
第 2 回 336 複合地区 YCE・国際関係委員会 議事録

開催日時：2021 年 12 月 2 日（木）16:00～17:30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

出欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠
336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄	○
336 複合地区 YCE 委員会担当ガバナー	高橋 淳	○
336 複合地区 YCE 委員会委員長	香川 洋二	○
336-A 地区 YCE・国際関係・ライオンズレオ委員長	伊澤 新一	欠
336-B 地区 YCE・青少年健全育成（YCE 担当委員長）	川西 和雄	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員長	瀧本 和宏	○
336-D 地区 YCE 委員長		

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 高橋 淳

担当ガバナー挨拶

336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄
-----------------------------	-------

9 年程前に地区 YCE 委員長を担当、夏のキャンプにも携わったが、その頃からキャンプやホームステイに纏わる様々なトラブルが発生していた。社会奉仕として青少年の交流をサポートすることはライオンズクラブのメイン活動であるとする。この度の疫病蔓延を踏まえて今後の YCE 活動の在り方を皆様と考えて参りたい。

自己紹介

A 地区：香川委員長

YCE での問題は諸々あるがユースエクスチェンジは不可欠であると感じる。何かと社会的に行動制限が生じているが、この経験もまた次のライオンズクラブを育てる為により機会となるのではと考える。

C 地区：川西委員長

過去台湾生やマレーシア生の受入をサポートした。地区内では会員数減少の状況から資金面においても問題がある。今後地区の YCE 援助基金についても案を練って参りたい。

D 地区：瀧本委員長

D 地区では副委員長、委員長制で 2 年のローテーションを組んでいる。昨年副委員長を担当したが、事業中止の為実経験がない。昨年は地区内での WEB YCE 交流企画が成功し、大変充実した時間を過ごした。今年も実施予定である。

議 題 1.

ヨーロッパ交渉窓口について

※11/29 日本ライオンズにおいて 2022 年春および夏の交換中止が決定。

高橋委員長より資料に基づいて下記話があった。

MD334 の YCE 担当スタッフが定年退職の為、交渉通信窓口数を他複合地区へ割り振り担当国を

3 か国（イタリア・ドイツ・ベルギー）のみとしたいとの申し出があった。
MD336 の交渉窓口は台湾とマサチューセッツ。
MD334 の YCE 委員長は毎年ヨーロッパフォーラムへ出席し、交換数について契約を交わす。
交渉窓口地区が増設となれば、派遣生、来日生数ともに増える為事務作業も増える。

MD336 として MD334 の提案を受け入れるか？

高橋委員長より交渉窓口 1 本化について日本ライオンズ YCE 委員会の中で少し話になったとの報告があった。

香川委員長より羽田をハブ空港とすべきで、事務作業については幹事旅行会社（MD336 は近畿日本ツーリスト）へ有料であっても依頼するべきではとの話があった。

来日生到着時と帰国時の送迎について近畿日本ツーリスト添乗員を依頼すると、往復交通費とは別に 1 人当たり 20,000 円の日当が発生する。また、来日生の早朝や深夜フライト等、スケジュールにより空港近隣の宿泊施設での付き添いが伴うと更に宿泊費と追加日当が発生する。

MD336 交渉通信窓口としてヨーロッパのどこの国を担当するか？

⇒もし交渉窓口の振り分けが確定した際には下記の国を受けることとする。

・モルドバ ・セルビア ・イスラエル

高橋委員長よりコロナ禍での YCE 活動に関して下記話があった。
今後渡航にあたり、入国して待機施設で 3 日間以上過ごすルールがあるとすれば、YCE は再開には至らないと考える。

資料：11/9 開催 一社)日本ライオンズ第 2 回 YCE 委員会次第付帯資料より抜粋

議 題 2.

台湾への派遣生を増やすための方法について

高橋委員長より、台湾側から日本からの派遣生増員依頼があるとの話があった。

台湾との交換は、派遣、来日ともに到着も帰国も関西空港⇄桃園空港のみを利用。
MD330 や MD333 の関東エリア、MD331（北海道）や MD337（九州・沖縄）からの参加者についても関西空港発着となる。
過去、利用空港の選択希望があったが、現行関西空港 1 本で案内をしている。

⇒利用空港を関西空港だけに限らず増設するべきではとの話があった。

台湾 YCE 委員長ご一行(8 名程)のスケジュール概要

※毎年必ず台湾生と共に来日する。
※来日初日、MD336 内で受け入れる台湾生と同じ JR で関西空港から岡山まで乗車する。
※毎年必ず ANA クラウンプラザホテル岡山に宿泊、翌日関西方面へ観光に向かう。
※ANA クラウンプラザホテル岡山にて YCE 委員長歓迎会が開催される（※非公式）
※先に台湾へ帰国し、台湾生と日本派遣生の到着を桃園空港で出迎える。
（台湾生帰国時と同便で日本からの派遣生が台湾へ入ることが多い。）

MD336YCE 担当事務局員は台湾生到着時・帰国時は必ず空港でのアテンドを行う。

両国学生の国内移動費の支払いについて

複合事務局員は、日本からの台湾への派遣生の国内移動費（1人あたり2万円）と台湾来日生の国内移動費（1人あたり3万円）を相殺した額を事前に台湾委員長へ事務連絡し、台湾 YCE 委員長到着時にその相殺額を現金で受け取り、領収証にサインをいただく。その現金を当日即近畿日本ツーリストスタッフへ渡す。

※派遣生国内移動費は近畿日本ツーリストが発行する派遣 旅行代金見積書、請求書に「現地地上費（キャンプ費を含む）」として含まれる。スポンサークラブが負担するかたちとなる。

議 題 3.

台湾が5 複合地区になった際の対応について

台湾サイドの交渉窓口は1 局にしてもらうべき。

日本からの派遣希望生には利用空港を選択してもらい、各便の桃園空港到着、出発日時を台湾側へ伝えて送迎に備えてもらう。⇒日本からの派遣生増員促進につながる可能性あり。

その他

海外の事務局設置について

台湾含め日本のように事務局を設置している国はない為、通信がスムーズに行えないことが多々ある。来日生情報や日本からの派遣生ホスト家庭情報について、期限内に必要な書類が届くことはほぼないに等しい。

YCE のセキュリティ管理について

派遣、受入ともに学生自身のパスポート写しやメディカルチェック、家族に関してのみならず、受入ホスト家庭に関しても写真や詳細情報をメール添付で通信を行う。これらは通常であれば極秘レベルで扱われる個人情報である。DX 時代のプライバシーとしてグローバルで進む個人情報保護法の厳格化に対応する必要があるのではないか。

〔メールでの通信の流れ〕

ホスト家庭⇔クラブ⇔キャビネット⇔MD336 事務局⇔各交渉窓口 MD 事務局⇔各海外現地窓口⇔ホスト家庭
⇔台湾現地窓口（邱さん）⇔ホスト家庭
⇔日本ライオンズ事務局へは派遣生名簿を提出
⇔近畿日本ツーリストへ派遣生/来日生に関する全情報を提出

瀧本委員長より下記話があった。

D 地区では今年度も YCE WEB 交流会を行う予定であるが、フランス生との交流企画が無理となった場合、台湾生をコーディネートしていただきたい。また、取材の依頼をお願いしたいとの話があった。

⇒コーディネートルート案

- ①広島デルタ LC（高橋委員長所属クラブ）の姉妹クラブにあたる高雄市の寿山 LC を通じて
- ②台湾 YCE（窓口）副委員長の邱さんを通じて

⇒取材に関しては、玉浦ライオン誌日本語版編集委員（C 地区三原浮城 LC 所属）へご依頼

香川委員長より下記話があった。

1/22（※予備として1/23）に Zoom にて A 地区内に滞在の留学生や技能実習生を対象として、個人、グループ問わずどなたでも参加いただけるお茶を飲みながらのおしゃべり会を企画している。アンカー役を女性に依頼して外国人から見た日本、また日本の思い出について話してもらう予定。

また年度内の学生の卒業までに、高松養護学校のレオクラブと Zoom を使った交流会を実施したいと企画を進めている。

川西委員長より下記話があった。

C 地区内では、農家の高齢化で減少の一途をたどる農業就労者をサポートする為に、外国人技能

実習生にみかんやレモンの収穫体験をしてもらいながら1日キャンプとして交流をはかるという企画案がある。

外国人技能実習生支援団体（福山市）を交えて、ゾーンの合同アクティビティにしてみても次年度の構想として考えている。

香川委員長より来年度は在留資格となる「技能実習2号」（在留期間2年）への移行が更にすすみ、基本的にはどの職種でも受入が可能になるとの話があった。

川西委員長より活動について複合地区へ報告する必要があるかの質問があった。

⇒

高橋委員長より複合地区への報告は特に必要ないが、ライオン誌へ取材を依頼をすれば活動についてより広く知っていただけるとの回答があった。

蔵本担当ガバナーより失敗を恐れず新しい案はどんどん実行していただきたいとの話があった。

高橋委員長より下記話があった。

数年前イタリア生のホストファミリーを担当、ミラノ国際大会の際に現地にてそのイタリア生のご家族に大歓迎でもてなされた。YCEをきっかけに心温まる貴重な経験が出来た。

事務局高杉より下記話があった。

YCE事業の決行について日本ライオンズで承認されていない内に、MD334からチヂキ製YCE交換ピンバッチ購入依頼が強制され、その年度の各キャビネットに購入していただいたことに疑問を感じる。

閉会挨拶	
336 複合地区 YCE 委員会委員長	高橋 淳

本日はこれから感染対策万全の上で懇親会を行うのでよろしくお願いいたします。

議事録署名人：336 複合地区 YCE・国際委員会 委員長 高橋 淳

承認年月日：2021年12月7日

高橋 淳

一般社団法人 日本ライオンズ
2021-2022 年度 第 3 回 YCE 委員会【集合会議】要録

委員会
内部用

◎日時：2021 年 12 月 6 日（月）13:30－16:00

◎場所：一般社団法人 日本ライオンズ事務所（東京都 八重洲）
（※MD 副委員長の Zoom によるオブザーバー参加を含む）

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

委員長（MD334 議長）	山 本 基 博（334-B 地区 恵那 LC）
委員（MD330YCE 委員長）	青 木 秀 茂（330-A 地区 東京吉祥寺 LC）
委員（MD331 YCE 委員長）	大 澤 勝 雄（331-B 地区 釧路ぬさまい LC）
委員（MD332 YCE 委員長）	高 堂 裕（332-F 地区 秋田中央 LC）
333 複合地区 YCE 副委員長	藤 川 清 幸（333-D 地区 前橋中央 LC）[代理出席]
委員（MD334 YCE 委員長）	加藤 万寿夫（334-B 地区 土岐織部 LC）
委員（MD335 YCE 委員長）	吉 川 二 郎（335-C 地区 奈良 LC）
委員（MD336 YCE 委員長）	高 橋 淳（336-C 地区 広島デルタ LC）
委員（MD337 YCE 委員長）	北 由 美 子（337-D 地区 鹿児島第一 LC）

オブザーバー：

各複合地区 YCE 副委員長（Zoom にてウェブ出席）

330 複合地区 YCE 副委員長	河 合 悦 子（330-A 地区 東京みやこ LC）
331 複合地区 YCE 副委員長	齊 田 博 文（331-A 地区 札幌清田 LC）
331 複合地区 YCE 副委員長	小 川 賢 一（331-B 地区 音更 LC）
331 複合地区 YCE 副委員長	末 永 玲 子（331-C 地区 函館グリーン LC）
332 複合地区 YCE 副委員長	（332-地区 LC）
333 複合地区 YCE 特別委員	大久保 雄 司（333-E 地区 水戸 LC）
334 複合地区 YCE 副委員長	川 嶋 秀 典（334-C 地区 浜松葵 LC）
335 複合地区 YCE 副委員長	（335-地区 LC）
336 複合地区 YCE 副委員長	（336-地区 LC）
337 複合地区 YCE 副委員長	岡 秀 昭（337-A 地区 大川 LC）

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	仁 科 良 三（334-E 地区 長野みすず LC）
専務理事	村 木 秀 之（330-A 地区 東京数寄屋橋 LC）
一般社団法人日本ライオンズ 事務総長	
	菅 原 雅 雄（330-A 地区 東京堀留 LC）

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 山本委員長は開会を宣言し、出席者は配布資料による確認とした。
- 山本委員長は MD 333 藤川副委員長の代理出席と各複合地区副委員長のウェブによるオブザーバー参加することを伝えた。

- 山本委員長は（一社）日本ライオンズ仁科理事長にあいさつを依頼した。

（仁科理事長）

➤ コロナウイルスも新種のおミクロン株流行の兆しがありますが、昨今はコロナウイルスの状況も落ち着いてきており、日本ライオンズとしてクラブの計画はフルにさせていただきたいと皆様をお願いしております。感染拡大に備え、ブレーキとアクセルの両方に足を置き状況によって判断させていただきたいとお願いしております。この YCE 委員会も 2 年続けて交換が中止となっていますが、YCE と YCE・OB そして LEO クラブとうまくつなげていけるといいかと思ひます。国の教育改革として探求型の教育ということがあり、私が結成した LEO クラブ会員も LEO クラブや YCE を通しての活動をアピールして希望通りの進学をした学生もいます。今年度の交換プログラムは中止になりましたが、やがて再開されるときのために準備をお願いしたいと思ひます。特に MD334 から提案がある課題について前向きに検討をお願いしたいと思ひます。

- 山本委員長は（一社）日本ライオンズ村木専務理事にあいさつを依頼した。

（村木専務理事）

➤ お忙しい中、日本ライオンズ YCE 委員会会議にお集まりいただきありがとうございます。おミクロン株の感染拡大も懸念されますが、YCE 活動の再開に影響を及ぼさないように祈っています。私自身 1993 年に 330-A 地区キャビネット副幹事当時に YE 委員会を担当し、そして、2002 年にキャビネット幹事をした時もキャビネット構成員に MD4 の窓口をしている会員がいて、YCE の窓口業務も多少の知識があります。今回も窓口業務の議案があり日本ライオンズ、複合地区そして準地区も含めてこの YCE 活動がよい方向に進むことを祈念いたします。

- 引き続き山本委員長はあいさつをした。

（山本委員長）

➤ ライオンズクラブの活動ももう半分が終わろうとしています。クラブや地区、複合地区レベルにおいても次年度に対する動きを考慮する時期に来ているかと思ひます。私たちの本委員会も次年度に YCE 事業が再開された際に混乱を招かないように次年度に申し送りをするための具体策を今年度中に決めておこうという会議になっていますので引き続き協議をよろしくお願ひいたします。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 前回の要録の確認

- 山本委員長は前回の要録を確認した。

◎ 議案

1. ヨーロッパ地区対象国の担当窓口について

- 山本委員長は前回会議にて MD334 担当の 29 カ国を 3 カ国に減少せざるを得ない状況について各委員の理解を得たとして、残り 26 カ国について各 MDYCE 委員会にて検討を依頼し、その検討結果の報告を各委員に求めた。

- 青木委員（MD330）は 11 月 30 日に YCE 委員会会議を開催し下記の意見があつ

たことを報告した。

- ヨーロッパ窓口の件については、「ヨーロッパ窓口国」と「交換数維持」と2つの課題があることを認識し協議した結果、各 MD の状況を考慮してヨーロッパ窓口国数を検討すべきで、MD330 は2~3 カ国で交換数が少数の国を担当する方向で検討している。
- 担当 MD が無い国への派遣希望者がいる場合は YCE ディレクトリを利用することも必要である。
- 雑談の中でイギリス、フランス、スイスという国名が挙がった。
- 大澤委員 (MD331) は個別に各委員と協議した下記の内容を報告した。
 - ヨーロッパ窓口国担当の依頼について全く「0」というわけにはいかないとして、「フィンランド」「イギリス」「スイス」「スペイン」あたりであれば3カ国くらいを担当する形で皆さんの同意を得たい。
- 高堂委員 (MD332) は委員会会議未開催であるため、文書によるアンケート形式で各委員の意見を聞いた結果を報告した。
 - ヨーロッパを担当することに否定的であった。
 - 交換交渉業務を日本ライオンズで一括して行うという案には多くの賛成があったと報告した。
- 山本委員長は「交換交渉業務を日本ライオンズで一括して行うという案」について、「前回会議にて日本ライオンズ事務局が窓口業務を担当するという案が挙がったが、現段階ではその方向性は非現実的である。」との見解を示した。
- 藤川副委員長 (MD333 代理出席) は11月15日に MD 委員会会議を開催し下記の意見があったことを報告した。
 - ヨーロッパ窓口国を担当することは困難であり、また、現在の MD333 担当窓口国の見直しも必要。
 - 日本ライオンズでの業務一本化については前向きな意見もあったが、委員は単年度で交代する場合があるので、協議をする会議の場には事務方の出席が必要。
 - YCE 業務が煩雑であるので簡素化についても協議の必要がある。
- 吉川委員 (MD335) は11月25日に MD 委員会会議を開催し下記の意見があったことを報告した。
 - MD335 はマレーシア、オーストラリア、ニュージーランドなど数カ国を担当しており、事務局も手一杯の状況であるのでヨーロッパの国を担当することは困難である。
 - 委員で業務をする場合は委員会に複数年度同じ委員が在籍する必要がある、現状では困難である。
 - また、吉川委員個人の意見として、どうしてもヨーロッパの国を担当しなければならない状況であれば、1カ国はなんとか事務局にお願いしたい。
- 高橋委員 (MD336) は加藤委員 (MD334) にヨーロッパ国を担当した場合、ヨーロッパ YCE 委員長会議に出席の必要性を尋ね、加藤委員 (MD334) は MD334 は現在は慣例としてヨーロッパ YCE 委員長会議に参加しているが、参加は必須ではなく、メールでの交渉・契約で問題ないと回答した。
- 高橋委員 (MD336) は12月2日に MD 委員会会議を開催し、下記の意見があつ

たことを報告した。

- MD334 は担当国を 3 カ国に絞ることに対して 29 カ国から 3 カ国を引いた 26 カ国を他の 7MD で割った場合は 3 カ国以上になるので、MD334 の 3 カ国のみという選択肢は無い。
- MD336 は主に台湾を担当しているが、現在 MD300 一つの複合地区であるが、2 年後に 5 つの複合地区に分割され、その際の窓口がどのようなになるのか分からなく不安要素が大きい。よって、ヨーロッパの国を担当することは困難である。
- MD336 一人の事務局員の YCE 業務事務量が年間を通して 7 割くらいを占めている。ヨーロッパの国を担当する場合は事務局員の増員が必要である。2019 年 11 月にオセアル・フォーラムが広島で開催された際に英語が堪能な事務局員を 1 年～2 年の期間で 2 人採用した。MD334 もそのような採用をすれば、このまま継続できるのではないか。
- 仮に担当する国を 3 つ挙げるとすればギリシャ&キプロス、セルビア、モルドバの 3 カ国。
- 山本委員長は高橋委員 (MD336) の発言を受け、加藤委員 (MD334) に MD334 のヨーロッパ国を 3 カ国を超えて担当する可能性について尋ね、加藤委員 (MD334) は可能と回答した。
- 北委員 (MD337) は 11 月 18 日に MD 委員会会議を開催し、下記の意見があったことを報告した。
 - ヨーロッパとの交換数が少くなると青少年の育成の機会も減少するので日本レベルでヨーロッパ担当窓口国を振り分けることがよいのではないか。
 - フランス、トルコ、クロアチアの 3 カ国であれば可能かもしれない。
 - 現在 YCE 業務を担当している事務局員が YCE のみを担当する場合はもう一人事務局員を採用せざるを得ない。
 - 将来的に日本ライオンズで YCE 業務を一括集中で担当していただければ、それまではヨーロッパ国を担当することは可能である。
 - 将来の着地点は日本ライオンズで YCE 業務を一括集中で担当することがよいのではないか。
- 北委員 (MD337) はひとまず加藤委員 (MD334) にヨーロッパ国を各 MD に振り分ける案を作成してもらい、それを基に今後の本委員会会議にて協議してはどうかという提案をし、藤川 MD333 副委員長はその提案に賛同した。
- 山本委員長は上記、北委員 (MD337) の提案を受け、加藤委員 (MD334) にヨーロッパ国の振り分け案を作成してもらい、その案を基に協議をすることを提案し、多数の賛同を得た。
- 高堂委員 (MD332) は多くの課題や困難、またヨーロッパ国担当についても困難ととらえず、新しい機会を得たととらえることができればよいと述べた。
- 山本委員長は加藤委員 (MD334) に「ヨーロッパ地区対象国の担当窓口」関連資料の説明を求め、加藤委員は (MD334) は「MD334 窓口ヨーロッパ国別交換実績」「2018-2019 年度 MD334 窓口ヨーロッパ国別交換数」「MD334 窓口ヨーロッパ引継ぎ事項」「交換提案人員および要望事項一覧表 (2019 年 10 月エストニア・タリ

ン)」「2021-2022 年度欧州 YCE 連絡先」の説明をした。

2. 派遣相手国との契約書について

- 山本委員長は加藤委員 (MD334) に「派遣相手国との契約書」関連資料の説明を求め、加藤委員は (MD334) は「YOUTH CAMPS & EXCHNGE PROGRAM JAPAN 20×× (20××夏期交換要領)」「CAMPS/MINI CAMPS IN JAPAN 2019 夏各 MD 受入」「AGREEMENT FORM YCE PROGRAM SUMMER 20××」「MLTIPLE DISTRICT 334 WINTER YOUTH CAMP & HOMESTAY 2019-2020 INFORMATION & GRAND RULES」の説明をした。
- 山本委員長は各資料をたたき台として提示しており、各 MDYCE 委員会会議にて検討し、最終的には日本ライオンズ YCE 委員会として統一したフォームとして提示できるようにしたいとした。
- 高堂委員 (MD332) は MD332YCE 委員会会議において文化・習慣の違いに基づいた「禁止事項」を契約書に明記することの可否についての意見が挙がったと報告した。また、ライオンズクラブ国際協会の法務部に確認することもあるかもしれないとした。

4. YCE 派遣生用品について

- 山本委員長は加藤委員 (MD334) に YCE 派遣生用品についての説明を求め、加藤委員 (MD334) は YCE 派遣生用品の注文については注文用紙を使用することを依頼した。また、YCE 交換ラペルピン・スティックピンについては株式会社チヂキに製造を依頼する必要がある、その場合は MD334 が取りまとめを担当するとした。

5. その他

- 高橋委員 (MD336) は派遣生のパスポート等の個人情報をメールでやり取りする場合のセキュリティに関しての問題を指摘する意見があったと報告した。

次回委員会会議：

◇ 日時：2022 年 3 月 4 日 (金) 13 時 30 分～16 時

場所：Zoom オンライン会議システム (WEB) を使用

2021 年 12 月 25 日

議事要録作成人：

YCE 委員 (MD334) 加 藤 万 寿 夫

YCE 委員 (MD335) 吉 川 二 郎

ヨーロッパ通信窓口相手国振り分け (案)

2021 年 12 月 27 日

※下記の振り分けはあくまでも「たたき台」です。この「案」を元に協議をお願いしたいと思います。

※第 3 回委員会会議後に個別にご連絡をいただいた内容を反映いたしました。

MD 334 の通信交渉窓口相手国 (29 地域) 2021 年 12 月 27 日現在

フランス・ドイツ・オーストリア・イギリス・スイス・デンマーク・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・アイスランド・オランダ・ベルギー・イタリア・ギリシャ&キプロス・スペイン・ロシア・エストニア・チェコ&スロバキア・クロアチア・ポルトガル・アイルランド・ルーマニア・ウクライナ・モルドバ・マケドニア・セルビア・トルコ・イスラエル

MD	国名							
330	フランス	イギリス	オランダ					
331	フィンランド	スイス	スペイン					
332	スウェーデン	ノルウェー	デンマーク					
333	アイスランド	スロベニア	チェコ&スロバキア					
335	ロシア	ウクライナ	ルーマニア					
336	イスラエル	セルビア	モルドバ					
337	トルコ	クロアチア	オーストリア					
334	イタリア	ドイツ	ベルギー	エストニア	アイルランド	マケドニア	ポルトガル	ギリシャ&キプロス

2021～2022 年度 336 複合地区
青少年・ライオンズクエスト委員会 国際平和ポスター審査会 議事要録

開催日時：2021 年 12 月 9 日（木）14:00～15:00
 開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F
 TEL 086-234-0695
 開催形式：ハイブリッド形式
 ※MD336 HP トップ (INFORMATION) で一定期間審査会の様子をご覧ください。

出 欠

役 職	氏 名	REAL	WEB
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一		欠
336 複合地区ガバナー協議会副議長（D 地区ガバナー）	大野 美雄		欠
336 複合地区青少年・ライオンズクエスト委員会担当ガバナー			
336 複合地区ガバナー協議会副議長（C 地区ガバナー）	三島 英揮		○
336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄		○
336 複合地区ガバナー協議会会計（B 地区ガバナー）	平山 智雄	○	
336 複合地区青少年・ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一		○

司会進行：336 複合地区青少年・ライオンズクエスト委員会委員長 酒井 公一

開会挨拶	
336 複合地区青少年・ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

MD336 内全体で 1 万点を超える作品が集まったことに対し、各地区に感謝を申し上げたい。昨年度は議長とガバナーのみで最優秀作品を決定したが、今年度は外部から審査員の先生 2 名に加わっていただき最終選考を行う。先生方の意見をぜひ参考にさせていただきたい。

審査員紹介	

外部審査員 2 名それぞれより自己紹介があった。
 資料：プロフィール 池田美術事務所 代表 池田 靖嗣氏 画家 佐藤 智美氏

審 査
第 34 回国際平和ポスターコンテスト

酒井委員長より、参加クラブ数・応募数について改めて説明があった。
 各地区ガバナーより各準地区での選考について話があった。

テーマ：「私たちはみんなつながっている」

前例のない世界的なパンデミックによってもたらされた新たな課題を克服しながら、私たちはみんな世界中で、お互いに、そして地域社会に、私たちが結びついていることを祝っています。今年は、これらのつながりを思い描き、探求し、視野的に表現することを青少年に呼びかけます。

参加クラブ数・応募総数

	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	合計
参加クラブ数	77	21	38	40	176
応募総数	3,080	942	5,693	1,175	10,890

審査方法

WEB 参加の皆様へは事前に作品画像を送付。ハイブリッド形式による協議とする。
シカゴ国際本部送付用最優秀賞 1 点を選考。（※ 3 点は優秀賞として地区へ賞品とともに返送）

池田先生のコメント

最優秀作品は、描かれている子どもの目の表情が生き生きしており、書き手自身も創作活動を楽しんでいる様子がよく感じとれる。

佐藤先生のコメント

4 点とも中学 1 年生の作品とは思えない程レベルの高い作品であるが、テーマを軸として学生自身が何を捉え表現しようとしているかよく伝わるものを考慮して審査した。

各地区ガバナーは、それぞれご自身の地区から選考された作品を最優秀賞として選んだ。
両審査員先生については、D 地区綿谷なつさんの作品を最優秀賞として選考した。

結果は下記の通り。

※12/10 D 地区 宇部 LC 綿谷 なつさんの作品を国際本部へ発送済み。

受審者情報・作品紹介

賞	氏名	学校名・学年	地区	クラブ
最優秀賞	綿谷 なつ	宇部市立厚南中学校 1 年	D 地区	宇部 LC
	世界中が平和の笑顔でいっぱいになりますように			
優秀賞	森田 結心	三木町立三木中学校 1 年	A 地区	三木さぬき LC
	もし私が女神なら、どの国のどの人も助けたい。 皆さんの心の中の女神はどうですか？			
優秀賞	高田 琴杜鼓	笠岡市立金浦中学校 1 年	B 地区	笠岡東 LC
	戦争のないみんなで助け合う世界になれば良いなと思います			
優秀賞	寺田 椿	広島市立祇園中学校 1 年	C 地区	広島城北 LC
	地球の様々な国がつながっているのと明るい未来につながっていると思う思いで書きました。			

閉会挨拶

336 複合地区青少年・ライオンズクエスト委員会委員長

酒井 公一

いずれも素晴らしい作品であった。本日最優秀賞に選ばれた作品がシカゴで評価されることを祈る。外部審査先生方についてはご足労いただき感謝を申し上げますととに来年もぜひお願い出来ればと思う。

議事録署名人：336 複合地区 青少年ライオンズクエスト委員会 委員長 酒井 公一
承認年月日：2021 年 12 月 10 日

酒井 公一

審査結果



PEACE

2021-2022 年度

私たちはみんなつながっている

最優秀賞

336-D 地区 宇部 LC
綿谷 なつ



優秀賞

336-C 地区 広島城北 LC
寺田 椿



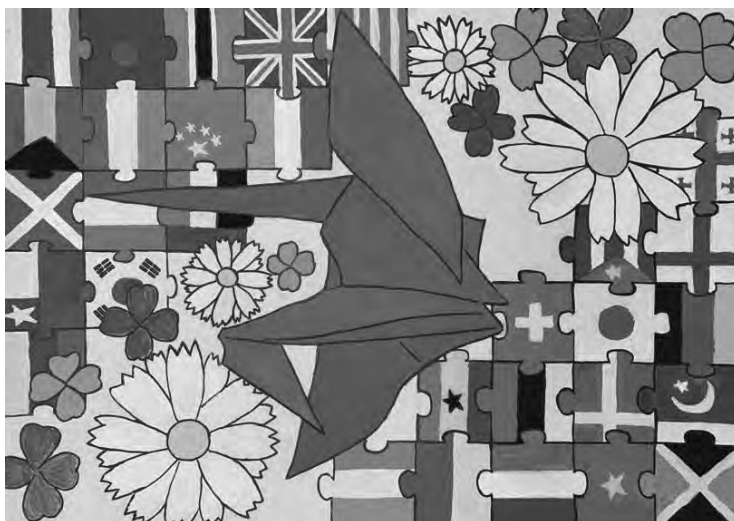
優秀賞

336-A 地区 三木さぬき LC
森田 結心



優秀賞

336-B 地区 笠岡東 LC
高田 琴杜鼓



芸術部門

いけ だ やす し
池 田 靖 嗣

生年月日：昭和30年1月7日（61歳）

住 所：岡山市北区広瀬町



■表彰理由

池田氏は、平成25年「パブリックアートを蘇生する会」を設立。市民の生活に彩りや潤いを与えてくれるパブリックアート（屋外彫刻や壁画）が長年風雨にさらされ設置当時の姿を失い、ひいては街の魅力や品格を大きく損ねてしまうことを憂慮し、以来これらの清掃・修復活動に精力的に取り組んでいる。

これまでに、西川緑道公園や桃太郎大通り、第1回おかやまマラソン開催前の県総合グラウンド、浦安総合公園など県内で計71基の彫刻等を再生している。

彫刻メンテナンスは、地味な作業である。設置当時の技術、仕上げ技法などを推測しながらこつこつと作業を進めるのである。

氏は「再生作業は作品やその時代と対話する機会を与えてくれる。岡山という地方都市のストーリーが作品に内包されており、街中に点在する彫刻はいわば『タイムカプセル』である。貴重な街の記憶としての資産である彫刻（アート）を大切にし、市民が愉しみ、次の世代へ繋ぐことが私たちの責務である」と述べている。

本市への文化芸術に対する多大な貢献、また街の魅力向上に資したことを評価するとともに、今後もその活動を継続することを期待し本賞を贈る。

■略 歴

昭和63年 岡山市北区表町に「池田美術事務所」を開廊

平成22年 倉敷芸術科学大学 非常勤講師（平成26年まで）

平成25年 「パブリックアートを蘇生する会」を設立

平成26年 パブリックアートの再生・メンテナンス開始

平成27年 「まちなかアート再生事業」開始

岡山県文化連盟と事業に関する協定書締結

平成28年 第43回平成28年度 芸術部門 岡山市文化奨励賞受賞

受賞部門 「パブリックアートの再生」

佐藤智美 tomomi sato

1974 年 岡山県倉敷市生まれ

1997 年 岡山大学教育学部卒業



賞歴

- | | |
|---------------|--|
| 2001 年 | 第 13 回しんわ美術展 奨励賞受賞 |
| 2002 ～ 2004 年 | 第 14 ～ 16 回しんわ美術展 入選 |
| 2005 年 | 第 22 回 FUKUI サムホール美術展 奨励賞受賞
第 6 回熊谷守一大賞展 入選
第 17 回しんわ美術展 奨励賞受賞 |
| 2006 年 | 第 23 回 FUKUI サムホール美術展 佳作受賞 |
| 2011 年 | 第 4 回岡山県新進美術家育成 I 氏賞選考作品展 出品 (天神山文化プラザ) |
| 2014 年 | 第 7 回岡山県新進美術家育成 I 氏賞選考作品展 出品 (天神山文化プラザ) |
| 2017 年 | 第 34 回 FUKUI サムホール美術展 入選 |

個展／グループ展 他

- | | |
|--------|---|
| 2006 年 | 個展 (アートガーデン：岡山) 以後 '08 年まで毎年
個展 (岡山ルネスホール内 公文庫カフェ：岡山) |
| 2007 年 | アート・プログラム出品 (岡山市民病院：岡山) 同 '08 年
Suple ビルエントランスホール展示 (Suple：岡山)
グループ展「JAMIN」(Esprit Nouveau Gallery：岡山) 以後 '09 年まで毎年
個展 (GALLERY K：倉敷)
「アートの今 岡山 2007」(天神山文化プラザ他巡回：岡山) |
| 2009 年 | 個展「溶けゆく気配をいとおしんで」(奈義町現代美術館：奈義)
グループ展「織・画・陶 4 人展」(しをり：倉敷)
グループ展「SUGAR 5」(CAFE Z：岡山) |
| 2012 年 | 個展「ambience」(Esprit Nouveau Gallery：岡山)
個展 (川崎医科大学付属病院内 ホリスティックギャラリー：倉敷) |
| 2013 年 | 個展「移りゆく季節の途中」(Esprit Nouveau Gallery：岡山) 以後 '17 年まで毎年 |
| 2014 年 | 個展 (Esprit Nouveau Gallery：岡山) 以後 '18 年まで毎年 |
| 2015 年 | 個展「緑にそそぐ風」(Gallery Zephyrus：香川) 同 '16 年
まちなかアート再生チャリティ展 10×10 (天神山文化プラザ：岡山) |
| 2017 年 | グループ展「水の彩り」(岡アートギャラリー：岡山) 以後 '21 年まで毎年 |
| 2019 年 | 2 人展「Duo-2 澁」(Esprit Nouveau Gallery：岡山)
あかいわ ART RALLY (赤磐) |
| 2020 年 | グループ展「Exhibition 20×20」(淳風会健康管理センター内 SPACE VENERE：岡山)
個展 (Esprit Nouveau Gallery：岡山) 同 '21 年 |

パブリックコレクション 川崎医療福祉大学

一般社団法人 日本ライオンズ

第2回アラート全体会議 (WEB)

日時 2021 年 10 月 27 日水曜日 14 時から 16 時

場所 各 PC から接続 (WEB 会議接続システム Zoom 利用)

出欠 (○は出席)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 仁科 良三 (334-E 地区 長野みすず LC) ○

専務理事 村木 秀之 (330-A 地区 東京数寄屋橋 LC) ○

事務総長 菅原 雅雄 (330-A 地区 東京堀留 LC) ○

アラート委員長／副理事長 (MD333 議長／333 複合地区アラート委員)

山川 洋 (333-E 地区 牛久茎崎 LC) ○

各複合地区委員：

330 複合地区アラート委員 森川 明次郎 (330-C地区 坂戸 LC) ○

331 複合地区アラート委員 能澤 正明 (331-A地区 札幌トラスト LC) ○

332 複合地区アラート委員 木川田 明弘 (332-C地区 仙台大砂 LC) ○

334 複合地区アラート委員 荒尾 勝彦 (334-D地区 金沢城北 LC) ×

335 複合地区アラート委員 佐々木 健太 (335-B地区 吹田江坂 LC) ○

336 複合地区アラート委員 高岡 英治 (336-A地区 松山湯築 LC) ○

337 複合地区アラート委員 兼 副班長
石永 扶佐夫 (337-C地区 武雄 LC) ○

アラートチーム

アドバイザー 柿原 勝彦 (335-B地区 高槻 LC) ○

東日本統括リーダー 橋本 修一 (332-D地区 郡山東 LC) ○

西日本統括リーダー 坂本 恵市 (335-B地区 松原 LC) ○

アラート (正) 班長、(副) 班長

330	複合地区（正）班長	野村 起成（330-A地区 東京五反田LC）	○
	同（副）班長	石塚 丈雅（330-B地区 横浜LC）	×
	同（副）班長	浦中 竜太郎（330-C地区 埼玉レスキューLC）	×
331	複合地区（正）班長	浅野 敬一（331-B地区 北見中央LC）	○
	同（副）班長	新屋 雅良（331-A地区 札幌中島LC）	○
	同（副）班長	柳澤 豊（331-B地区 留萌みなとLC）	○
	同（副）班長	新岡 尚（331-C地区 室蘭東LC）	○
332	複合地区（正）班長	山下 里美（332-E地区 山形アルカディアLC）	×
	同（副）班長	木村 知紀（332-A地区 青森ZERO LC）	○
	同（副）班長	及川 三美（332-B地区 水沢中央LC）	○
	同（副）班長	大橋 博之（332-C地区 東松島LC）	○
	同（副）班長	箱崎 哲司（332-D地区 田村LC）	○
	同（副）班長	伊藤 剛（332-E地区 米沢松川LC）	○
	同（副）班長	草薙 孝悦（332-F地区 中仙LC）	×
333	複合地区（正）班長	若林 純也（333-E地区 水戸葵LC）	○
334	複合地区（正）班長	西村 和幸（334-D地区 鯖江王山LC）	○
335	複合地区（正）班長	藤之原美津子（335-A地区 明石魚住LC）	○
	同（副）班長	稲田 勝利（335-B地区 大阪桜之宮LC）	○
	同（副）班長	中千 潤一（335-C地区 京都ミレニアムLC）	○
	同（副）班長	東本 将文（335-D地区 姫路白鷺LC）	○
336	複合地区（正）班長	藤井 信英（336-A地区 岡山みらいLC）	○

出席 30

欠席 5

議事録の作成者 332 複合地区アラート委員 木川田明弘

署名人 アラート委員長 山川 洋

開会挨拶 東日本統括リーダー 橋本 修一

挨拶 日本ライオンズ理事長 仁科 良三

35 名のガバナーに会いに行く、331、336 終わり 3 分の 1 が終わった

8 つの委員会がありアラートはその中の 1 つ。

社協との連携をしていく。

挨拶 アラート委員長 山川 洋

337 の青木班長に案内が行っていなかったと謝罪。

私の 333 にアラートがなかったので作ることにした。

聴き取りしたところアラート委員会の言葉が独り歩きしている。誤解を生じ、問題である。

今期アラート委員会はスピード感をもって進めていきたい。

コロナなどもあり今後もハイブリッドでの開催を考えている。

被災地域での心得 3 で、写真でブイサインなどもまずいので訂正を加えた。

26. 59

審議及び報告

山川委員長より

社会福祉協議会との協定の締結状況が日本ライオンズに届いているか菅原事務総長に尋ねる。

菅原事務総長

全部は届いていない。

(1) 社会福祉協議会との協定締結状況

山川委員長

集まりが悪いので締め切りを今日まで延ばした。次回の会議で報告する。

県レベルでは行われているが実態レベルでは締結がなされていないのが実情。

各地域のアラートレベルでは対応していただきたいと思う。

集まりが非常に悪いので、複合事務局には、MD から準地区へ下ろしていただき、そこからガバナ

一、クラブへと下ろしていただくといった連絡網をしっかりと整備していきたい。

質問はありませんか

一同なし

(2) 運営規則等 14 条 2 の改正案について

山川委員長より発言

MD333 の佐々木アラート委員からプロトコールに関する提案がだされたので今後のたたき台にしていきたい。今日何か決めるというようなことはしない。

前森川アラート委員長からもしっかりした提言書のようなものを以前出されている。

それについては私も一部疑問符がある。

立ち位置をしっかりする、そのものは間違っていない。その中に LCIF や大学などのことも並列で話しがあった。

まずはアラート委員会の立ち位置をしっかりさせていくというのが第一義だと思うのでまずそこからやっていきたい。

(2) について今日は審議しない。削除します。

質問ありますか？

一同なし

MD335 佐々木委員からの説明（資料あり）

1. 日本ライオンズから被災地に行った場合、行った先であなたたちはどの立場で被災地に来ているの？といわれたり心無い言葉を言われたりする。

班長や副班長が国際協会側のプロトコールに入っていないので、日本ライオンズの人は何で来るの？と言われる。

何でこのような問題が出るのか？

複合の委員長はガバナー協議会の議長から委嘱状をもらう。準地区のアラート委員長は地区ガバナーから委嘱状をもらう。

日本ライオンズの班長と副班長は国際協会側ではプロトコール、役職がない。活動しやすくするためには、日本ライオンズの班長は複合地区のアラート副委員長として委嘱状をだしてもらってはどうか？

日本ライオンズの副班長は、複合地区アラート副委員にして委嘱状を出してもらってはどうか。いずれ日本ライオンズ側の役職と国際協会側の役職をリンクさせることができればキャビネット会議にも呼んでももらえるしガバ協の会議にも呼んでももらえるのではないかな。

2. 災害対策本部においてのルール（資料あり）

被災地には災害対策本部を置く、被災地でない地区には支援対策本部を置く、それぞれを 3 日以内に設置する。

その後レベル判定をする。1 なのか 2 なのか 3 なのか？レベル判定を誰がするか決まっていない。

日本ライオンズのアラート委員会でも今までは判定をしていない。

例えば武雄市の場合 337 の複合議長から 337-C 地区ガバナーへ、335 から複合の議長と班長が現地調査に来るので対応してくださいねと伝えていただくなりした上で伺うといったことが今までされていない。委員会だけで勝手に動いているというふうに思われている。

初動の手順をしっかりとさせていただきたい。

そのようなルールを決めてやったらどうか？

山川委員長

森川委員長意見をどうぞ

森川委員長

プロトコルの事で大学校やほかのことも入っていたということも確かです。仁科理事長、山川委員長に今期活躍していただきアラートだけでも適応できればと思います。

訂正したアラート規則の第2章災害支援という中に被災地支援本部を7日を目途に置くと書かれてあるのでその辺をいじって行けばよいのではと思う。

組織については各地区で組織の作り方が夫々違うので佐々木さんが言われるように最終着地点を目指すというのが良いのではないかと思います。

国際協会の方では地区ガバナーがその年度毎に変わるということもあるのでガバナーエレクトセミナーや研修などで浸透させていくということも必要かもしれない。

山川委員長

前年決まっていたことが今期はなされていないこともあるのもったいない。

今後、仁科理事長にしっかりと説明して決めていきたい。

3月までに緊急連絡網を作り組織運営をしていきたい。

331 浅野委員

331 地区、ガバナー諮問委員会、キャビネット会議など全部に呼んでもらっている。

331-Bでは北見市と協定してうまくいっていると思う。準地区のアラート副委員長に班長が入ったら良いのではないかという話があったと思う。アラート委員長というのは通常ガバナー1 副 2 副というのが多いと思うがその下につくということですから日本ライオンズの班長など、いらないのではないかと思う。であれば地区のアラート委員会の下に置いたほうが良いのではないかと思います。

2年ちょっと経ったこの会の進み方が遅すぎるのでスピードアップを図ってもらいたい。

1 : 04 : 07

山川委員長

浅野ライオン、全く違っているところはない。その通りです。同意見です。

浅野委員

名刺を作ってくれるのでしょうか？

菅原事務総長

委員の方たちには作っております。

山川委員長

名刺のことは少しお待ちください。組織が出来上がったら作りましょう。

浅野委員

わかりました。

災害レベル 1, 2, 3 はどのような判断で決めているのか？

山川委員長

日本ライオンズが勝手に決めることはできると思うが被災地の方たちの意見が一番だと思う。

私たちがどの程度のことができるのか、それが一番大事だと思う。

佐々木ライオンの意見としての提案であってこれを元に皆さんの意見を吸い上げていきたい。

浅野委員

わかりました。

山川委員長

他にありませんか。

木村副班長 332MD

佐々木ライオンの提案素晴らしいと思う。プロトコールも大事だがスキーム作りも大事だと思う。

今後これを元に進めていくのか？

また、役割も決めてほしい。

現地に行って何をやってよいかわからないので必要だと思う。

山川委員長

冒頭に言っている通りこれは参考資料です。佐々木ライオンも言っている通り中身は変えてよいと言っているので皆さんの意見を出してよいと思う。

今ここで決めるのではない。

次回まで皆さんの意見があればメールで私に下さい。

あと 2 回ぐらい時間をかけて 12 月中ぐらいまでには決めていきたい。

日本ライオンズ理事会での意見も伺いたい。

木村ライオンよろしいですか？

木村副班長
わかりました。

坂本エリアリーダー
佐々木ライオンの発案は良いと思う。
問題はプロトコールがないこと。
委員長は組織ができていないと言っているが、2年半やってきているし組織はできている。
ただ準地区、複合地区に信頼されていない。うやむやになっている。
日本ライオンズと国際協会と役職をリンクさせることが自ずとプロトコールが決まるので全複合、準地区にかぶせれば動きやすくなる。早く進めていければと思う。

山川委員長
8月の組織図の通り出来上がっていれば何も問題はないと思うがそうではない。機能していない。
私の考えは準地区のアラート委員長が班長または副委員長になればよいと思う。
佐々木委員の意見は拙速に決めるのではなく今後意見を出し合い進めていきたい。
年内に決めたい。
坂本委員長、意見いかがですか。

坂本エリアリーダー
わかりました。

山川委員長
木川田ライオンどうぞ。

木川田委員
表のことでお伺いしたい。
8番の準地区のアラート委員が副班長になるというのはわかるが班長は何番になるのですか？

山川委員長
MDから一人出てもらっている。
ガバ協で決めてもらえばよいと思う。

木川田委員
各準地区のアラート委員長が副班長になっていればキャビネット会議などの構成員になるので発言もできる。班長で構成員になっていない班長がいる場合ガバナーに日本ライオンズから采配していただくとスムーズではないかと思う。

佐々木委員

木川田委員の質問にお答えしたい。

複合地区の委員長が社団に行くと MD の委員になっているので、社団の班長というのが複合地区で議長から委嘱状が出ている所と出ていないところがある。浅野班長から北海道では第一副地区ガバナーが副委員長をされているとかの話があったので各複合地区で役職が違う。

私が出した案はたたき台です。班長について国際協会での役職がない。日本ライオンズの役職は国際協会では関係がないよという声を出した人も過去にはいる。そうであればアラート副委員長という役職を新設して班長が複合地区の中では副委員長という役職を持てばどうかというご提案です。

日本全国で役職名など整理して一緒に着地してはどうか？

今いる方を削除するとかではない。

日本ライオンズ側の役職で動くのではなく国際協会側で役職を作ってもらえば複合地区でもガバ協に呼んでもらえる。

今回副班長を各地区のガバナーに推薦してもらおうということになりましたので、ガバナーから委嘱状をもらえる。プロとコールは今回招集した副班長は準地区のアラート委員長の下でよいのではないかと思う。

違った意見が出れば皆さんの意見を肉付けしてもらって結構です。削除する部分は削除して結構です。

できれば、11月の委員会までに委員長と班長の皆さんから意見を出してもらってはどうか。

山川委員長

はい、それをお願いするつもりでおります。

皆さんの意見に大きな齟齬はないと思う。

準地区の委員長が MD の副班長として名を連ねていただく、それとは別に MD の中で班長を作っていただくということを提案していきたい。皆で決めていきたい。

佐々木委員

山川委員長が理事長と協議していただき委員長から委嘱状を出してもらいたい。

山川委員長

今日はそういう決め事はしません。

14条の2項に副班長は委員長が任命すると明確に書いてある。日本ライオンズの理事長がすべての委嘱をするというのは変えていかないといけない。

佐々木委員

わかりました。

山川委員長
他に何かありますか？

一同なし

審議事項はこれで終了したい。

若林班長
この後、残り 30 分でアラート委員会報告、意見交換をしたい。
1 人 2 分で。順番に指名していく。

330 森川委員
社協との協定集計は届いていると思う。緊急連絡網について次回の委員会でたたき台を検討することになっている。委員会開催次第、報告させていただきます。
11/19 委員会開催日。

331 能澤ライオン
社協のとの協定を進めることが大事。
2 年間堂々巡りの会議だ。
執行部案を年内に作っていただきたい。
報告書が来ていないとのことだったが 10/13 に提出している。

332 木川田
10/8 に複合事務局から提出済みであるので確認していただきたい。
台風 19 号の際に丸森の社協とも十分密に進めさせていただいた。
社協との協定を結ぶことが重要ではないと思う。地区地区によって付き合い方がある。丸森の社協ともまだ締結しておりませんし、それでも十分情報を取り合っとうまくやっている。

334 荒尾ライオン
MD334 5 つの準地区があり 4 つは協定を締結済みで 1 つは 11 月に締結する予定です。
地区内については 25～6 パーセントの締結状況です。ガバ協で副班長決める予定です。
アンケートを取ったところなぜ単一クラブと社協との締結が必要なのか理解できていないクラブが沢山あった。

335 佐々木委員
29 日に複合のアラート委員会を行う。大きな都市では協定の締結が進んでいるが今後準地区ではどのように進んでいくかわからない。

336 高岡委員

MDのアラート委員長が委員になってという組織は出来上がっている。副委員長は2名置いている。7番の委員補佐が要るかというより実働部隊の方がよいと思う。MDと社協との協定はほとんどできている。四国は4県終わっている。今回副班長を出していない。明日ガバ協があるので決定したい。

337 石永委員

皆様から佐賀に支援をいただきありがとうございました。現在復興中です。

社協との協定は県社協とは進みつつある。各市町村とはどこまで入っていけるかの段階です。複合の委員長としてまたは日本ライオンズの副班長としてやってきたが、そうした動きがまるでできていなかった。

ガバナーから日本ライオンズに要請が行かなかったところがあってそれ以上は入っていけなかった。

日本ライオンズに委員長や副委員長、またはエリアリーダーとかいらっしゃるので、どれだけガバナーと連携して入っていけるかというところを話し合ってほしい。

333 山川委員長

先ほど報告したようにアラート委員会がなかったので作った。来季からです。

準地区のアラート委員長が副班長になるのであれば組織図の中にその部分の枠を作らなければいけないのでガバ協の中で話し合っていきたい。

司会 333 若林班長

残り12分で意見交換をしたい。フリートーク形式。

若林班長より

森川ライオンお願いします。

森川委員

能澤ライオンそして山川委員長からもお話がありましたが組織が確定したことが不明瞭なようにお話されていましたが前期社員総会においてアラート規則を制定している。

決議として実行してもらいたい。社員総会で決議したということはガバナー全員が承認したことになる。組織を変えるということであれば社員総会で変えなければならない。

それぞれの地域の中でこれを参考にして地域に合ったものを最終的に着地地点を同じにすることはいいこと。しかし今制定してある規則を運用しながらやっていただくべき。

地域地域によってすべてに当てはめるのは困難だと思います。

1 : 52 : 36

司会 若林班長
石永委員どうぞ

石永委員

青木ライオンが来れなかったと委員長が冒頭に話をされていた。337 の複合からの報告では日本ライオンズ立ち上げの時に日本ライオンズから班長の指名があった。年度途中だったので複合のメンバーには入っていなかった。

前年度ガバ協でも班長が複合地区の構成員と重複していただくということで青木班長は複合のメンバーに入っていたと思います。

今期はどこからも指名や指示がなかったので MD337 は班長副班長はなしの状態ですと複合から返事が返ってきた。議長には説明がしてあったと思うが。かみ砕けていなかったというわけで現在そのようになっているのではないかと思います。その辺のところを西の統括リーダーか委員長の方から議長の方へ出していただければと思います。以上です。

司会 若林班長
野村ライオンお願いします。

330 野村班長

難しいことはわからないが石永ライオンがおっしゃったことがすべてであります。班長が仕事をしようとしたときに日本ライオンズがガバナーに対してどのような要請をしてくれるのか。班長は孤立無援だ。

330A の中では今期のガバナー期で必ず社協との締結をやりましょうと言ってもガバナーがそんなことをやってなにになると簡単に言われて、そういう場合日本ライオンズから話してもらえるものなのか？その時のガバナーの専権事項で従うしかない。班長は何もすることができない、板挟みと孤立無援が続いている。

準地区と日本ライオンズは絡んでいないので後任を出すにもどのような人を推薦したらよいのか悩んでしまう。

エリアが西と東と分かれているので橋本リーダーとも 1 回お会いしただけで、できればリーダーが我々を集めてこういう会議の前に ZOOM 会議などで話をまとめてから全体会議に臨んだほうが良いのではないと思う。班長副班長が孤立無援にならないよう委員長に考えてほしい。

司会若林班長
木川田ライオンどうぞ

木川田委員

今 330 の野村さんのお話の中で社協との協定が必要だということを理解しないガバナーがいますとおっしゃっていました。実は私も社協との協定が重要では名井のではないかと発言した。それは、日本ライオンズと社協の上部の方で協定を結んでいるので各地区に合わせて判断したほうが良

いのではないかという意味で申しあげたので誤解のないようにお願いします。

もう一つ静岡県熱海市における土砂災害被災者支援金口座開設のお知らせのお願い文書の中で、適性使用されて余ったお金を次の災害に備えるために日本ライオンズが預かりますというくだりがある。これは地区に送った支援金ですので一個人が送ったお金も地区で使われる思っているんで、そこでは使われなくて次の災害で使われるんだといわれても理解に苦しむ。その地区で使うのが良いと思うが見解を聞きたい。

司会 若林班長

使い切りは良いと思うがしょうもないものに使われても困る。

木川田委員

そんなことを言っているのではなくもっと必要なものが有るのではないかとやっている

司会 若林班長

支援金残金の使途については時間もあるので次の機会にということで
森川委員どうぞ

森川委員

前回お話をされていると思いますが記憶が落ちているのかもしれないけど、334 の藤井ガバナーとも話をさせてもらった。使いきりは使い切りでよろしいと思うが端数が出る、多額に集まった場合に使いきれない場合がある。台風 14 号 15 号の時とか熊本とか資金が余ってしまった。その地区に残すやりかたもあると思う。本来目的外使用とかは認められないと思うが、急に災害が起こった場合、視察に行くにもお金がかかるし、選抜して支援する場合や派遣する費用とかトラックなどの費用も一時的に必要となるお金があるのでそういうお金のストックが必用だと思う。一般社団法人は会計処理がしっかりしているので適正に管理できる。各地の災害で使いきってしまうばそれぞれで結構だと思う。

山川委員長

本日の会議は 15 分延長し 4 : 15 までとします。

森川前委員長のお話のとおり組織図そのものは前期承認されているが私が数カ月担当したところこの組織ではとても動いていかない。作ったことは作ったがこの組織では機能しないと思う。来期に繋げていくためにはもう少ししっかりした理想形の組織を作り上げていかなければならないと思う。

司会 若林

木川田委員どうぞ

先ほどの話の続きになるが先日青森県むつ市の方で地域復興支援金を LCIF に申請したところ却

下された。そこで災害に充てようとした支援金などが少ない、足りない、そして LCIF にも断られた地区があったとすると目的外使用になるかも知れないが静岡の災害のものをむつ市に振り替えることはできるか。

山川委員長

今お答えしません。この辺のところはしっかり整理したいと思う。目的外使用は絶対駄目だと思う。資金をプールすることを皆さんが承認されて別の災害が起きた時に使用することは問題がないと思う。

司会 若林班長

支援金の集め方にもよると思うので精査します。

柿原アドバイザーどうぞ

さきほど能澤ライオンの方からの話で、35 のそれぞれのガバナーがアラート委員会に対する意識が薄いのではないかと思う。今年で 3 年目になるがそれぞれの温度差がかなりある。アラート委員会の活動を 35 のガバナーに説明することが必用。

司会 若林班長

総評を賜りたいと思う。

村木専務お願いします。

村木専務

2 時間を超える中身のある会議だったと思う。

日本ライオンズのアラート委員会ということで各複合地区議長、各地区のガバナーをどんどん動かして日本ライオンズが一つの形になって進めて行くということが見えてきたような気がする。年内あと 2 回の会議をよろしくお願いします。

次回の会議

11/30 火曜日 2:00-4:00 の予定

Web で開催

司会 若林班長

閉会の挨拶をよろしくお願いします。

西日本統括リーダー

坂本ライオン

坂本西日本統括リーダー

堂々巡りの認識もあるが MD337 の青木班長に関してはリーダーとガバナーと議長ときちっと引き継ぎをしてもらいたいということで閉会のご挨拶としたい。

2021-2022 年度
一般社団法人日本ライオンズ
第 3 回アラート全体会議 (WEB) 議事録

日 時 2021 年 11 月 30 日 (月) 14:00～16:00
場 所 各 PC から接続 (WEB 会議接続システム Zoom 利用)
出席者 アラート委員会委員長、各複合地区委員、
アラート・チーム アドバイザー及び東日本／西日本統括リーダー、
各複合地区班長 (正／副) 及びオブザーバー

議事録作成者は MD331 委員 L 能澤正明

MD332 副班長 L 木村の進行により開始。

山川委員長より会議の次第、資料が用意できなかったことに対しお詫びがあり、引き続き挨拶の中で当委員会の議題を説明。

本日の議題： 1) 組織図と緊急連絡網

2) 会議の開催方式

今後の議題： 1) ローカルプロトコルの会則委員会への答申

2) 社会福祉協議会との連携協定

審 議 (下線部分は承認事項とする。)

1) 組織図と緊急連絡網

◇副班長：

日本ライオンズのアラート委員会には、東西の統括リーダーがおり、複合地区の委員長がアラート委員、1 名班長、そして基本的には準地区の委員長並びに複合や準地区から指名された方が副班長として名前を連ねることとする。

また、上記の組織であれば、班長、副班長は複合地区、準地区の組織にしっかり組み込まれているので、プロトコルの視点からは、統括リーダーのプロトコルだけを議論すれば足りるのではないか。

◇班長：

・過去のアラートの際に活動した実働経験の豊富な人。但し、日本ライオンズ側の役職と複合地区側の役職をリンクさせる為に複合地区もしくは準地区の役職をどうするのかの議論が必要。

・副班長の中からリーダー的な複合地区のとりまとめ役として班長を 1 名決めてはど

うか。

・副班長は基本的に地区の委員長なので、班長とは人選の際の根拠から違う。班長は地区委員長すなわち副班長を統括出来る人材であるべき。

・この委員会発足から今日に至るまで班長の使命は被災地支援活動の経験がある方という意味のもとで人選されている。班長は支援活動の際にアドバイザーの役割を担うように現在の組織は出来ている。そうすると副班長もコーディネーターとしての役割を担い、地区委員長の上に副班長が存在する、つまり、上から班長・複合地区委員長・副班長・地区委員長となるように将来的に変えてはいかかがか。

現会則委員会の委員長と、委員で以前にアラート委員長をされたライオンからも、国際公認プロトコールの中には「班長」や副・は一切無いので、班長の名称もコーディネーター等に変えていく必要があると聞いている。

準地区委員長を経験し、その後コーディネーター（今の副班長）になり、更に複合地区委員長になり、いずれコーディネーターとしてアラート委員会を支える存在となれば、班長って？副班長って？という質問も無くなる。統括リーダーもアドバイザーのような公認プロトコールにある役職名に変えていくことを提案したい。

・スタート時、班長はガバナー経験者が望ましいという事で、8名の内3～4人がガバナー経験者だった。体系づけて指示が出来る、リーダーシップが取れるということでガバナー経験者が望ましいという話があった。

・その意見には懐疑的である。ガバナー経験者が班長になったが、アラートを全く知らず大きな問題になった。むしろ実行部隊として被災地での経験がある人が成るべきと思う。また、そこに限定すると人材が揃わないのではないか。

・ガバナー経験者がリーダーシップを取れるという意味では賛成。被災地で災害対策本部を構える場合ガバナーが本部長になり、実際活動するのは準地区の組織である。その中で複合地区の委員長として出来る事は、段取りが分からない時の相談役、また他地区との橋渡しの役目などであり、まさしくアドバイザー、コーディネーター的な存在である。12月までに改定した組織の資料を提案させてもらう。先ほど、2年前から議論の内容が変わっていないという話があったが、一つの事が決定したら、完全にペーパー化し、例えば「アラートブック」を作り、初めてこの委員会に入った人が先ず目を通して基礎知識を付けてから会議に臨むことを可能にしたい。

・班長は、アラート委員長と統括リーダーが相談の上指名、推薦、理事長が承認することで、各複合地区に一名班長を置く。班長はガバナー経験者。

・東西の統括リーダー、アドバイザーに関しては、今期の方が来期の方を決めて理事

長とアラート委員長に検討いただき、指名をお願いしたい。今期のアドバイザーとリーダーにも何らかの形でお願いしたい。

・今期で決めたことを来期に繋げるというのはライオンズのやり方としては相応しくないが、スピード感を上げるために今期中に決められるようにしたい。

組織図は前回と同じもので決定する。

・緊急連絡網の作成はMD335 委員 L 佐々木が担当する。

案として、準地区、複合地区を通じて日本ライオンズに情報が入る連絡網。

地区は、①クラブ、②ゾーンとリジョン、③キャビネット役員（三役、アラート委員会）の3段階。

複合地区は、議長、ガバナー、複合地区アラート委員長、準地区のアラート委員長。全日本はメンバーが多すぎるので、アラート委員長一委員一班長のグループに理事長にも入っていただく。

以上のように階段式の LINE 連絡網とする。

※全員が、役職と所属クラブを入れて、LINE の QR コードを L 佐々木に送る。

2) 会議の開催方式

・アラート委員会の人数が増え、東日本、西日本で分けて会議を行うという案が出ていることに触れ、委員長としては東西揃って一度に話し合いをしたいという意見への反論は無く、従来通り全体会議で進めていくことで了承した。

12月ウェブ、1月からはハイブリッドで開催する予定。

3) その他

本日の議題から離れ「アラート・ビジネス」についての意見交換をした。

・被災地に勝手に来て、勝手に物品を納めて請求書を置いて帰って行ったという話があるが、現実是有料でいいから手配して欲しいというケースもある。

・どうしても現地で段取りが出来ない物資に関しては発信し、送って貰ったり助けて貰ったりするが、途中でダンピングしているから支援金がこんなに少ないなどと言われた。実際は支援金口座が複数あり、分散しているせいで全体が把握できていない状況であった。

・お金が動くので有らぬ疑いを掛けられる。二重三重のチェック体制が必要。

・これも災害対策本部の設置ルールの問題である。発災から3日以内に受援対策本部と支援対策本部を同時に立ち上げ、その間で紙ベースやメールで証拠を残しながら支援をしていけば、このような問題は解決できる。会計担当、物資を受ける係、配給を

する係、物資の在庫管理係、のように複数の人で運営し、対策本部で指揮を振るっている人を一人にしないという事がアラート活動の中で最も重要である。

・アラート委員会の組織の確立がこの問題を解決する。準地区のアラート委員長が副班長となりこの組織に入れば、地区ガバナーとつながるパイプ役となり、地区ガバナーが情報を掌握できるようになり、誤解が生じない。日本には単独で支援活動しているクラブが沢山ある。そのメンバーがこちらを向くようなピカッと光る委員会になれば良いと思う。

質疑応答

質問：前回の会議議事録を作成したが、問題はなかったか？

回答：委員長と理事長が承認し、問題が無いので各役員、事務局に配信した。

質問：事務局があるのに、アラート委員が議事録を作らなければならないのは、事務局では作れないからなのか？

回答：日本ライオンズは今人手が足りない状況になっている。それを例えば複合事務局に依頼すると、一人事務局を入れてくださいという事になり、経費削減にならない。申し訳ないが奉仕活動の一環と捉えて各委員で担当して欲しい。

議事終了

仁科理事長より、出席者への感謝と、災害が起きた時にドローンを利用し被災地の視察や備蓄庫から物資を運ぶという構想を含め、アラート委員会が議論を重ねより良いものになるよう頑張っていたきたいという挨拶があった。

柿原アドバイザーは、現在のアラート委員会の成立ちのお話、次の人材を育てるという意味での組織作りへの希望、しっかりした組織が出来ることによる様々な問題の払拭、最後に仁科理事長の手腕への期待を述べ総括とした。

山川委員長より、組織図作成のために各複合地区で変更があれば、至急連絡をいただきたい。本日は良い議論ができ、良い会議となった。動きやすい組織、いざというとき頼りになる組織を作っていくための協力をお願いし最後の挨拶とした。

MD332 班長 L 木村より、次回の会議〔12月20日（月）14：00-16：00〕の確認をし、会議を閉会した。

2021～2022 年度
一般社団法人日本ライオンズ 第 4 回アラート全体会議 議事録 【内部用】
日 時：2021 年 12 月 20 日（月）14:00～16:00 形 式：WEB（Zoom）

出 欠 出席者：36 名 欠席者：5 名

[一般社団法人日本ライオンズ]		
理事長（334-E 地区 長野みすず LC）	仁科 良三	○
副理事長 アラート委員会委員長 333 複合地区アラート委員（333-E 地区 牛久茎崎 LC）	山川 洋	○
専務理事（330-A 地区 東京数寄屋橋 LC）	村木 秀之	○
[各複合地区委員]		
330 複合地区アラート委員（330-C 地区 坂戸 LC）	森川 明治郎	○
331 複合地区アラート委員（331-A 地区 札幌トラスト LC）	能澤 正明	○
332 複合地区アラート委員（332-C 地区 仙台高砂 LC）	木川田 明弘	○
334 複合地区アラート委員（334-D 地区 金沢城北 LC）	荒尾 勝彦	○
335 複合地区アラート委員（335-B 地区 吹田江坂 LC）	佐々木 健太	○
336 複合地区アラート委員（336-A 地区 松山湯築 LC）	高岡 英治	○
337 複合地区アラート委員兼副班長（337-C 地区 武雄 LC）	石永 扶佐夫	○
[アラートチーム]		
アドバイザー（335-B 地区 高槻 LC）	柿原 勝彦	○
東日本統括リーダー（332-D 地区 郡山 LC）	橋本 修一	○
西日本統括リーダー（335-B 地区 松原 LC）	坂本 恵市	○
[各複合地区アラート班長・副班長]		
330 複合地区班長（330-A 地区 東京五反田 LC）	野村 起成	○
330 複合地区副班長（330-B 地区 横浜 LC）	石塚 丈雅	○
330 複合地区副班長（330-C 地区 埼玉レスキュー LC）	浦中 竜太郎	○
331 複合地区班長（331-B 地区 北見中央 LC）	浅野 敬一	○
331 複合地区副班長（331-A 地区 札幌中島 LC）	新屋 雅良	○
331 複合地区副班長（331-B 地区 留萌みなと LC）	柳澤 豊	欠
331 複合地区副班長（331-C 地区 室蘭東 LC）	新岡 尚	欠
332 複合地区班長（332-E 地区 山形アルカディア LC）	山下 里美	○
332 複合地区副班長（332-A 地区 青森 ZERO LC）	木村 知紀	○
332 複合地区副班長（332-B 地区 水沢中央 LC）	及川 三美	○
332 複合地区副班長（332-C 地区 東松島 LC）	大橋 博之	○
332 複合地区副班長（332-D 地区 田村 LC）	箱崎 哲司	欠
332 複合地区副班長（332-E 地区 米沢松川 LC）	伊藤 剛	○
332 複合地区副班長（332-F 地区 中仙 LC）	草薙 孝悦	欠
333 複合地区班長（333-E 地区 水戸葵 LC）	若林 純也	○
333 複合地区副班長（333-E 地区 牛久茎崎 LC）	桜井 政利	○
334 複合地区班長（334-D 地区 鯖江王山 LC）	西村 和之	欠
335 複合地区班長（335-A 地区 明石魚住 LC）	藤之原 美津子	○
335 複合地区副班長（335-B 地区 大阪桜之宮 LC）	稲田 勝利	○
335 複合地区副班長（335-C 地区 京都ミレニアム LC）	中千 潤一	○
335 複合地区副班長（335-D 地区 姫路白鷺 LC）	東本 将文	○
336 複合地区班長（336-B 地区 岡山みらい LC）	藤井 信英	○
336 複合地区副班長（336-A 地区 高松空港 LC）	田中 元	○
336 複合地区副班長（336-B 地区 岡山みらい LC）	井上 哲孝	○
336 複合地区副班長（336-C 地区 福山あい LC）	細川 晃	○
336 複合地区副班長（336-D 地区 安来 LC）	吉村 あとむ	○
337 複合地区班長（337-D 地区 鹿児島谷山 LC）	青木 和彦	○
[一般社団法人日本ライオンズ 事務局]		
事務総長（330-A 地区 東京堀留 LC）	菅原 雅雄	○

1. 開会挨拶

アラートチーム東日本統括リーダー	L 橋本 修一
------------------	---------

師走の忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。世界各地で大災害が発生しており、自然の猛威を前にして人間は無力であると感じる。本日は慎重審議をお願いしたい。

2. 出席者確認と議事録作成・署名人の確認

司会：MD333 アラート委員会班長	L 若林 純也
--------------------	---------

- ・ 出欠確認が行われた。
- ・ 議事録作成人は 336 複合地区高岡委員であることが確認された。
- ・ 議事録署名人は山川委員長であることが確認された。

3. 理事長挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長	L 仁科 良三
------------------	---------

アメリカ南部ケンタッキー州に甚大な被害をもたらした竜巻については、日本のライオンズが一体となり LCIF からの要請に応えたい。各複合地区に持ち帰っていただき年内を目途にご支援をお願いしたい。
前回の会議で率直なご意見をいただき誤解も解けた。奉仕の趣旨に合うよう山川委員長のリーダーシップのもとでやっていきたい。

4. 委員長挨拶

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長	L 山川 洋
-------------------------	--------

災害支援金について

12 月 16 日付けで「緊急 米国ケンタッキー州竜巻被害への支援について」一人当たり 1000 円のご支援をいただきたい旨の文書を発信した。また、フィリピンを台風 22 号が直撃しこちらにも大災害をもたらしている。まだ LCIF からの要請はないが個人的にはケンタッキー州竜巻被害支援金の一部をこちらに充てたいと考える。いずれにしても執行理事会にて議論を行う必要がある。すでに 35 地区ガバナーには一人当たり 1000 円のご支援をなんとしてもお願いしたい旨話をした。

333-E 地区ではオリパラ事業分から約 600 万円返金される。メンバー数 4200 人で計算し、約 480 万円を一括拠出する話をガバナーからいただいた。
まず各準地区単位で立て替えていただき、その額をクラブから集めていただくかたちが望ましいと考えるが各準地区へ一任する。

アラート有志メンバー懇親会について

先日茨城県つくば市にて意見交換懇親会を開催し大変有意義な時間を過ごした。

組織図と LINE 緊急連絡網完成について

皆様のご協力のおかげで目標とした 12 月中に組織図を更新することが出来た。MD334 の副班長が未決定である。1 名は出来れば選出していただきたい。また、MD335 佐々木委員のお陰で素晴らしい LINE 緊急連絡網が完成した。これらを今後更にブラッシュアップさせ、発災時、迅速果敢かつ応変な対応がとれるよう活用したい。

アラート委員会役職名称について

公認プロトコールと整合をとることを希望するが、会則委員会への諮問、執行理事会での承認等段階を踏む必要がある。

運営規則の任期について

1 年任期であるが、“3 年の再任を妨げない”という文言を加筆し短期間で担当が交代するのではなく、経験者によって構築された持続的な組織が望ましいと考える。

5. 審議および報告

(1)組織図の確認

出席者全員で組織図を確認した。
 山川委員長より MD334 の副班長選任について質問があった。
 ⇒MD334 荒尾委員（西村班長代理）より来年決定した後に伝えるとの回答があった。

(2)緊急連絡網の確認

アラート委員会メンバーは全員 LINE グループに登録済。
 仁科理事長より LINE の情報漏洩対策について話があり、下記の設定を必ず行うようにとの話があった。

【ラインアプリ最新版(バージョン 11.22.2)の場合】

(※ラインアプリは頻繁にアップデートされるのでその都度要更新)

設定手順

「ホーム」⇒「 右上歯車アイコン」⇒「プライバシー管理」⇒
 「アプリから情報アクセス」⇒「拒否」に☒を入れる

(3)運営規則選任及び任期について

仁科理事長と山川委員長より下記話があった。
 2020 年 11 月 27 日に決定（発行）している。
 「1 年任期とする」※但し、3 年の再任を妨げない
 今期を含めて残り 2 年間で現在のアラート委員会メンバーで活動する期間となる。

(4)プロトコールについて

MD335 佐々木委員より資料に基づいて下記提案としての話と、今後議論を重ねる必要がある旨話があった。

【資料：プロトコール問題解決・委員会活動円滑化のための新組織図の提案】

- ・“班長”や“副”を意味する役職については現在の国際公認プロトコールには存在せず、一般社団法人日本ライオンズの役職名に過ぎない。
- ・“副班長”はガバナーの指名による選任であるので委嘱状が交付されるべきである。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会は発足から約 3 年が経過
 今後、この組織図を洗練させ完成度を高めるためには？

- ・前年度準地区アラート委員長を経験した方がその翌年にコーディネーターの役職で留任することで、豪雨災害が集中する 6～8 月（※ライオンズクラブの期末・期首の境目時期）、発災時の支援・受援体制がスムーズにとれるのではないかと考える。
- ・役職名称変更案については 335-B 地区では次期ガバナー予定者に理解をいただいております、MD 335 内他地区でも賛成いただけるよう依頼をしています。
- ・役職名称は一般社団法人日本ライオンズアラート委員会における役職名ともリンクさせる。

役職名称の変更（案）

現行	変更	変更後の名称 ※国際公認プロトコールと整合
アドバイザー	無	
東・西日本エリア統括リーダー	有	エリアコーディネーター
各 MD 班長	有	コーディネーター

山川委員長よりアラート関連役職名称を全て変更するためには会則の見直しを経た上で一般社団法人日本ライオンズ執行理事会での承認が必要であるとの話があった。

山川委員長より現在一般社団法人日本ライオンズアラート委員会の各 MD 委員は、各 MD アラート委員会委員長であるはずだが異なる地区はあるかとの質問があった。
⇒いずれの地区も兼務。

MD335 佐々木委員より下記説明があった。

- ・“班長”という役職名称が国際公認プロトコールに含まれていないことについての議論である。

[例：MD335 のケース]

アラート班長：藤之原 美津子氏 アラート委員長：佐々木 健太氏

⇒（案として）来期“コーディネーター”としての役を 2 人とも担うことが可能。

理由：担当をした経験から災害支援のノウハウを持っている為。

- ・準地区で活躍されている方が仮に MD アラート委員長に任命された際、その委員長のサポート役として“コーディネーター”の役職を MD の組織に設置するべきではないかという提案である。
- ・“班長”は日本ライオンズアラート委員会の中で発災時の支援・受援体制についてスキルを備えている“実働班”にあたる重要な役職であるが、国際公認プロトコールに含まれていないので“班長”の役職名称を“コーディネーター”へ変更していただきたいという趣旨である。
- ・“東日本エリア統括リーダー”“西日本エリア統括リーダー”の役職も国際公認プロトコールには含まれていないので同様に“エリアコーディネーター”へ名称変更していただきたい。

山川委員長より下記話があった。

- ・国際公認プロトコールに合わせる方向で進めたい。

- ・MD 各チームコーディネーターと委員会委員長は FWT を除きガバナー経験者が担当している。
⇒“班長”の役職名称を“コーディネーター”へ変更すると、各委員会委員長を担当しているガバナー経験者よりプロトコール順位が上になってしまう。

- ・ガバナー経験者に限り各委員会委員長やコーディネーターの役職に就けるとするのはローカルルールに過ぎない。

MD335 佐々木委員より下記話があった。

- ・本件については、一般社団法人日本ライオンズアラート委員会の見解かつ方向性、また 8 複合地区それぞれの事情を考慮して整備をすすめたい。
- ・仮に「アラート委員会コーディネーター」という役職はガバナー経験者に限り担当可能」とする複合地区があれば、まずその方にメンバーとして加わっていただき勉強していただくかたちでもよい。

山川委員長より下記話があった。

- ・一般社団法人日本ライオンズアラート委員会を恒久的なものとしたいので、アラートに特化し経験を持つエキスパート集団が適任であり理想である。
- ・来期誰が一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長になったとしても発災時に迅速果敢な活動が可能となるよう今期中には何としても将来を見据えた組織を構築したい。

MD330 森川委員より下記話があった。

- ・“アドバイザー”を含め、役職名称の構成が国際公認プロトコールとそぐわない部分が問題点であるが、整合性をとる為にぜひ取り組んでいただきたい課題である。
- ・一般社団法人日本ライオンズアラート委員会に“コーディネーター”の役職制度を導入することに関して現行組織におけるローカルルールに固執する必要はないと考える。“アドバイザー”等の役職を廃止してでも国際公認プロトコールと足並みを揃えるべきである。
- ・各準地区ごとでキャビネットの運営方法が異なる。例えば YCE ではガバナー経験者より YCE 経験者を優遇して委員長が決められるケースが比較的多いと見受ける。この制度を見習うのも 1 つの方法である。これらを考えると元ガバナー経験者にとられる必要はないと考える。

- ・会則を改正する為の具体的な提案を今期中にとりまとめ第４回社員総会で承認をとる段取りとして、まず第３回社員総会で素案を提出しガバナー各位へ意見聴取を行っていただきたい。その上で修正した内容を第４回社員総会へ提出する流れでなければ会則の改正は難航が予想される。

山川委員長より下記話があった。

- ・複合地区役職に関してもガバナー経験者でなければ委員長やコーディネーターの役に就けないという内規は必要ないと感じる。いずれの委員会であってもその分野に精通している方が適任であるとする。ローカルルールであるので改正は可能である。

MD332 木村副班長より下記話があった。

- ・社会福祉協議会との勉強会に参加した際に高度な活動を要求されたと感じる。対応出来るスキルを身につけたメンバーでないと絵に描いた餅に終わる。現場では何も活動のないまま帰るケースもある。これからは社協に限らず他団体ともタイアップして支援のクオリティを上げる必要がある。
- ・“実活動経験者”を軸とすることは、アラート委員会の基本中の基本の話である。把握出来ない方が被災地に出向いたところで結果迷惑をかけるだけで協定も無駄になる。誰をどこに配置するかがキーポイントとなる。MD アラート委員長が必ずしもアラート活動を熟知精通してイニシアチブを握って動ける方ばかりではない。班長をサポートするのがMD アラート委員長であると解釈している。
- ・“班長”は実際に被災現場での活動経験に携わった方が多く、自ら活動を“コーディネート”出来るスキルがあるためキーマンとなる。先導役が多いと指示される側に混乱をきたす。
- ・副班長が準地区アラート委員長となる構成は理にかなっている。これによりガバナーとの意思疎通もスムーズになるはずである。

MD331 能澤委員より下記話があった。

- ・ガバナーを経験し班長を２年半、今期委員を担当している。協定締結に関して知事や市長、地区メンバーへの説明が必要となる。ガバナー経験者云々よりも対外的に恥をかかない為説得力のある話が出来ると役が務まらない。
- ・班長の任期は２～３年以上が望ましい。社協や地域社会に対して責任をもつという視点から考えるとアラート活動経験者によるバックアップフォロー体制での組織構築が必須である。

山川委員長より総意に基づいて来年早々には決めたいとの話があった。

MD333 若林班長（司会者）より進行の都合上話を一旦締めるとの話があった。

- (5)その他
※割愛された。

6. アラート委員報告

MD330 森川委員

準地区を含めた MD330 内の組織図の確定を行った。比較的災害の少ない地域であるので特に支援体制を念頭に置いている。また、組織の整備とアラートの活動に対する一般メンバーの理解を深めることに着眼して残り半期を進める。

MD331 能澤委員

アラート委員会はガバナー協議会開催時間の２時間前に議長出席の下で開催しており、役員連絡会議の場で運営状況とあり方について発表を行っている。また、１月１４日に札幌市との協定締結の為市長を訪問する。

MD332 木川田委員

１２月８日に秋田でガバナー協議会役員連絡会議が開催され、この直前に山下班長、橋本東日本エ

リアリーダー、木村副班長と会議を開催し、主にアラートフォーラムの開催について話をした。詳細はスケジュール等含め来年になって詰める予定である。また、本日の議題にもなったローカルプロトコルの問題については一掃するべきである。アラートについて精通しており説得力ある話が出る方に担っていただくべきだと考える。

MD333 山川委員
割愛

MD334 荒尾委員
来年に入って副班長選任も含め委員会のあり方について話し合いをする予定。
また、プロトコルやアラートコーディネーターの役職名称については一般社団法人日本ライオンズで決めるのか、国際協会の組織の1つとして考えるのか混同を回避する為にも再考が必要である。また、誰しもがアラート活動の経験者ではないので、初心者用に発災時の対応や組織、目的について記載したハンドブックを作成するべきである。
なお、元ガバナーが複合地区委員会委員長となるルールについても今一度各複合地区でコンセンサスをとるべきである。

MD335 佐々木委員
年間上下期3回ずつ計6回で予定を組んでいるMDアラート委員会であるが、今日までに3回開催した。第2回委員会には335-A地区ガバナー、第3回には335-C地区ガバナーにもオブザーバーとして出席いただいた。下期には335-B,D地区ガバナーにも出席いただき、上期同様に活動報告と準地区においてご協力をいただきたい部分についてご依頼する予定。
また、5月の複合地区年次大会の前に、今期と来期アラート委員会メンバー予定者で引継ぎ会を実施する予定。
プロトコル問題含め、MD内皆様にご相談しながら諸々手探りの中すすめているが、今後、8MDの皆様からも忌憚のないご意見をいただき、修正が必要だと思われる部分については見直しを行いたい。

MD336 高岡委員
10月21日に今期第1回目のアラート委員会を開催、第2回を来月1月13日に開催する。アラート委員会、IT特別委員会、LCIFの3つの連携が必要であると考える中で、LINEグループによる緊急連絡網を作成した。また、班長の旅費負担について現在は自己負担となっているため負担箇所を明確にし、日本ライオンズアラート委員会での負担とならない場合は、複合地区旅費規程の見直しを行い複合地区負担となるよう提案を行いたい。
なお、会議の中で“元ガバナーをうまく利用すべき”との話があったが、MD336アラート委員会には前期ガバナー4名全員が顧問となり加わっている。昨年度からのアラート委員会の活動内容を把握されているので今後複数年は残っていただき相談をしながら更に組織の構築をすすめる。MDアラート委員長（元ガバナー）の役目としては班長の活動をサポートする為に議長とガバナーへの相談役となることが最良であると考え。

MD337 石永委員
先日MD委員会を開催し地区内の災害状況について確認を行ったところ、九州広範囲で災害がおきていたことが把握出来た。班長が状況確認を行っていた際に危険な目に遭ったとの報告も受けており、このような場合一般社団法人日本ライオンズアラート委員会としてはどのような見解であるかお聞きしたい。また、県社協との締結状況については、佐賀県と熊本県が調整段階であるが、ほぼ終えている。また、337-C地区で3月4日にアラートセミナーを開催し、社協、LCIF、準地区、複合地区、社団の間に潜むわだかまりについて、これをフラットにするべく方法について話し合いができればと予定をしている。後日皆様へもご案内申し上げる。

MD337 石永委員所用の為ご退席。

7. 意見交換

山川委員長より下記話があった。
前回社員総会の際に、災害規模に応じた対応についてルールを記載した一般社団法人日本ライオンズアラート委員会のマニュアルを作成してはとの意見があった。意見をお聞きしたい。

MD332 木村副班長から下記話があった。
指示や活動が一本化出来ていないことによる現場での混乱やそれによる批判を回避する為にも、アラートの活動においてスキーム作りは絶対に必要である。地域によって行政や社協の考え方が

全く異なり、初動体制として何が可能であるか、また、誰が災害レベルを決めるのか、これらを含めて作成する必要がある。

MD332 山下班長より下記話があった。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会としてのまず第 1 の活動は、社会福祉協議会のバックアップを行うことで、ボランティアに対しての後方支援や物資の提供支援を充実させるために各準地区単位でマニュアルが作成されているのではないかと思います。海外の激甚災害レベルについて寄付等の支援が必要な際には一般社団法人日本ライオンズ執行部やアラート委員会トップである山川委員長におとりまとめいただければよいのではと考える。

MD333 若林班長より下記話があった。

まず一般社団法人日本ライオンズアラート委員会としてどこまでが役割であるかを整理するところから始めてマニュアルやスキーム作りを行う必要がある。体制が整っていない準地区に対しては日本レベルでのサポートが必要となるが、準地区単位での活動が基本となるのでいきなり日本レベルでの支援が参入しても混乱を招く。また、例えば全国から被災地に押し寄せる支援の混乱状況については、一般社団法人日本ライオンズアラート委員会が複合地区と連携の上コントロールする役割を担える。

山川委員長より下記話があった。

本件については興味のある方のみで対面協議を行い、素案を作成した後に皆様に諮りたい。次回 1 月 31 日の第 5 回アラート全体会議の際に有志の方に手を挙げていただきたい。1 月以降に開催日等含め話を詰める。

MD331 浅野班長より下記話があった。

MD331 は能澤委員長が指導力を発揮されており大変活動しやすい環境である。

ケンタッキー州竜巻被害への支援について、災害支援金から拠出することとした。331-B 地区ガバナーからどうするべきか相談の連絡が入り、その後 331 内各地区アラート委員 3 人で決定した。フィリピン台風被害についてはまだ何も支援要請がないが、協力はするべきだと考える。また、災害レベルの話があったが、規模を確定するのは大変難しいので、最終的には一般社団法人日本ライオンズ執行部で決定していただくことになるのではと考える。

グループライン網についてであるが、かなり重要なコミュニケーションツールである。12/8 に何人かで飲食をされた後のやりとりが入っていたが、参加していない者は疎外感を抱くので、アラートに関連しない内容は控えていただきたい。

レオクラブを 6 年前に結成し以降顧問として携わっているが、他に誰も担当可能な方がいない為交代出来ない。アラート委員会委員、班長に関しても経験者が外れると将来的に発展しないのではないかと。任期 3 年以降の再任も可能にするべきである。

山川委員長より LINE の件は今後アラートの事案に限る、配慮に欠けて申し訳なかったとお詫びの言葉があった。

また、ケンタッキー州竜巻被害支援について 35 人のガバナーへお願いをしているが、アラート委員からもガバナーやクラブ会長へお声がけいただけると有難い。日本は LCIF から相当な支援をいただいているので日本人の美徳である“お互い様の精神”でしっかり支援金を集め、さらにフィリピンへも救いの手を差し伸べたい。ぜひともご支援とご協力をお願いしたい。

MD330 森川委員より下記話があった。

LCIF の災害指定でフィリピンについては同じ第 5 会則地域でオセアルの仲間であるので速やかに協力をお願いを発信してもらえよう山川委員長から執行理事会へお諮りいただきたい。

⇒山川委員長より下記回答があった。

仁料理長と打ち合わせを行う。追加支援としてではなくケンタッキー州竜巻被害支援金目標額 1 億円の内からいくらかをフィリピン支援に充てたい。社員総会で再度承認をいただく必要がある。

⇒森川委員より下記話があった。

“お願い”であるので本来社員総会での決議は必要ない。ケンタッキー州竜巻被害支援については社員総会にて決議をとっている。その部分について執行理事会で揉んでいた。都度社員総会で決議をとっていることと災害には間に合わないので早急にすすめていただきたい。

また、一般社団法人日本ライオンズの各委員会委員長を議長が務めるかたちとなっているが、突然内容の分からない委員会を振られても困惑する。過去委員長連絡会議は選出された複合地区の委員長の中から世話人が決められ、その世話人が委員長として調整していた時代が長く続いていた。ところが一般社団法人日本ライオンズ設立後、8 人の議長がそれぞれの委員会に委員長とし

て就くことになった。経験された方が委員として加わっている一方、経験のない議長にとって会議の仕切りは難しいと見受けられることがある。経験された委員の中で委員長を互選していただき、議長は“担当議長”としてオブザーバー出席していただく事が望ましいと考える。今後理事会の中でも提案していくがご検討いただきたい。

山川委員長より次回会議日程について話があった。下記にて決定。

第5回アラート全体会議

開催日時：2022年1月31日（月）15：00～17：00 ※会議後懇親会（任意）

開催場所：フクラシア八重洲

8. 総 評

アドバイザー

L 柿原 勝彦

プロトコルと役職名称の問題については次回会議までに私なりに検討してみる。

3年前から8複合地区議長会が一般社団法人日本ライオンズ執行理事会に変更され、執行理事8名の中から8つの委員会委員長を議長が務めるかたちとなった。多様化する中、今後は委員長選任には議長経験者にこだわらずその専門職域分野に精通している方に務めていただきたい。今後、日本ライオンズアラート委員会として、活動の本筋をクリアにするためにも、山川委員長、8名の委員、アドバイザー、東西日本統括リーダーの人数規模で今後の委員会運営方針について話をもちたい。

日本ライオンズアラートチームは“実動部隊”であり、有事の際には実際に現場に入るということを念頭に置いていただきたい。そのため現場を知っている方に班長役を務めていただきたい。“班長”の役職名称については不都合が生じれば今後調整を行いたい。

日本ライオンズアラート委員会マニュアル作成については、地域ごとに自然災害の種類や規模等異なる点も多く、容易ではないが作成するべきである。

9. 閉会挨拶

西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

ライオンズクラブは奉仕団体である。どれくらいレベルの高い奉仕活動が行えるのか、それが一般の方からの評価となる。アラート委員会というならば、発災時に被災者に対してどれくらい的確な支援が出来るかである。被災地・被災者ファーストでなければライオンズクラブとして奉仕活動をする意味がない。まず、どうすればハイレベルかつ的確な支援が提供できるかという視点で組織を整えるべきである。一般の方にとってプロトコル云々は関係ない。

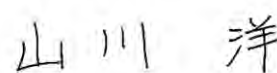
まず被災者ファーストの体制を構築してから我々内部の事情を検討するくらいの柔軟性がないとライオンズクラブが益々世の中から乖離する。

今一度、“我々は人道支援を行う”ということを見つめなおすべきである。

議事録作成人 一般社団法人日本ライオンズアラート委員会
336 複合地区アラート委員 高岡 英治



議事録署名人 一般社団法人日本ライオンズアラート委員会
委員長 山川 洋



承認年月日 2021年12月28日



2021～2022 年度
336 複合地区第 2 回アラート委員会 議事録

日 時：2022 年 1 月 13 日（木）14：00～15：30

形 式：WEB ホスト接続：336 複合事務局

出 欠

役 職	氏 名	
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	○
336 複合地区アラート委員会担当ガバナー（B 地区ガバナー）	平山 智雄	欠
336 複合地区アラート委員会 A 地区顧問	酒井 公一	○
336 複合地区アラート委員会 B 地区顧問	金礪 毅	○
336 複合地区アラート委員会 C 地区顧問	池原 堅	○
336 複合地区アラート委員会 D 地区顧問	澤 辰水	○
336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治	○
336 複合地区アラート委員会副委員長	小野 宗次	○
日本ライオンズアラート委員会 336 複合地区班長	藤井 信英	○
336 複合地区アラート委員会副委員長		
336 複合地区 IT 特別委員会委員長	大木 寿之	○
336-A 地区アラート運営部門運営リーダー	橋本 孝志	○
336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之	○
336-C 地区アラート運営部門運営リーダー	徳毛 直文	○
336-D 地区アラート運営部門運営リーダー		
336-D 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	吉村 あとむ	○
336-A 地区緊急・災害・実動部門副実動リーダー （※田中 元 実動リーダー代理）	朝田 雪香	○
336-B 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	川本 浩一郎	○
336-C 地区緊急・災害・実動部門実動リーダー	細川 晃	○
336-C 地区ガバナー ※オブザーバー	三島 英揮	○

司会進行：336 複合地区アラート委員会副委員長 小野 宗次

1.開会挨拶

336 複合地区アラート委員会委員長	高岡 英治
--------------------	-------

日本ライオンズアラート委員会は会議がなかなか前に進んでいない。
複合では規約とマニュアル作りを進めたい。

2.出席者紹介

336-B 地区アラート運営部門運営リーダー	眞治 憲之
------------------------	-------

3.議長挨拶

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一
-------------------	-------

米国からの竜巻被害支援について協議願いたい。

4.顧問挨拶

336 複合地区アラート委員会顧問（前 A 地区ガバナー）	酒井 公一
-------------------------------	-------

日本ライオンズアラート委員会が混乱している。複合地区がしっかり災害に備えたい。準地区においても地区シェアリング等を活用して活動を進めていただきたい。

5.議 題

- ① 全日本アラート体制組織図について
プロトコルの議論が繰り返し行われ混乱と停滞している状況。

組織図は完成したが位置づけが確立されていない。この問題解決が望まれる。

- ② プロトコル問題解決・委員会活動円滑のための新組織図提案について
複合地区委員会組織を日本ライオンズアラート委員会との整合性について議論が必要。
比して準地区はどんどん前に進んでいる状況で、初代委員長の酒井委員長が作っていただいた資料を軸に皆様と協議を進めていきたい。
- ③ 第4回アラート全体会議についての報告
日本ライオンズアラート委員会は、日本レベル、複合レベル、準地区レベルでの役割分担を把握し議論を進めていくべきである。

資料：一般社団法人日本ライオンズ第4回アラート委員会議事録（12月20日開催）

6. 質疑応答

小野副委員長

複合地区での会則委員会においてアラート委員会活動に係る規約を整備し、会計処理についても適切な決め事を決めることが先決重要事項と考える。規約を作成する。規約は時代とともに変化するものである。修正すべき時には柔軟な対応をすべき。またIT委員会等の委員会とも連動性を含めた規約を作る必要があり、これを準地区にリンクさせる必要がある。
実動可能なスキルのある人材をガバナー経験者以外からも広く求めて実行すべきであり、常に進捗状況を確認の上、協議会議長の管理下で進めるべきである。

酒井顧問 選別された人員で早期に形作りを進めるべきであると考え。

池原顧問 2014年の広島土砂災害、2018年の広島土砂災害時委員会活動を参考とし組織を考える。

藤井副委員長 LINE連絡網について、この連絡網を利用したいので諮りたい。

福永議長 アラート委員会は、日本レベルでも複合レベルでも資金的な裏付けが必要。

徳毛運営 L 運営リーダーにも情報が来れば動きやすい。

藤井副委員長 3月にはこの連絡網を実証希望。規約についてはたたき台を準備していただきたい。

小野副委員長 米国竜巻支援金やフィリピン台風被害支援金は緊急援助資金を使うのではなく、予備等の資金を活用するべきではないか。

福永議長 支援金については日本ライオンズから直接クラブに案内されているので複合としては把握しておらず返答出来兼ねる。

酒井顧問 A地区ではどうなってるか？⇒高岡委員長：A地区の状況は判らない。

小野副委員長 支援金はまず議長に打診がありガバナー協議会で議論を経てから準地区に下すべき。

福永議長 次の日本ライオンズ理事会では意見を報告します。

澤顧問 オリパラの残金についての処理についてお聞きさせていただきたい。

福永議長 次のガバナー協議会での決議を待って準地区にお返しすることとなっている。

橋本運営 L 小野委員長から発言があった規約とマニュアル等の作成を早急に進めていただきたい。
その内容にA地区は並行させたい。

徳毛運営 L C地区はマニュアルを作成し数回修正を終了している。人員は109名を確保している。
クラブ員に参加いただきたいと考えている。

吉村運営 L D地区は他地区より準備が遅れている。次回は規約作成の為にリアル会合を持ちたい。

浅田副実動 L A地区では地区内での活動規定を作成中。各クラブに下した場合の温度差を含めて対策の啓発を同時進行で進めていくべき。複合地区主導での勉強会も希望する

川本実動 L 規約や役割組織の整備を複合で進めていただき、具体的な内容を各クラブに伝えたい。

細川実動 L 実働する上で規約の策定を急いでほしい。

酒井顧問 フィリピン台風被害支援について我がクラブではすでに可決した。振込は未執行。

三島ガバナー 12/16の社員総会で決議してるのでガバナーは把握しているはずである。

藤井副委員長 B地区ではアラート研修会を行う予定だが日程変更の可能性がある。

8. 閉会挨拶

336 複合地区アラート委員会副委員長

小野 宗次

336 複合アラート委員会は日本の中でも進んだ地域だと言われるよう頑張っていきたい。

議事録作成：336 複合地区アラート委員会 顧問 金礪 毅

金礪 毅

議事録署名人：336 複合地区アラート委員会 委員長 高岡 英治

高岡 英治

承認年月日：2022年1月14日

災害支援本部	
顧問	被災地MD議長
顧問	被災地ガバナ－
対策本部長	
対策副本部長	エリア統括リーダー
対策副本部長	
対策班長	
対策本部隊員	
対策本部隊員	
対策本部隊員	

アラート委員長
山川 洋

アドバイザー
柿原 勝彦

東日本統括リーダー
橋本 修一

西日本統括リーダー
坂本 恵市

MD330アラート委員
森川 明治郎
MD331アラート委員
能澤 正明
MD332アラート委員
木川田 明弘
MD333アラート委員
山川 洋
MD334アラート委員
荒尾 勝彦
MD335アラート委員
佐々木 健太
MD336アラート委員
高岡 英治
MD337アラート委員
石永 扶佐夫



東日本エリア				西日本エリア			
MD330班長	MD331班長	MD332班長	MD333班長	MD334班長	MD335班長	MD336班長	MD337班長
野村 起成	浅野 敬一	山下 里美	若林 純也	西村 和之	藤之原 美津子	藤井 信英	青木 和彦
MD330副班長	MD331副班長	MD332副班長	MD333副班長	MD334副班長	MD335副班長	MD336副班長	MD337副班長
石塚 丈雅	新屋 雅良	木村 知紀	桜井 政利		稲田 勝利	田中 元	石永 扶佐夫
浦中 竜太郎	柳澤 豊	及川 三美			中千 潤一	井上 哲孝	
	新岡 尚	大橋 博之			東本 将文	細川 晃	
		箱崎 哲司				吉村 あとむ	
		伊藤 剛					
		草薨 孝悦					



2021～2022年度 336複合地区アラート委員会「アラートチーム」組織図

2021/6/11 現在

任期：2021年7月1日～2022年6月30日

(注)

- ※任期については再任可能とする
- ※準地区副リーダーの任期は単年度とする
(キャビネットアラート委員長等)
- ※準地区クラブアラート委員会委員長は
クラブ会長に委ねる
- ※L＝リーダー

複合地区アラート委員会		アラート委員会 顧問	
委員長 高岡 英治 090-8977-0968 takaoka@yasaka-ehime.jp		A	酒井 公一 090-4337-0250 kochi@sakai-k.net
		B	金礪 毅 080-3894-0071 kintarou2003japan@yahoo.co.jp
		C	池原 堅 090-7894-5594 office-ikehara@csk-net.co.jp
		D	澤 辰水 090-9501-7515 sawa380@ezweb.ne.jp

アラート運営部門	
副委員長 小野 宗次 090-8991-0070 yume6001@mild.ocn.ne.jp	

緊急・災害・実動部門	
副委員長 藤井 信英 080-1933-0016 info@fuji-ind.jp	

A地区 運営L		B地区 運営L		C地区 運営L		D地区 運営L	
橋本 孝志 090-4973-4636 h-tax24@ksn.biglobe.ne.jp		眞治 憲之 090-2298-0881 shinji@angelwine.net		徳毛 直文 090-1686-0531 naotumi@tokumo-r.co.jp		吉村 あとむ 090-5701-6045 yoshimura@atomcompany.com	
A地区 副運営L		B地区 副運営L		C地区 副運営L		D地区 副運営L	
井出 幸彦 090-2824-2266 yukihiko.ide@idekogu.com		池田 紀久男 090-3171-0884 info@ikeda-tatami.com		橘高 寛二 090-3740-6607 fuchu-lc@vcb.fuchujp		青谷 和彦 090-3889-2691 kaotani@c-abie.ne.jp	
準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者	
A地区 実動L		B地区 実動L		C地区 実動L		D地区 実動L	
田中 元 090-1320-8720 tanakagt18@gmail.com		川本 浩一郎 090-4807-6631 kawamoto-k@axel.ocn.ne.jp		細川 晃 090-3171-8823 hoso3166@orange.ocn.ne.jp		吉村 あとむ 090-5701-6045 yoshimura@atomcompany.com	
A地区 副実動L		B地区 副実動L		C地区 副実動L		D地区 副実動L	
朝田 雪香 090-9778-1441 fumio8130@mc.pikara.ne.jp		佐々木 孝之 090-4572-1567 force-d@nifty.com		藤田 博志 080-5620-1167 hk27065king@yahoo.co.jp		青谷 和彦 090-3889-2691 kaotani@c-abie.ne.jp	
準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者		準地区クラブ アラート委員会 担当者	

2021～2022 年度
第 1 回 336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会 議事録

日 時：2021 年 11 月 12 日（金）13:30～15:30

場 所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

※ハイブリッド形式

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL 086-234-0695

出 欠

役 職	氏 名	REAL	WEB
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	欠	
336 複合地区ガバナー協議会会計（B 地区ガバナー） 336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会担当ガバナー	平山 智雄	欠	
336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長	高岡 英治	○	
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長 336-D 地区 IT 委員長	大木 寿之	○	
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会副委員長（C 地区）	濱本 義樹	○	
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員（B 地区）	難波 進		○
336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員（A 地区）	五味 俊一		○
336-A 地区 DX チームチームリーダー	古川 健造		○
336-A 地区 DX チーム	圃山 登		○
336-A 地区 DX チーム	松本 哲見		○
336-B 地区 MC 委員長	住吉 孝文		○
336-C 地区 GLT(指導力育成)・会則・IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長	有本 雄一		○
336-C 地区 IT 推進プロジェクトリーダー	徳永 明彦		○
336-D 地区 IT 副委員長	廣畑 雅弘		○
336-A 地区キャビネット事務局 次長	有岡 信次		○
336-B 地区キャビネット事務局	欠		
336-C 地区キャビネット事務局員	礪元 さをり		○
336-D 地区キャビネット事務局員	田中 絵美子		○
336 複合地区ガバナー協議会事務局員	高杉/太田	○	

司会進行：336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長 大木 寿之

開会挨拶	
336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長	高岡 英治

コロナ禍でようやく第 1 回この会議をハイブリッド方式で開くことが出来た。
IT 化が進んでいるが MD・準地区の IT 委員・事務局の皆さんのご協力を得ながら今後も推進していききたい。

出席者紹介

336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長

大木 寿之

REAL・WEB 参加の出席者を名簿順に紹介した。

議 題 1. 毎月の MyLCI での会員動静未報告クラブ「ゼロ」の達成について

MyLCI での会員動静未報告クラブ「ゼロ」について、10 月末の各地区の未報告クラブ数の確認。各準地区は、未報告クラブにどのような対応を取っているかの報告。

【A 地区】

(松本) 毎月の会員動静未報告クラブへの入力要請はしていない。事務局員がいないクラブ、ネット環境が整っていないクラブもある。本来ではないがキャビネットでの代行入力も必要だと考えている。

(圃山) 8R では各クラブ事務局のグループラインを作ったので、そこで注意喚起をしていきたい。

【B 地区】

(難波) このタイミングでキャビネット事務局員が変わった。10 月に関してはいくつかのクラブが単に入力を忘れていただけと聞いている。まだ指導が足りないクラブもあるので改善したい。

【C 地区】

(磯元) 毎月 20 日を境に MyLCI の報告を促すメール配信を実施。期首では二桁あった未報告クラブが最近では 5 クラブとなり、随分改善した。

(徳永) 昨年まではキャビネットで行入して入れていたという経緯もあるが、ガバナー方針として各クラブが自主的に入れるべきだと。コロナ禍で滞っていたが、これからサポートをしていく。

【D 地区】

(田中) 土日を除いた月末 2 日前に、未報告クラブにメール配信。最終日午前中になっても未報告のクラブには直接電話して対応している。

(大木) 本来はいけないと思うが、ライオンアカウントを取っていないクラブなど、キャビネットが代行して入力している。その場合、月が明けて再度、事務局員や会長・幹事に連絡し、入力できるような体制を作っていただく指導をしている。事務局員がいないクラブは当面キャビネットフォローをしている。

また、事務局員のクラブ業務担当者登録を推進し、登録を個々に指導している。現在 7～8 割のクラブで登録していただいている。また、事務局員がいないクラブへは、会員で IT に明るい方を会長から指名いただき、クラブ業務担当者になってもらって MyLCI での報告をしていただいている。

(大木) 12 月末の各クラブ会員数で後期の国際会費の請求が発行される。特に年末は未報告クラブが無い様に気を配っていただきたい。未報告クラブについてはキャビネット事務局・IT 委員が直接電話して会員動静の報告を促して欲しい。

【質疑応答】

(松本) 月末の退会報告は本部との時差の関係で報告できないと思うが、前もってするようにお願いした方が良いのか。

(大木) 入会者は入会日に MyLCI での登録をしてほしい。退会者は、ライオンズ歴は必要ないので早めにしていただき多、理事会を通れば大会手続きをしていただいてもよいと思う。特に、月末が週末の場合などアクセスができないという事例もある。その時はキャビネットに連絡して代理入力をお願いしても良い。くれぐれも月を遡っての退会処理は止めて欲しい。

(松本) 会員情報の変更をした場合、その月の会員動静無しにチェックが入る。この場合そのままにしておけば良いのか。

(大木) そのままにしておいて良い。また、その後会員動静があればその都度入力して欲しい。会員情報について、クラブ役員の住所は個人の住所ではなくクラブ事務局の住所にして欲しい。また、日本語表記ができるので、氏名・住所の日本語表記を入力してもらえよう各クラブにご指導いただきたい。

議 題 2. 準地区・複合地区年次大会の代議員登録を MyLCI で進めるために

(大木) 年次大会の代議員登録は、今年度は各クラブ事務局が MyLCI で登録いただきたい。

※クラブ代議員の算出方法は、大会開催の前月 1 日に国際本部の記録に基づき（MyLCI 登録）在籍が 1 年と 1 日以上で 10 名毎に 1 名、また過半の端数（5 名以上）につき 1 名加算。また、地区名誉顧問は別枠として代議員登録ができる。

大会が始まる前に、代議員選出をしないとイケない。各クラブの代議員は、算出方法をキャビネット事務局から送られ、クラブ事で選出し、大会事務局に報告する流れになっている。昨年までは、各地区ともメールのやり取りで登録をしていたが本年度は MyLCI で取り組んでみたい。代議員の氏名やクラブ毎の代議員数等 MyLCI で一元管理をすることが目的。

【質疑応答】

- （廣畑） MyLCI でどのように登録したらよいのか、フォームのようなものがあるか。

▶画面切り替え⇒MyLCI の画面



(大木) 「地区▼」から「大会」を選ぶと、このような画面が出る。現在は「①今は代議員を任命できません」となっているが、代議員登録の時期が来れば、ここから登録できる。

(大木) OSEAL 調整事務局に確認中の事項（回答があり次第皆さんにもお知らせする）

- ① 代議員登録人数は在籍年数が加味され会員数合計から割り振られているのか
- ② 登録資格など システムで自動的にフィルターをかけられるのか
- ③ クラブ事務局が 自クラブの代議員情報を入力し登録することが出来るのか

(大木) B 地区は大会情報を登録されていないので、週明けにでも入力していただきたい。

- （大木）各地区、これが果たして可能かどうか状況をお聞かせいただきたい。

【A 地区】

（圃山）スケジュールや入力方法など詳しいことが分かれば各クラブに話そうと思うが、まだ現時点では分からない。

【B 地区】

（難波）現状では会員動静もできていない状況なので難しいと思う。ただなぜ必要なのか、どうすればよいのかを事務局に話して、できないところはフォローしていきたいと思う。マニュアルを是非作っていただきたい。

【C 地区】

（濱本）ライオンアカウントを取ることが世界標準。昨年は代議員情報を MyLCI から CSV で抽出し Excel で展開して管理した。同姓同名の方はローマ字だと分かりづらい。日本語表記を利用したい。

（徳永）ライオンアカウントの全員登録を推進していたが現在は最低限 MyLCI にアクセスが必要な役職の登録をお願いしている。登録すればこんなことが出来ると周知し推進している。

【D 地区】

（大木）キャビネット会議がまだ開催されていないので、代議員登録を MyLCI で行うということは発信できていない。11 月 20 日に第 2 回キャビネット会議が REAL で開催されるので、RC・ZC に通達し各クラブへの周知を図ってもらうようにする。

- （松本）代議員を登録する際、MyLCI 上で登録可能かのフィルターがかかる場合は良いが、かからない場合はどこを見て資格の有無を判断したらよいか。

（大木）代議員の有資格者かどうかを自動で判断してくれるフィルターがかからない場合は、名簿にあげられた方が正会員で 1 年と 1 日在籍歴があるかを確認しないといけない。各クラブにも資格条件を周知して徹底したい。

議 題 3. 次年度のクラブ役員を 6 月中に登録するために

（大木）

次年度クラブ役員を今年度中に各クラブに入力いただくためにどのように願っているか、また、B 地区以外は移動キャビネットで引継ぎについての方針をお聞かせいただきたい。

【C 地区】

（磯元）前年から引継ぎを受けていない。MyLCI は当年度にならないと使えない。もう少し早い段階で触れて練習がしたかった。

（徳永）早い段階で触れるような方策を試す。また、各クラブへのフォローも充実する。

（大木）クラブの場合とキャビネットは差異がある。クラブでは業務担当者は次年度の再登録が必要でそれを指導周知しないといけない。キャビネットの場合、業務担当者は 3 名まで、次期事務局員が権限を持つためには、その枠の中に登録しないといけない。現キャビネットで検討して欲しい。

【B 地区】

（難波）動静報告も進んでいないのが現状だが、締め切り日を前倒しで通知したい。しかし、できないクラブは出来るまで待つというよりかは、キャビネットで手分けをしながらやってしまう方が近道。

【A 地区】

(圃山) 願いは出来るが実際に行動できないのが事実。サポート窓口の充実を図りたい。

(大木) 準地区で「IT についてはこの人に聞けば分かる」という人材を育てていただきたい。

【D 地区】

(田中) 次年度の引継ぎはしっかりしたい。今年度中のクラブサポートも進めたい。

議 題 4. アラート委員会の連絡網の構築について

(高岡) アラート委員会では関係者の LINE グループを作っている。IT 委員会でも LINE グループを作りたいので後日書類を送るので記入いただき、早急につなぐたい。

(大木) 第 1 回アラート委員会で、災害時どのような組織で LINE グループを作ったらよいか IT 委員会でもんで欲しいとの話が出た。第 2 回アラート委員会で提案しないといけないので、MD336IT・MC・情報特別委員会と準地区 IT 委員会で案を出し合って決めたい。後日書面で案を募りたいので協力をお願いしたい。

その他

- (廣畑) クラブ役員の次年度登録は 7 月にならないとできないのではないかな。
(大木) 画面を切り替えて HOW TO を説明。
- (大木) MD336HP のバナーの紹介。太平洋アジア課／OSEAL 調整事務局 日本語情報サイトの活用をお知らせした。

閉会挨拶	
336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長	高岡 英治

IT はとても大切。これから皆さんのご協力をいただきながら活動していきたい。

議事録作成/署名人：336 複合地区 IT・MC・情報特別委員会委員長 大木 寿之



議事録署名人：336 複合地区 IT・MC・ライオンズ情報委員会委員長 高岡 英治



承認年月日：2021 年 11 月 16 日